本書を良くお読みになって、製品をご利用ください。

ネットワーク設定説明書

基本編

特殊設定編

お客様相談窓口 0120-143410

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、
上記のダイヤルにお気軽に申し付けください。
■受付時間／9：00〜20：00(土曜日のみ17：00まで)
■営 業 日／月曜日〜土曜日(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます)

●取扱説明書およびCD-ROMは、いつでも参照できるように保管してください。

VersionD

目　次

本書のレイアウトについて

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000
Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system
Version 4.0 です。（本文中では Windows NT® と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows、Windows NT および LAN Manager は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh® 、Mac OS® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Photoshop および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
エネルギースターは米国における登録商標です。
HP、HP/UX、JetDirect、および JetAdmin は Hewllet-Packard Company の商標です。
VMST および ULTRIX は Digital Equipment Corporation の登録商標です。
UNIX は UNIX Systems Laboratories の商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
Netware は Novell, Inc. の商標です。
IBM、LAN Server、および AIX は International Business Machines Corporation の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

NC-9100h ネットワークボードは、MFC-8820J はオプション、MFC-8820JN と DCP-8025JN は標準装備です。
MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows95® に対応していません。
NC-9100h ネットワークボードをお使いの MFC/DCP に取り付けると、LAN/WAN に 10/100Mbps イーサネット接続できるようになります。添付のウェブ管理ソフトや管理ユーティリティを使用すると、お使いの MFC/DCP をより簡単に管理できるようになります。NC-9100h ネットワークボードを取り付けて設定を完了すると、MFC/DCP はインターネットを通じてファクスを送信できるようになったり、また LAN などのネットワークを通じて文書をプリント / スキャンできるようになります。
この取扱説明書では、MFC/DCP にネットワークボードを取り付けた状態で

- ハードウェアに関する設定には、「ネットワークボード」
- LAN 環境下でプリンティングシステムを指す場合には「ネットワークプリンタ」
- Netware などの特定の概念を指す場合には「ネットワークサーバー」

という表記をすることがあります。

特長と機能

インターネットファクス機能（ファクス機能搭載機種のみ）

MFC 製品に電子メールアドレスを割り当て、LAN やインターネットを通じてコンピュータや他のインターネットファクス機能搭載機器とメールを送受信または転送できるようになります。

ネットワークプリント機能

NC-9100h ネットワークボードは、各 OS に以下のプリントサーバーサービスを提供します。

- Windows® 95/98/Me/2000/XP/NT® 4.0：TCP/IP プロトコルによるプリントサーバーサービス
- Novell Netware：IPX/SPX プロトコルによるプリントサーバーサービス
- Macintosh®：AppleTalk プロトコルによるプリントサーバーサービス

ネットワークスキャン機能（Windows® 98/Me/2000/XP）

白黒またはカラーでスキャンした文書を、ネットワーク上のコンピュータもしくは MFC/DCP へダイレクトに取り込んだり、また電子メールで別のコンピュータに送信することができます。

管理ユーティリティ

ウェブブラウザによる管理ツールや BRAdmin Professional といった強力な管理ツールは、ファクス設定やネットワーク設定、電子メール設定を簡単にします。

基本編

基本編　第1章

ネットワークで使う前に

ネットワークの基礎

概要

ネットワークにブラザー MFC/DCP を接続すると、複数台のコンピュータから 1 台の MFC/DCP に印刷することが可能になります。

ネットワークに MFC/DCP を接続して使用するには、プロトコルの選定とネットワークの設定、使用する各コンピュータの設定が必要です。

> **メモ** プロトコルの選定とネットワークの設定
> すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合はネットワークの設定は不要です。

プロトコルについて

プロトコルとは、ネットワーク上で通信やデータの送受信などを行うための手順を定めたものです。所定のプロトコルを利用することで、ネットワークに接続されたプリンタを利用することができます。

TCP/IP

現在最も標準的に使われている通信プロトコルで、インターネットや電子メールなどで利用されています。Windows®、Macintosh®、Linux など、ほとんどのコンピュータで使用できます。
会社などでネットワークが組まれている場合、このプロトコルが多く使われており、大規模なネットワークに適しています。
印刷用プロトコルにも TCP/IP をベースにしたものが多く、本機では LPR、NetBIOS/IP、IPP（インターネット印刷）などが使用できます。

AppleTalk

従来から Macintosh® に標準で搭載されている通信プロトコルで、これには印刷用プロトコルも含まれます。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP 設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。

- IP アドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルータがある場合）
- ワークグループ名（NetBIOS を使用する場合）
- コンピュータ名（NetBIOS を使用する場合）

IP アドレス

0~255 の数字を組み合わせた 4 つのブロックで構成されています。各コンピュータに重複しない IP アドレスを個別に割り当てます。

例） 192.168.1.1
小規模なネットワークでは、例えば 192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3・・・と、末尾の番号を変えて設定します。

サブネットマスク

TCP/IP のネットワーク接続で大規模なネットワークの場合、通常ルータを経由していくつかの小規模なネットワーク (サブネット) に区切られます。IP アドレスはネットワーク部とホスト部から構成され、その切れ目はサブネットマスクによって決定されます。ホスト部のビットが全て 0 のアドレスをネットワークアドレス、全て 1 のアドレスをブロードキャストアドレスと呼びます。
このアドレスの範囲内が、そのネットワークでコンピュータを識別できる IP アドレスとなります。

例） ネットワーク 1、2 という 2 つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンタから印刷する場合、
•ネットワーク 1 上のネットワークボードの IP アドレスが「192.168.1.1」
•ネットワーク 2 上のネットワークボードの IP アドレスが「192.168.2.1」
とします。サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、それぞれのネットワークアドレスは「192.168.1.0」「192.168.2.0」となり、異なるネットワークだと判断されます。このような場合はルータを経由してアドレス変換を行う必要があります。
次に、サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168.0.0」となり、同一のネットワーク内の通信と判断されますので、この場合はルータを使用する必要はありません。

ゲートウェイ（ルータ）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。

ワークグループ名（NetBIOS を使用する場合）

これは、Windows® ネットワーク環境で提供されるグループ分けに使われる名称です。単純にグループ内でコンピュータ（ネットワークボード）を検索しやすくするために利用されます。
Windows® の NetBIOS ドメイン管理環境を使用している場合は、そのドメイン名を使用します。

●コンピュータ名（NetBIOS を使用する場合）

これは、Windows® 環境で利用される個々のコンピュータ（ネットワークボード）の名称です。
インターネットなどの TCP/IP 環境で一般的に使用されるホスト名とは区別して扱われます。ただし、本ネットワークボードでは、ノード名の先頭 15 文字がコンピュータ名として利用され、ノード名＝ホスト名＝コンピュータ名（先頭 15 文字）
として扱われます。

メモ
ノード名
従来の BRAdmin Professional やネットワーク設定ページなどで表示されるネットワークボードの名称で、デフォルトでは「BRN_xxxxxx」となっています。（「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。）

AppleTalk 設定

AppleTalk はプラグアンドプレイを基本としていますので、通常設定は不要です。

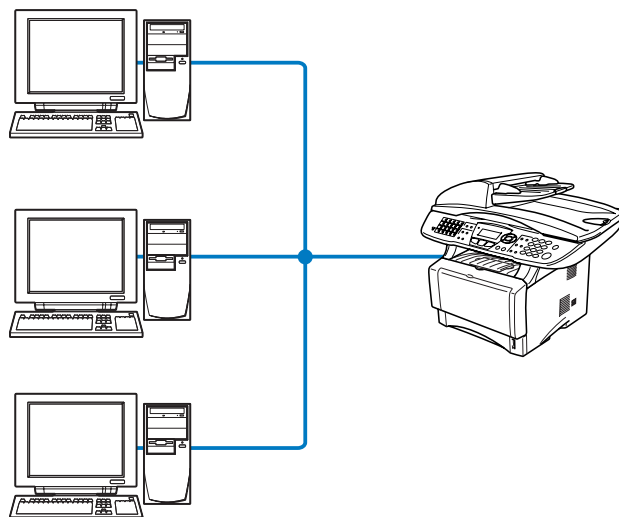
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ネットワークの接続

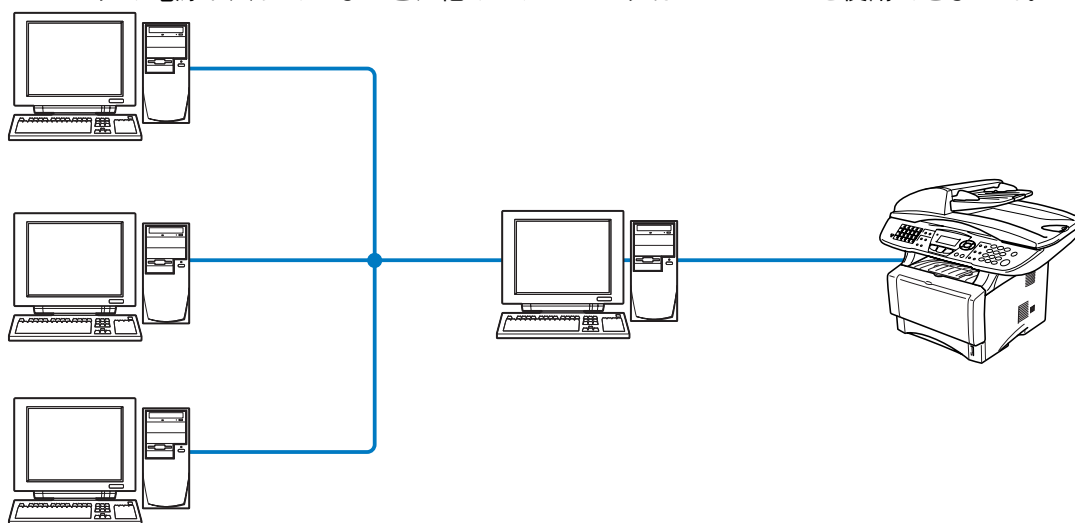
接続方法

接続方法は、各コンピュータから直接 MFC/DCP と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、MFC/DCP に接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

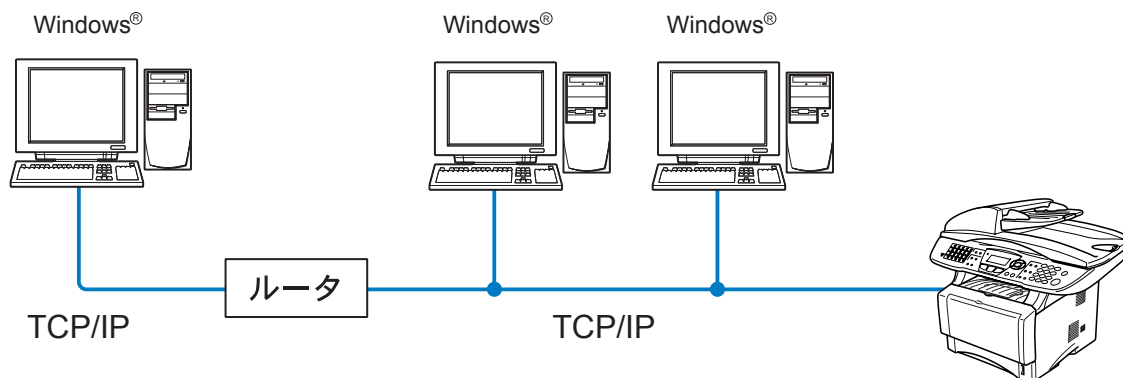
ピアツーピア接続

各コンピュータにプリンタポートの設定をします。

メモ 本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

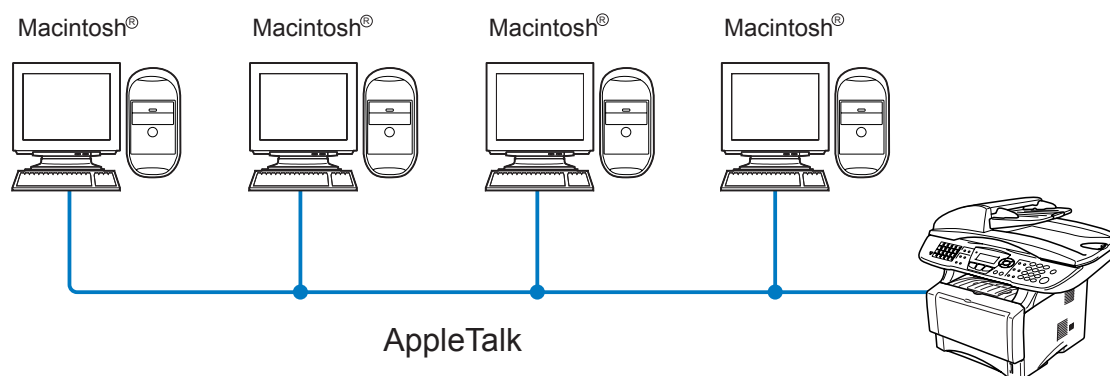
ネットワーク共有

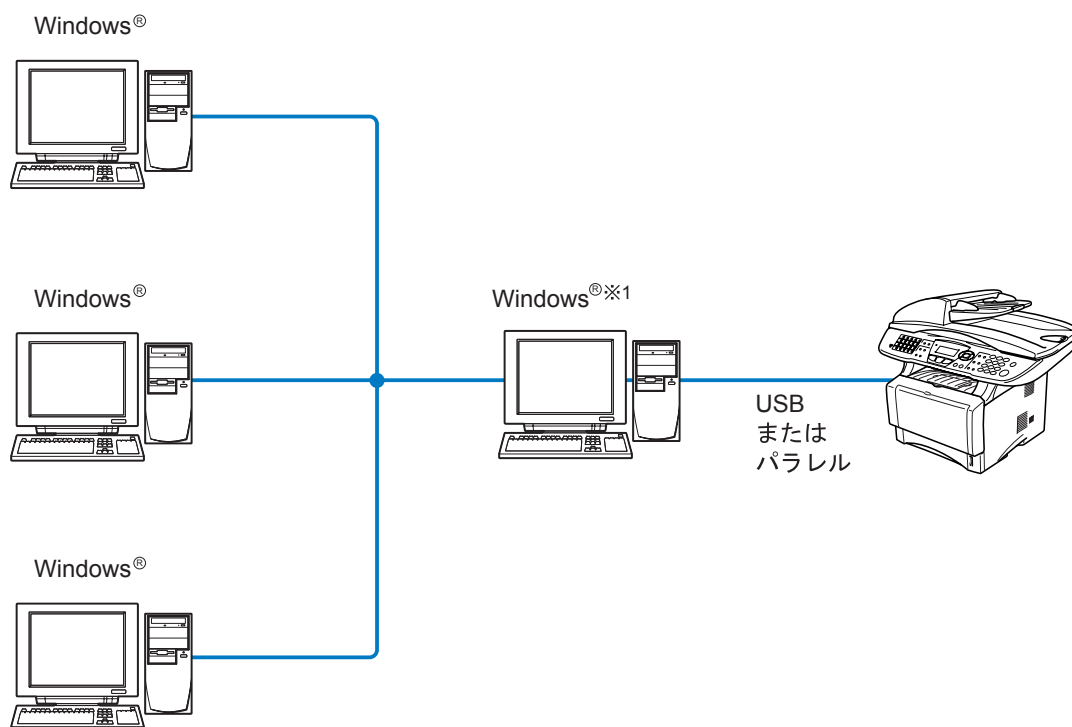
プリンタに直接接続されているコンピュータのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータも MFC/DCP を共有できます。ただし、MFC/DCP に接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータは MFC/DCP を使用できません。

メモ ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

接続例

接続例 1：ピアツーピア（TCP/IP）

- 各コンピュータに TCP/IP と印刷プロトコルの設定を行います。
- MFC/DCP にも IP アドレスを設定する必要があります。
- すでに TCP/IP でネットワークを構築している場合は、この設定をお勧めします。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）
- ワークステーション、Macintosh®（TCP/IP 対応 OS）※からも使用可能です。

  ※ LaserWriter Utility で TCP/IP 印刷を行う場合、プリンタが PostScript® をサポートしている必要があります。

接続例 2：ピアツーピア（AppleTalk）

- Macintosh® のみ使用可能です。
- Macintosh® に搭載されている LaserWriter utility で印刷を行う場合、MFC/DCP が PostScript® をサポートしている必要があります。

接続例 3：ネットワーク共有

ネットワーク共有

- MFC/DCP と直接接続するコンピュータ（※ 1）は、ローカルでプリンタドライバがインストール済みであることが必要です。
- MFC/DCP と直接接続するコンピュータ（※ 1）の電源が入っていなければ、MFC/DCP を使用できません。
- Windows® のみ設定可能です。

メモ
ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

基本編　第2章

Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT® の場合は、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク対応ブラザー MFC/DCP から直接印刷出力することができます。
ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。
MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows95® に対応していません。

●条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- コンピュータに LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ネットワークボードの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. ネットワークボードの IP アドレスなどを設定します。P.2-3
4. コンピュータに MFC/DCP の関連付けをします。P.2-5

メモ

Windows® 2000/XP の場合
標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。

Windows NT® 4.0 の場合
Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.2-10 を参照してインストールしてください。

ネットワークボードの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、ネットワークボードに IP アドレスを設定する必要があります。使用するコンピュータと同じネットワーク上にネットワークボードが接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

ブラザーネットワークボードは各種の IP アドレス自動設定機能に対応しており、DHCP/BOOTP/RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用した環境では、起動時にそれらのサーバーから自動的にアドレスが割り当てられます。
これらの IP アドレス配布サーバーのない環境では、APIPA（AutoIP）機能によってネットワークボード自身でアドレスを割り当てます。
ただし、APIPA では、使用しているネットワークの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合や、APIPA 機能を無効にしている場合は、以下の説明にしたがって、IP アドレスを設定してください。APIPA（AutoIP）や IP アドレス設定に関する詳細は、P.9-2を参照してください。

メモ
- IP アドレス自動設定機能が無効の場合は、工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
  - ・IP アドレス：192.0.0.192
  - ・ドメイン名：WORKGROUP
  - ・パスワード：access
- ネットワーク設定ページを印刷して、現在の設定値を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する

BRAdmin Professional を使用して、IP アドレスの変更ができます。

MFC/DCP をネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。

メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［TCP/IP］を選択します。

ネットワークボードがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により正常に設定された場合には、メインウィンドウの右側のフレームにネットワークボードが表示されます。

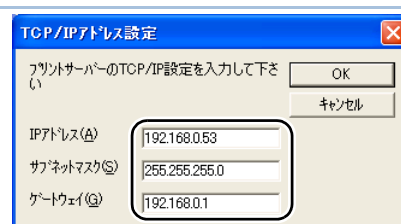
［デバイス］メニューの［稼働中のデバイスの検索］をクリックします。

ネットワークボードの設定が工場出荷時のままの場合は、未設定デバイスとして表示されます。この場合ノード名としてイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。

IP アドレスを設定したい未設定デバイスをダブルクリックします。

ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名やイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

ネットワークボードの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。

例） IP アドレス：192.168.0.53
　　サブネットマスク：255.255.255.0
　　ゲートウェイ：192.168.0.1

6 ［OK］をクリックします。

IP アドレスを正しく設定すると、デバイスリストにネットワークボード名およびプリンタ名が表示されます。

IP アドレスを変更する他の方法

- 操作パネルから設定する場合は、「操作パネルで設定する」P.8-1 を参照してください。
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.7-1 を参照してください。
- その他の IP アドレスの設定方法は、「ネットワークボード設定」P.9-1 を参照してください。

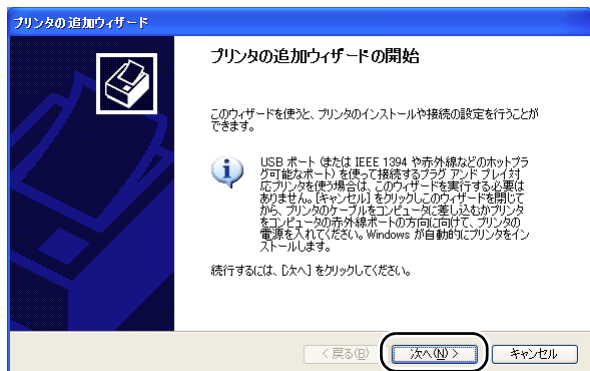
コンピュータの設定（Windows® 2000/XP）

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）

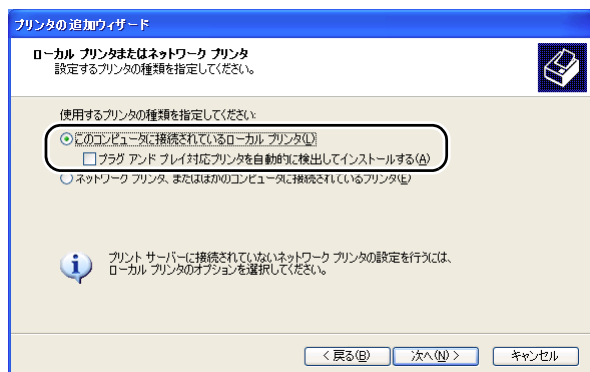
TCP/IP ポートを追加し、プリンタドライバをインストールして MFC/DCP の関連付けをします。
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）」P.2-9を参照してください。
Windows® 2000/XP では、ネットワークに必要なソフトウェアは、すべて標準でインストールされています。

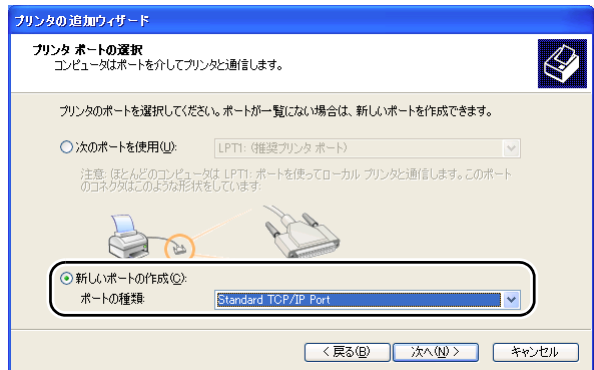
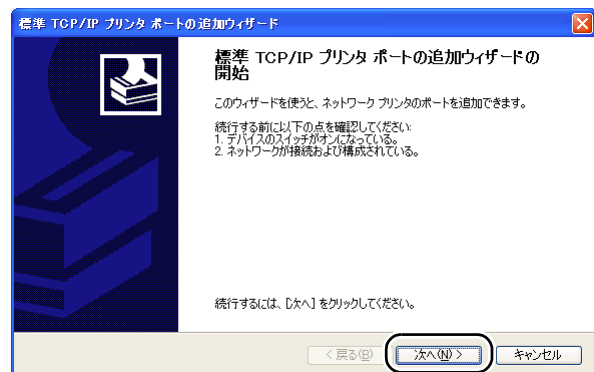
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

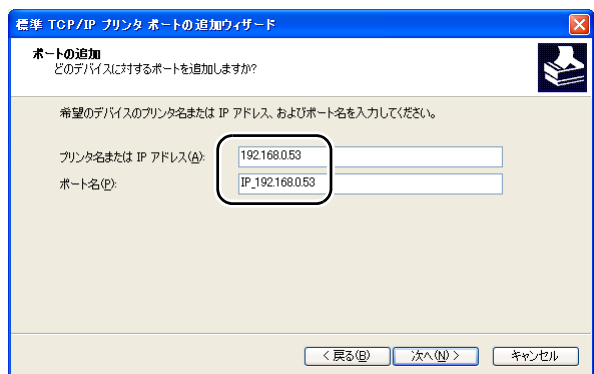
- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

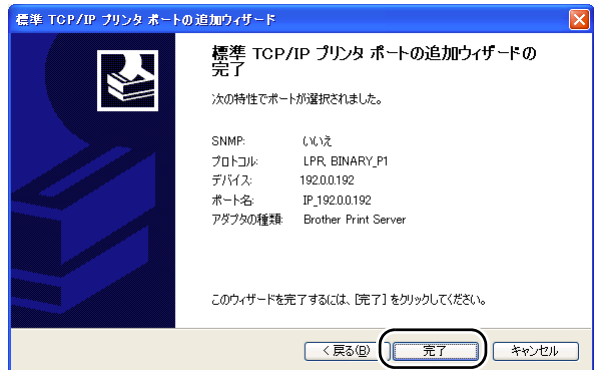
3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

4 ［次へ］をクリックします。

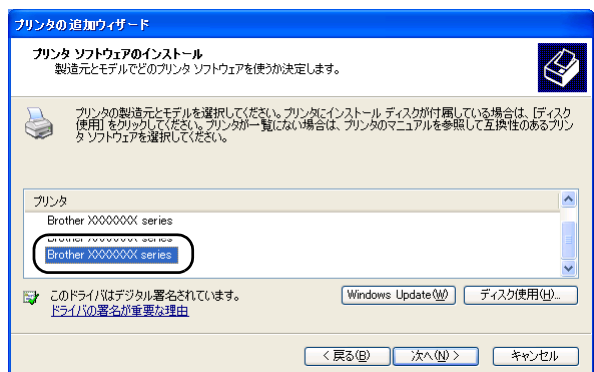
［新しいポートの作成］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選択します。

［次へ］をクリックします。
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

設定する MFC/DCP の［プリンタ名または IP アドレス］を入力します。
［ポート名］はウィザードによって自動的に入力されます。
例）192.168.0.53 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.0.53］が入力されます。

［次へ］をクリックします。
Windows® 2000/XP から指定した MFC/DCP へ接続されます。
指定したアドレスまたはプリンタ名を誤って入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 ［完了］をクリックします。

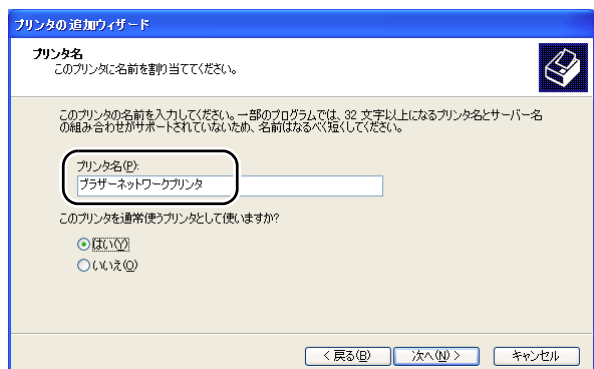
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］を終了し、［プリンタの追加ウィザード］に戻ります。

11 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバの保存場所を選択します。

・Windows® 2000　:¥JPN¥W2K¥Addprt
・Windows® XP　:¥JPN¥WXP¥Addprt

コンピュータがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft のウェブサイトから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

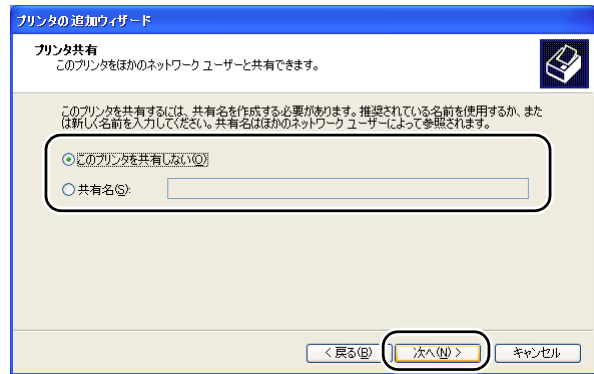
12 ［次へ］をクリックします。

メモ　すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

13 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ

14 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、この MFC/DCP を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

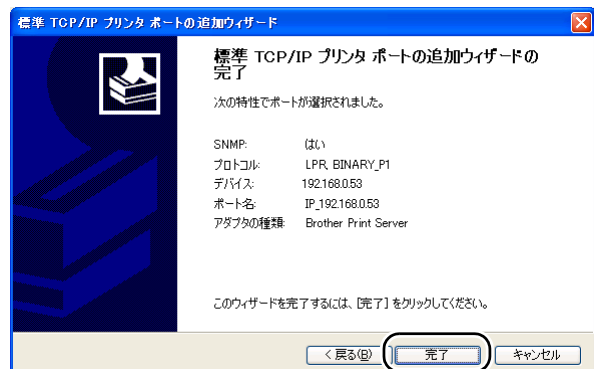
15 この MFC/DCP を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

メモ

共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

16 テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。

17 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加と MFC/DCP の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。

② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

④ ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

⑤ 「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」の手順 7 ～ 10P.2-6を実行します。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ファクス
第6章
スキャナ
第7章
ブラウザ
第8章
パネル

コンピュータの設定（Windows NT® 4.0）

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」P.2-11 へ進みます。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。
［ネットワーク］が表示されます。

2 ［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックします。

3 ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

4 Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。
- お使いのコンピュータが Windows NT® プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

必要なデータがコピーされ、［プロトコル］タブに［TCP/IP プロトコル］が追加されます。

5 ［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックします。

6 ［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。

7 Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。
- お使いのコンピュータが Windows NT® プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

必要なデータがコピーされ、［サービス］タブに［Microsoft TCP/IP 印刷］が追加されます。

8 ［プロトコル］タブをクリックします。

9 ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

10 ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、［OK］をクリックします。
入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

11 ［OK］をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。

12 ［はい］をクリックします。
コンピュータが再起動されます。
これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

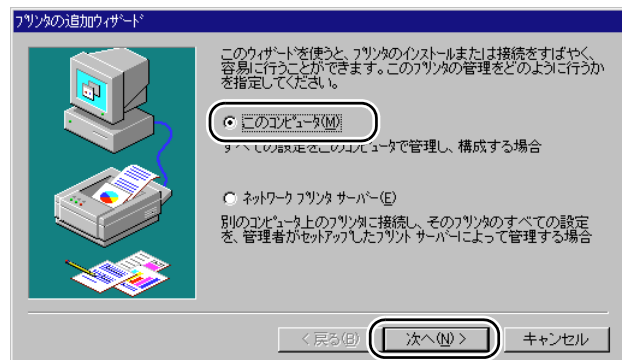
TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）

TCP/IP ポートを追加し、プリンタドライバをインストールして MFC/DCP の関連付けをします。
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）」P.2-14を参照してください。

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

3

［ポートの追加］をクリックします。

［利用可能なプリンタポート］のリストから［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

前述の［Microsoft TCP/IP 印刷プロトコル］をインストールしていない場合は、［LPR Port］は表示されません。
インストール方法については、「コンピュータの設定（Windows NT® 4.0）」P.2-10を参照してください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

5 ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス :］ボックスに、このネットワークボードの IP アドレスを入力します。

例）192.168.0.53

hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、ネットワークボードに割り当てた名前を入力します。このネットワークボードは、NetBIOS 名をサポートしているため、ネットワークボードの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はネットワーク設定ページに表示されます。デフォルトの NetBIOS 名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

6 ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名 :］ボックスに、ネットワークボード名を入力します。

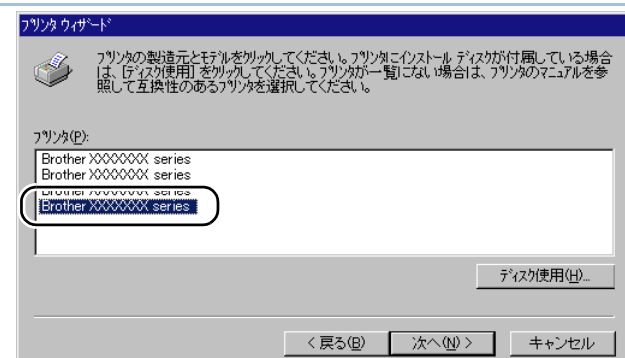
- サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力してください。
- サービス名の詳細は、「サービスの使用」P.13-4 を参照してください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［閉じる］をクリックします。

［利用可能なプリンタポート］のリストに、ネットワークボードの IP アドレスが反転表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

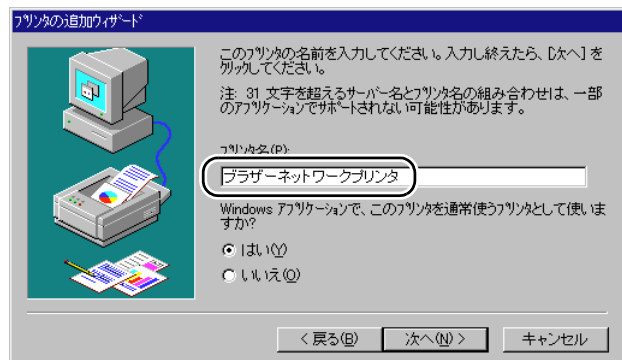
10 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

11 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

12 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ

13 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、この MFC/DCP を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

14 この MFC/DCP を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力します。印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックします。

15 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加と MFC/DCP の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ 「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」の手順 4 ～ 8P.2-11を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

LPR（BLP）で印刷する

概要

Windows® 95/98/Me の場合は、TCP/IP プロトコル上のブラザーピアツーピア印刷（LPR）プロトコルを使用して、ネットワーク対応ブラザー MFC/DCP からピアツーピアで直接印刷することができます。

BLP とはブラザー製 Brother LPR Port の略称です。

●条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. 本機の IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. 本機の IP アドレスなどを設定します。P.2-15
4. コンピュータにブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。P.2-17
5. コンピュータに MFC/DCP の関連付けをします。P.2-20

Windows® 95/98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.2-16を参照してインストールしてください。

ネットワークボードの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に TCP/IP の IP アドレスを設定する必要があります。
詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する」P.2-3を参照してください。

コンピュータの設定（Windows® 95/98/Me）

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、**「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」**P.2-17へ進みます。

1 ［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。
［ネットワーク］が表示されます。

2 ［ネットワークの設定］タブで、［追加］をクリックします。

3 ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

4 ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。
［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP］が追加されます。

メモ
必要なファイルをコピーするためディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示にしたがってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

6 ［現在のネットワークコンポーネント］の［TCP/IP］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

7 IP アドレス等の必要な設定を行い、［OK］をクリックします。
入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

8 ［OK］をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。
コンピュータが再起動されます。

これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［インストール］をクリックします。

3 ［ネットワーク管理用ソフトウェア］をクリックします。

4 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。
ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

5 ［次へ］をクリックします。

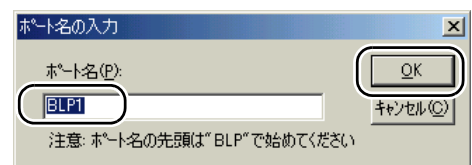
6 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

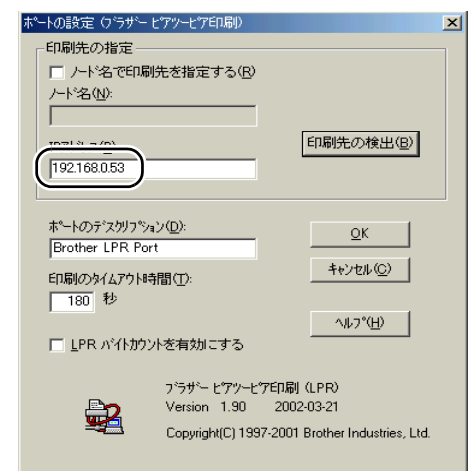
［ブラザーピアツーピア印刷（LPR)］をクリックします。

ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、インストールするフォルダを入力します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

9 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。

10 ［IP アドレス］に、印刷したい本機の IP アドレスを入力します。

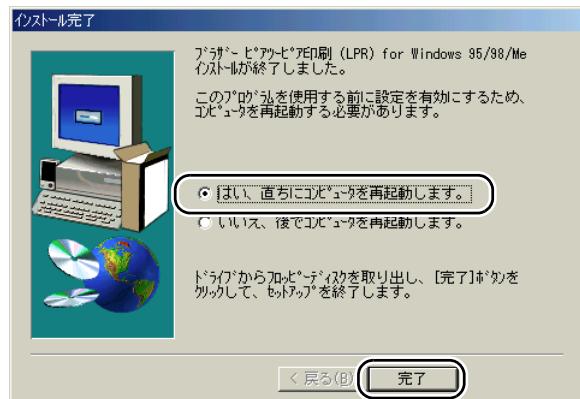
例）192.168.0.53

- hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームサービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、ネットワークボードに割り当てた名前を入力します。このネットワークボードは、NetBIOS 名をサポートしているため、またネットワークボードの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はネットワーク設定ページに表示されます。
  デフォルトの NetBIOS 名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。
- Windows® 95/98/Me の hosts ファイルは、Windows ディレクトリに保存されています。
- Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は「hosts.sam」です。このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子 “.sam” はサンプルであることを示すものです。

［OK］をクリックします。

［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動されます。

これで、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。

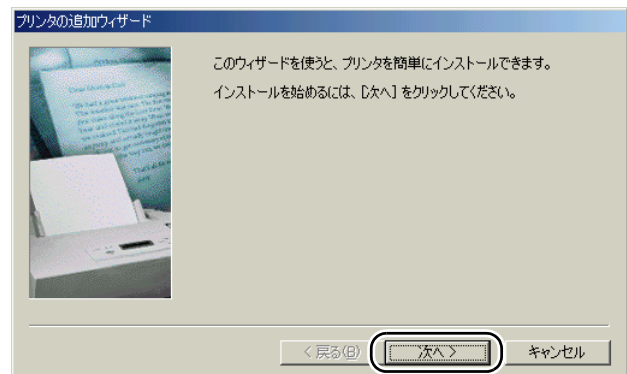
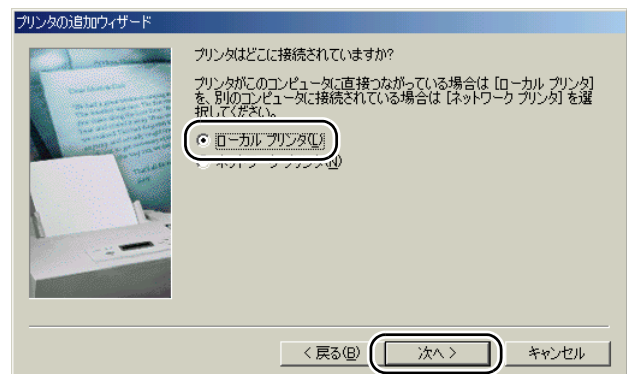
「プリンタの関連付け」P.2-20へ進みます。

プリンタの関連付け

作成したブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートに、MFC/DCP の関連付けをします。

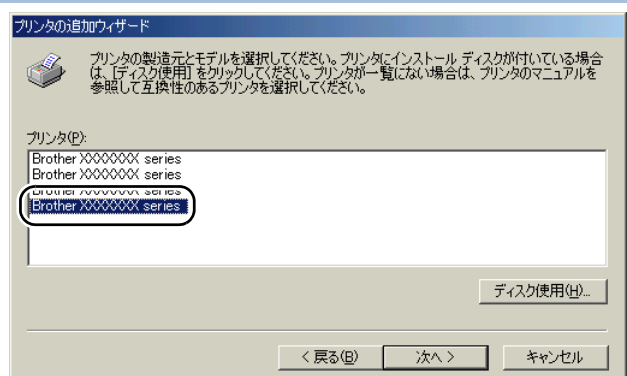
［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

3

［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

4

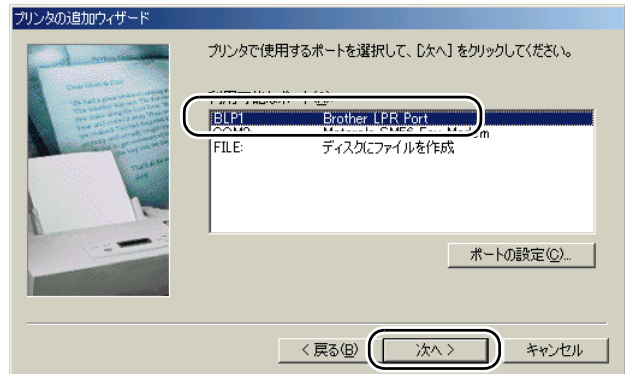
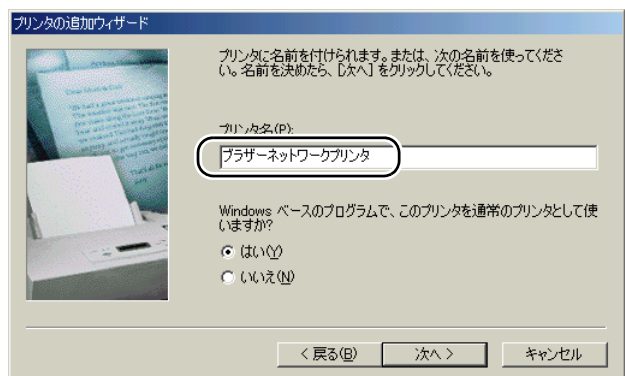
使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ¥JPN¥W9X¥Addprt を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

6 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。

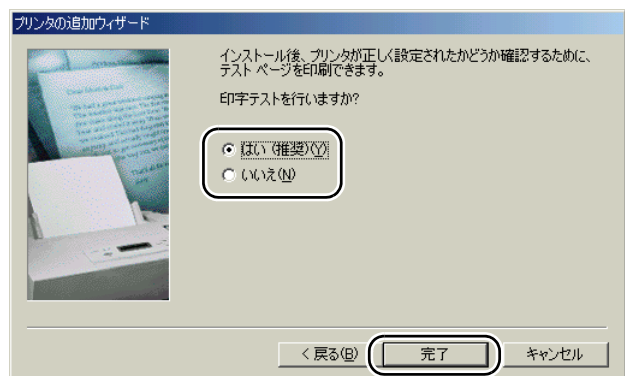
例） BLP1

7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。

例） ブラザーネットワークプリンタ

8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother LPR Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
　［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 11 P.2-18 を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

NetBIOS で印刷する

概要

ネットワークボードは、TCP/IP ベースの NetBIOS プロトコルを使用した印刷をサポートしています。NetBIOS に対応したネットワーク対応ブラザープリンタは、「ネットワークコンピュータ」として、通常の Windows® コンピュータと同じように表示され、ネットワークプリンタとして使用できます。

条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. 本機の IP アドレス、ドメイン名を決定します。
（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. 本機の IP アドレス、ドメイン名などを設定します。P.2-24
4. コンピュータにブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。P.2-25
5. コンピュータに MFC/DCP の関連付けをします。P.2-27

Windows® 2000/XP の場合
標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。

Windows NT® 4.0 の場合
Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。P.2-10

Windows® 95/98/Me の場合
Windows® 95/98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。P.2-16

ネットワークボードの設定

NetBIOS ピアツーピアで印刷するには、本機に TCP/IP の IP アドレスを設定し、ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更します。
詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する」P.2-3を参照してください。

ドメイン名について

ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に設定すると、本機がそのドメイン（ワークグループ）の中の「ネットワークコンピュータ」として認識され、ネットワークプリンタとしてインストールすることができます。
この機能を使用するために特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。
ただし、Windows® 95/98/Me/2000/XP および Windows® NT4.0 で複数のコンピュータから同時に印刷しようとすると、「MFC/DCP が利用できません」のエラーメッセージが表示されることがあります。「ブラザーピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートモニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。ポートモニタによって、MFC/DCP が利用できるようになるまで、印刷ジョブがコンピュータ上に保留され、エラーメッセージは表示されません。

Windows® 95/98/Me の場合、デフォルトのワークグループ名は、WORKGROUP になっていますが、任意の名前に変更することができます。
Windows NT® の場合は、ドメインというネットワークのまとまりで集中セキュリティ管理され、ワークグループで分散セキュリティ管理されています。
本機では、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありません。デフォルトのドメイン名（ワークグループ名）は「WORKGROUP」です。使用するコンピュータが別の名称の場合は、本機も同じ名称に設定してください。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定には、次の方法があります。
- 操作パネルから設定する場合は、「操作パネルで設定する」P.8-1を参照してください。
- BRAdmin Professional を使用する。P.9-4
  TCP/IP または IPX/SPX で動作します。（Netware ファイルサーバーは不要です。）
- ウェブブラウザを使用する。P.7-1
  本機とコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。

メモ
本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows® 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）に表示されるまでに数分かかる場合があります。また、MFC/DCP の電源を切った場合も、本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows® 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）から削除されるまでに、数分かかる場合があります。これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークのためで、トラブルではありません。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

コンピュータの設定

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。

- Windows® 2000/XP の場合（標準でインストールされています）
- Windows NT® 4.0 の場合P.2-10
- Windows® 95/98/Me の場合P.2-16

すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、次の「**ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール**」へ進みます。

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。

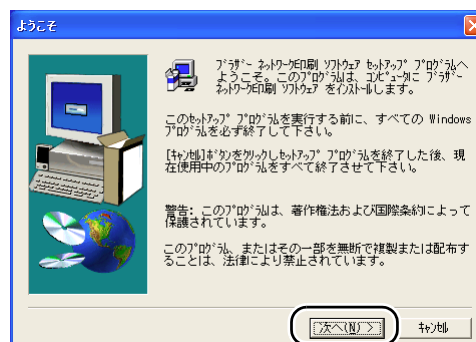
1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

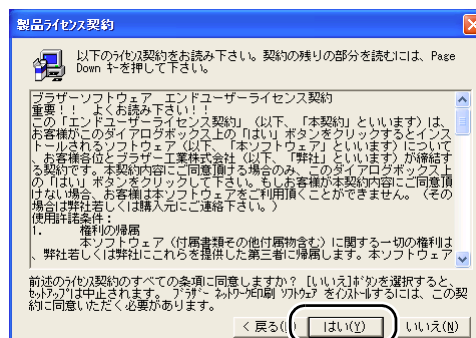
● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［インストール］をクリックします。

3 ［ネットワーク管理用ソフトウェア］をクリックします。

4 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。

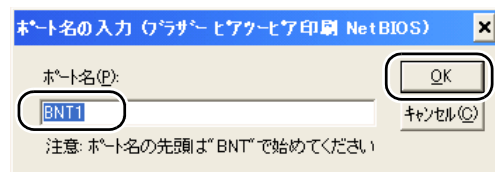
ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

5 ［次へ］をクリックします。

6 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

［ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS)］をクリックします。

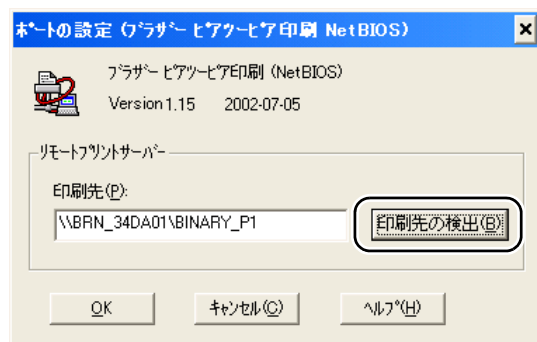
ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、［参照］をクリックしてフォルダを指定します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

9 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのポート名は「BNT1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BNTx」（x は任意の数字）にしてください。

10 ［印刷先の検出］をクリックします。

本機を検索します。
表示されたドメイン（ワークグループ）から印刷に使用するプリンタとポートを選択してください。
プリンタが表示されなかった場合は、プリンタのドメイン名（ワークグループ名）が正しく設定されているか確認してください。

メモ

印刷に使用するプリンタがまだネットワークに接続されていない場合には、［印刷先］を直接入力します。
［印刷先］は、\\NodeName\ServiceName などのように、UNC（Universal Name Convention）に準拠している必要があります。

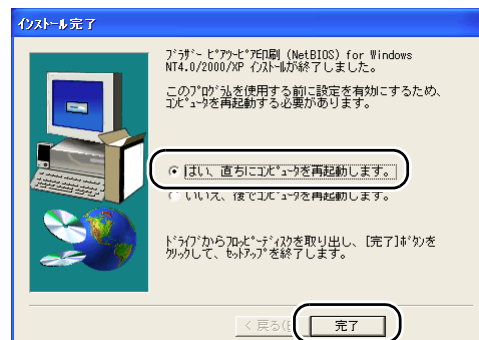
- NodeName は本機の NetBIOS 名で、デフォルト名は「BRN_xxxxxx」（「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁）です。
- ServiceName はこのネットワークボードの NetBIOS のサービス名で、デフォルトでは「BINARY_P1」です。

例）\\BRN_34DA01\BINARY_P1

11 ［OK］をクリックします。

12 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動されます。

これで、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストールは完了しました。

- Windows® 95/98/Me の場合は、「プリンタの関連付け（Windows® 95/98/Me）」P.2-27へ進みます。
- Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「プリンタの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）」P.2-30へ進みます。

プリンタの関連付け（Windows® 95/98/Me）

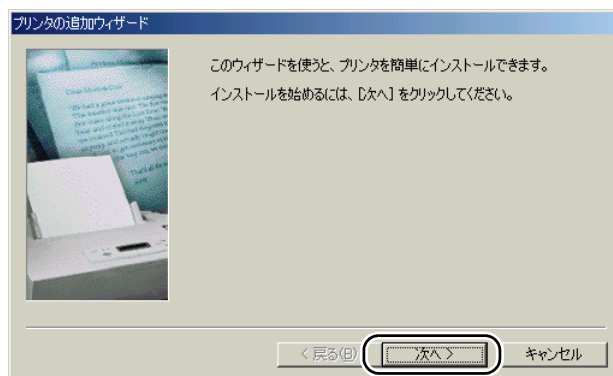
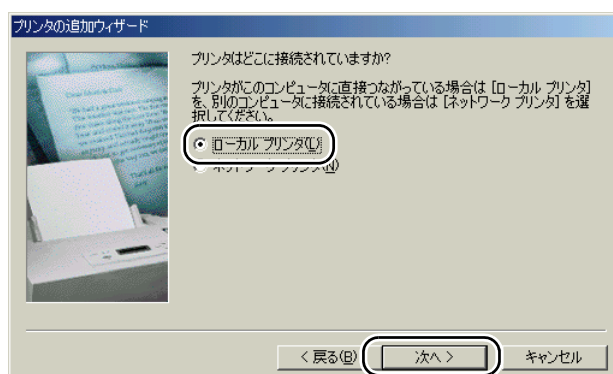
作成したブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、本機の関連付けをします。

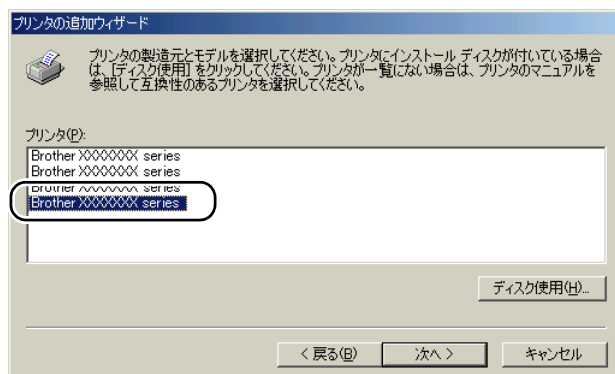
1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

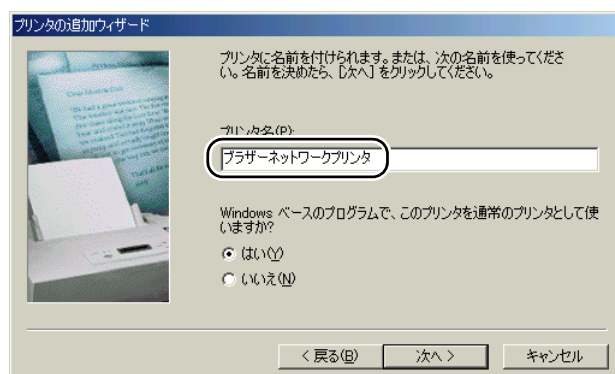
第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ファクス
第6章
スキャナ
第7章
ブラウザ
第8章
パネル

使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ¥JPN¥W9X¥Addprt を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

6 「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。

例）BNT1

7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ

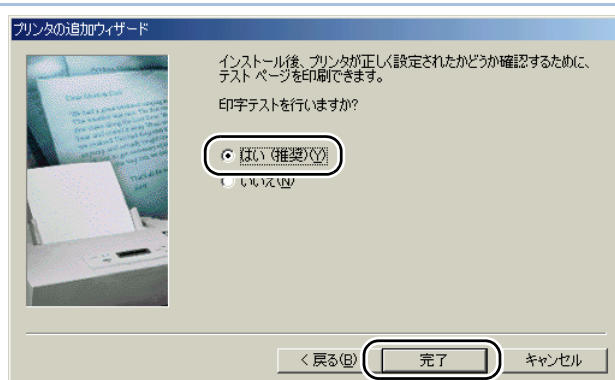
8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

メモ

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother NetBIOS Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12P.2-26を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

プリンタの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）

作成したブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、本機の関連付けをします。

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

● Windows NT® 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

［次へ］をクリックします。

［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

● Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

● Windows NT® 4.0 の場合は、［このコンピュータ］を選択します。

［次へ］をクリックします。

［次のポートを使用］をクリックし、「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択します。

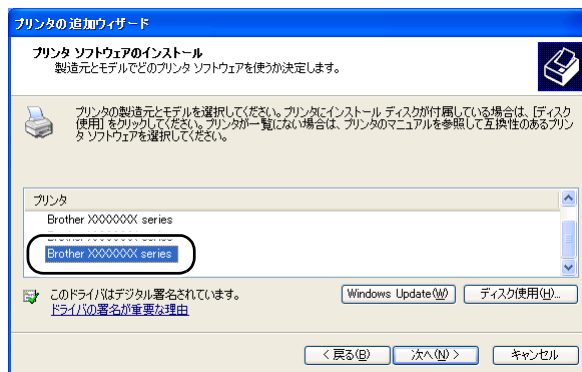
例）BNT1

6 ［次へ］をクリックします。

7 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

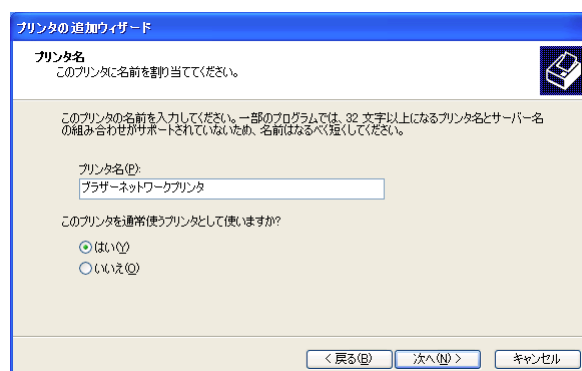
- Windows® 2000 ：¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP ：¥JPN¥WXP¥Addprt

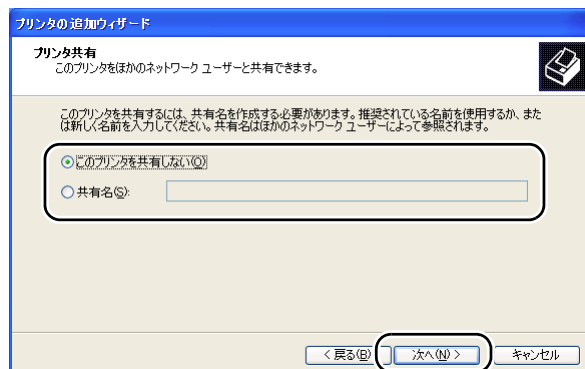
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

メモ　コンピュータがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft のウェブサイトから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

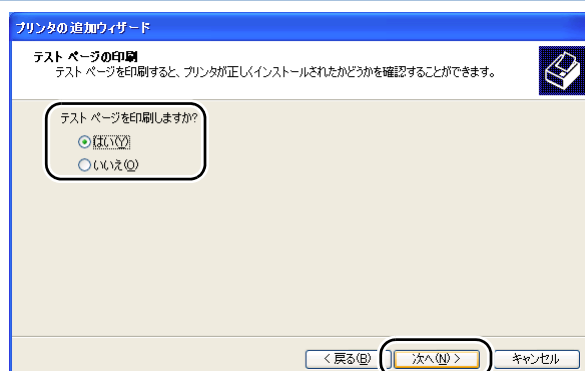
8 ［次へ］をクリックします。

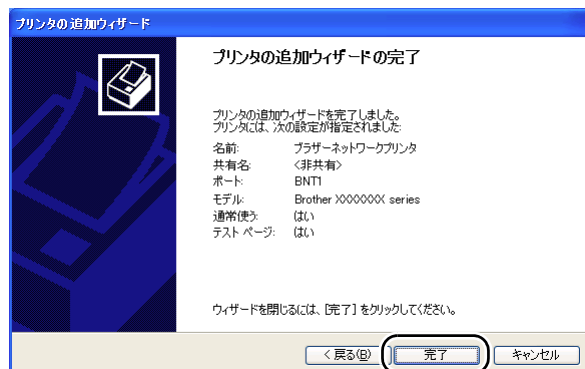
メモ　すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

9 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ

10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

11 この MFC/DCP を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

12 テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。

13 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

メモ

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］ー［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［Brother NerBIOS Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。［ポート名の入力］が表示されます。
⑤ 「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12P.2-26を実行します。

基本編　第 3 章

Macintosh® 環境でネットワーク印刷する

概要

ネットワークボードは、イーサネット上の AppleTalk（EtherTalk）プロトコルをサポートしています。AppleTalk（EtherTalk）プロトコルを使用している Macintosh® コンピュータから印刷することができます。

さらに、ブラザーネットワークボードは、Mac OS® X 10.2 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応していますので、TCP/IP においても AppleTalk 同様にプラグアンドプレイで接続することができます。
なお、ブラザーネットワークボードは、Mac OS® X 10.2.4 以降での利用を推奨します。

●設定の流れ

AppleTalk の場合

1. AppleTalk（EtherTalk）プロトコルによってコンピュータがネットワークに接続されており、ネットワークボードも同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. AppleTalk では、特にネットワークボードの設定をする必要はありません。
3. Macintosh® にプリンタドライバをインストールします。
   インストールについては、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

簡易ネットワーク設定の場合

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワークに接続されており、ネットワークボードも同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. ネットワークボードを設定します。
   TCP/IP を使用する場合は、ネットワークボードに適切な IP アドレスを設定する必要があります。設定方法の詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する」P.2-3
   および「ネットワークの設定」P.9-1を参照してください。
   なお、Mac OS® X では、コンピュータも APIPA（AutoIP）をサポートしているため、APIPA（AutoIP）を使用している環境であれば、同様に APIPA（AutoIP）で自動設定されたネットワークボードとそのまま通信できます。APIPA（AutoIP）を無効にしている場合は、IP アドレスの設定が必要です。
3. Macintosh® にプリンタドライバをインストールします。
   インストールについては、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
4. 簡易ネットワーク設定機能を設定します。P.3-4

ネットワークの設定

- ネットワークボードの工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
  - IP アドレス：169.254.x.x（x.x はネットワークボードにより自動的に割り当てられます。）
  - ドメイン名：WORKGROUP
  - パスワード：access
- ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

設定の変更

Macintosh® で本機ネットワークのパラメータを変更するには、ウェブブラウザを使用するのが最も簡単です。この場合は、事前に本機に適切な IP アドレスが設定されている必要があります。

1 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address］はご使用になる MFC/DCP の IP アドレス）と入力します。

MFC/DCP に接続します。

例）http://192.168.0.53

2 [ネットワーク設定］をクリックし、[ネットワークカードパスワード］でパスワードを入力します。

デフォルトのパスワードは access です。

3 [AppleTalk の設定］を選択して、[BRN_xxxxxx_P1］をクリックします。

デフォルトの AppleTalk サービス名は「BRN_xxxxxx_P1」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

例） BRN_34DA01_P1

4 [サービス名］に新しい名称を入力し、[登録］をクリックします。

Windows® コンピュータから BRAdmin Professional を使用して、本機ネットワークの設定を変更することもできます。P.2-3

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

簡易ネットワーク設定機能で印刷する

簡易ネットワーク設定機能を使用すると、自動的に機器をコンピュータに接続して、瞬時にネットワークを作成します。
Mac OS® X の簡易ネットワーク設定は、自動的に本機に設定されます。
Mac OS® X 10.2.4 かそれ以降のバージョンで使用できます。

Mac OS® X の簡易ネットワーク設定環境で動作するブラザー製 MFC/DCP についての詳細は、次の情報を参照してください。

MFC/DCP の電源を入れます。

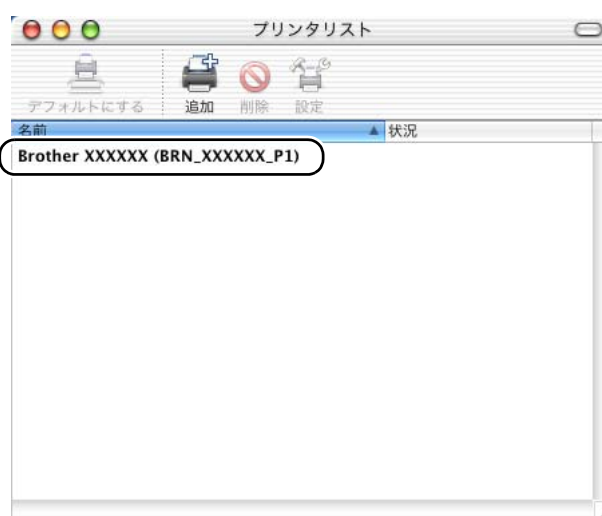
［Macintosh HD］アイコンー［Applications］フォルダー［Utilities］フォルダー［PrintCenter］アイコンの順にダブルクリックします。

3 ［追加］をクリックします。

Rendezvous を選択します。
簡易ネットワーク設定機能に対応した機器が表示されます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

[プリンタの機種] から
[Brother Laser] を選択し、[追加] をクリックします。

簡易ネットワーク設定に対応した本機が表示されます。

6 本機を選択し、[デフォルトにする] をクリックすると、通常使用するプリンタとして設定されます。
これで、プリンタから印刷できます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

基本編　第 4 章

インターネット印刷する

概要

Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0 用ブラザーインターネット印刷ソフトウェアを使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。
例えば、東京のオフィスにあるコンピュータ上の Microsoft Excel アプリケーションソフトのデータを、大阪のオフィスにあるプリンタで印刷することができます。
MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows®95 に対応していません。

Windows® 2000/XP の場合もブラザーインターネット印刷ソフトウェアを使用することができますが、標準サポートされている IPP プロトコルを使用することをお勧めします。詳細は「Windows® 2000/XP でのインターネット印刷」P.4-19を参照してください。

Windows® 95/98/Me の場合は、IPP プロトコルを使用して、Windows® 2000/XP コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。ただし、Windows® 2000/XP コンピュータで IIS が実行され、クライアントコンピュータに Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがインストールされている必要があります。また、Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以降を使用する必要があります。

●設定の流れ

1. 受信側のメールサーバーにメールアカウントを追加し、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルを設定します。
2. MFC/DCP の IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. MFC/DCP の IP アドレス、POP3 サーバーと SMTP サーバーの IP アドレスなどを設定します。P.4-5
4. コンピュータにブラザーインターネット印刷（BIP）ソフトウェアをインストールします。P.4-9
5. コンピュータにプリンタの関連付けをします。P.4-13
6. Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ブラザーインターネット印刷とは

ブラザーインターネット印刷ソフトウェアをインストールすると、Windows® コンピュータ上に、アプリケーションソフトから標準プリンタポートとして取り扱うことのできる仮想ポートが作成されます。
Windows® の印刷マネージャを使用して、Windows® 互換プリンタの場合と同じように、このポートを使用するプリンタを関連付けることができます。
Windows® の任意のアプリケーションソフトから、このプリンタ（仮想ポート）に印刷ジョブを出力することができます。

印刷ジョブが仮想ポートに出力されると、電子メールに印刷データが添付され、メールサーバーを経由して、リモート環境の MFC/DCP に送信されます。
ブラザーインターネット印刷を使用するには、メールサーバーからインターネット上に電子メールを配信できる必要があります。

●動作の詳細

- コンピュータがローカルエリアネットワーク（LAN）に接続している場合は、電子メールはメールサーバーに送信され、SMTP プロトコル（Simple Mail Transfer Protocol）を使用して、インターネットを通じ、MFC/DCP に転送されます。
- コンピュータがダイヤルアップなどで直接インターネットサービスプロバイダ（ISP）に接続している場合は、電子メールのインターネットサービスプロバイダ（ISP）のメールサーバーを経由して MFC/DCP に転送されます。
- 受信先では MFC/DCP は、送信元がメールサーバーから受け取ったメールを受信メールサーバーから POP3（Post Office Protocol 3）を使用してダウンロードし、添付ファイルを印刷します。

メールサーバーの設定

ブラザーインターネット印刷ジョブの受信設定を行う前に、受信側のメールサーバーで、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルの設定を行います。

受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加します。

メールアカウントとパスワードを設定します。

3

POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

ネットワークの設定

ブラザーインターネット印刷を使用するには、MFC/DCP に TCP/IP の IP アドレスを設定する必要があります。P.2-3
さらに、MFC/DCP が使用する POP3 サーバーと SMTP サーバーの IP アドレスなどは、次の方法で設定することができます。

- BRAdmin Professional を使用してを設定するP.4-5
- ウェブブラウザを使用してを設定するP.4-7

BRAdmin Professional を使用してネットワークの設定をする

BRAdmin Professional は、TCP/IP プロトコルまたは IPX プロトコルを使用して MFC/DCP の各種設定をすることができます。

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 コンピュータから送信された印刷ジョブを、MFC/DCP で受信するように、次の手順で設定します。

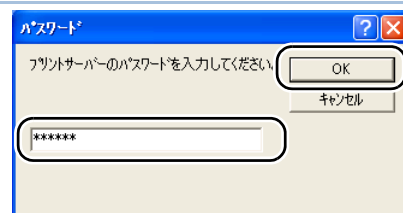
1 BRAdmin Professional を起動します。

2 設定ネットワークボードをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

メモ

ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

3 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

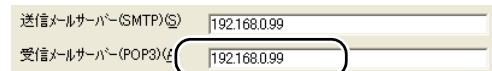
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

4 [POP3/SMTP] タブをクリックします。

メモ タイムアウトオプションを設定することもできます。ブラザーインターネット印刷の特長として、印刷ジョブを複数のメールメッセージに分割することができます。このオプションでは、分割印刷ジョブの受信を中止するまでの時間（タイムアウト）を設定します。

5 POP3 サーバーの IP アドレス (またはサーバー名) を入力します。

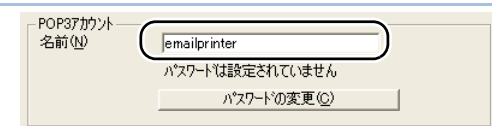
アドレスが分からない場合は、メールサーバー管理者にお問い合わせください。

例） 192.168.0.99 (pop.xyz.com)

送信ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰ(SMTP)(S) 192.168.0.99
受信ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰ(POP3)(A) 192.168.0.99

6 [POP3 アカウント] の [名前] に受信側のアカウント名 (ユーザー名) を入力します。

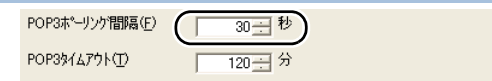
例） emailprinter

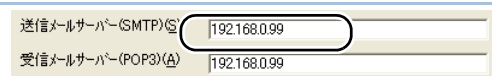
アカウント名 (ユーザー名) は、メールアドレスの@より前の部分であるのが通常です。例えば、メールアドレスが emailprinter@xyz.com の場合は、アカウント名 (ユーザー名) は emailprinter です。詳しくはメールサーバー管理者にお問い合わせください。

POP3ｱｶｳﾝﾄ 名前(N) emailprinter
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞは設定されていません
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更(C)

7 アカウント用のパスワードがあれば入力します。

8 必要に応じて、メールサーバーへの印刷ジョブの到着を確認する間隔を設定します。

デフォルトは 600 秒間隔です。

POP3ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ間隔(F) 30 秒
POP3ﾀｲﾑｱｳﾄ(T) 120 分

9 印刷結果通知機能を使用する場合は、SMTP サーバーの IP アドレス (またはサーバー名) を入力します。

アドレスが不明の場合は、メールサーバー管理者にお問い合わせください。

10 [OK] をクリックします。

設定した内容を保存します。

［閉じる］をクリックします。

BRAdmin Professional を終了します。

これで、MFC/DCP で印刷ジョブを受信、印刷することができます。

● ウェブブラウザを使用してネットワークの設定をする

ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になる MFC/DCP の IP アドレス）を入力します。

ネットワークの設定画面が表示されます。

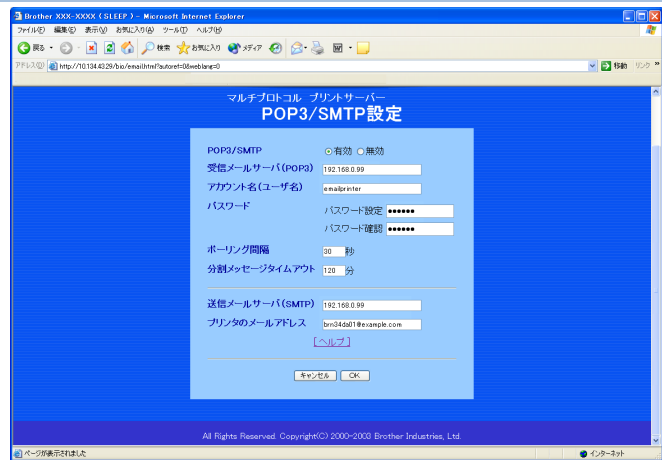
例） MFC/DCP の IP アドレスが 192.168.0.53 の場合
　　ブラウザに http://192.168.0.53 と入力します。

［ネットワーク設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトでは、ユーザー名：admin、パスワード：access です。

[POP3/SMTP 設定］を選択し、必要な情報を入力します。

ネットワークボードの設定については前の項目の「BRAdmin Professional を使用してネットワークの設定をする」の手順 5 ～ 9P.4-6を参照してください。

タイムアウトオプションを設定することもできます。ブラザーインターネット印刷の特長として、印刷ジョブを複数のメールメッセージに分割することができます。このオプションでは、分割印刷ジョブの受信を中止するまでの時間（タイムアウト）を設定します。

5 [OK］をクリックします。

設定した内容を保存します。

[閉じる］をクリックします。

ネットワークの設定画面を終了します。

これで、MFC/DCP で印刷ジョブを受信、印刷することができます。

ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール

ブラザーインターネット印刷ソフトウェアをインストールします。

- コンピュータで実行されている電子メールソフト（メーラー）が、電子メールを送信できることを確認してください（Microsoft Outlook など）。
- メールサーバーからインターネットを通じて電子メールを送信できることを確認してください。

MFC-8820J の場合

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［インストール］をクリックします。

3 ［ネットワーク管理用ソフトウェア］をクリックします。

4 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

手順 5P.4-10へ進んでください。

MFC-8820JN の場合

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［8820JN］をクリックします。

3 ［追加ソフトウェア］をクリックします。

4 ［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

手順 5P.4-10へ進んでください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

DCP-8025JN の場合

CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

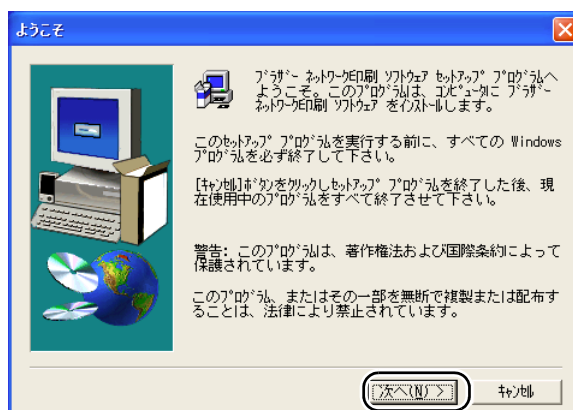
● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

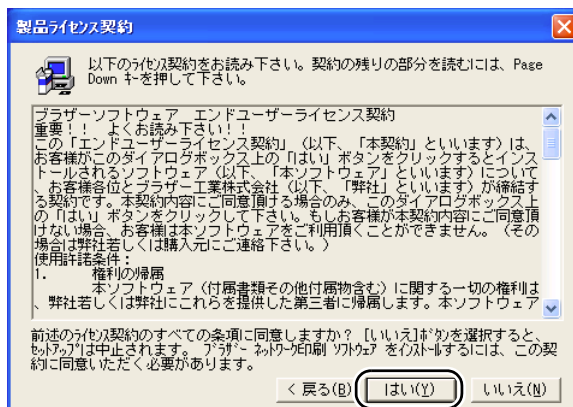
［8025JN］をクリックします。

3 ［追加ソフトウェア］をクリックします。

4 ［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。
次の手順 5 へ進んでください。

5 ［次へ］をクリックします。

6 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

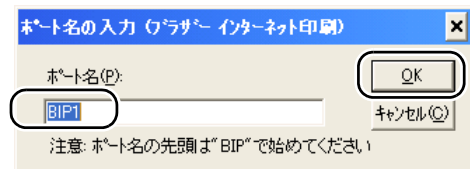
ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

［ブラザーインターネット印刷］をクリックします。

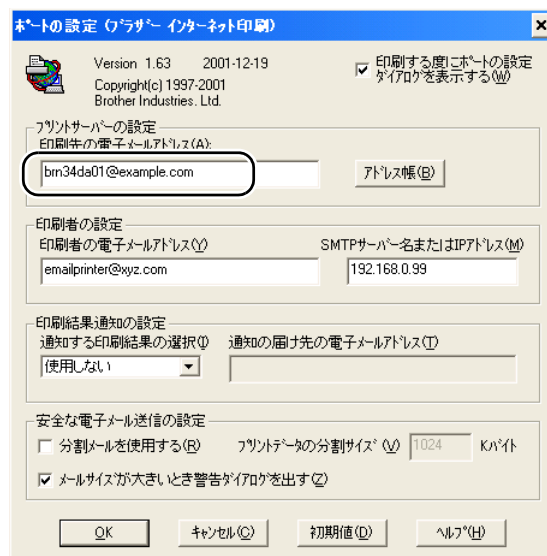
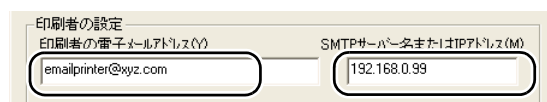
ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、［参照］をクリックしてフォルダを指定します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

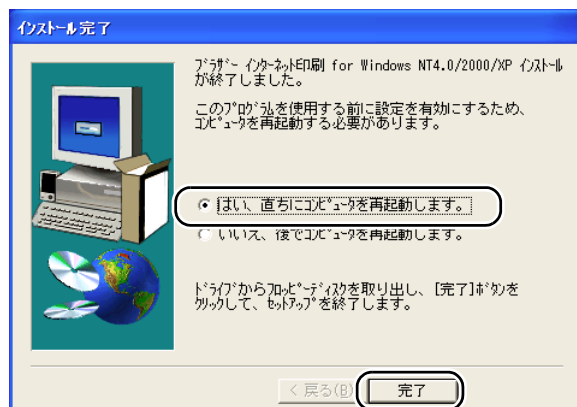
使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのポート名は「BIP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BIPx」（x は任意の数字）にしてください。

インターネット印刷の分割のメッセージが表示されたときは、分割サイズを指定します。

10 受信する方の MFC/DCP の電子メールアドレスを入力します。
例） brn34da01@example.com

電子メールアドレスには、スペース文字などを使用することはできません。

11 ［SMTP サーバー名または IP アドレス］と［印刷者の電子メールアドレス］を入力します。
このアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

12 ［OK］をクリックします。

13 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。
コンピュータが再起動されます。

これで、ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストールは完了しました。

- Windows® 95/98/Me の場合は、「リモートプリント / ファクスサーバーの関連付け（Windows® 95/98/Me）」P.4-13へ進みます。
- Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「リモートプリント / ファクスサーバーの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）」P.4-15へ進みます。

リモートプリント / ファクスサーバーの関連付け（Windows® 95/98/Me）

作成したブラザーインターネット印刷のポートに、リモートプリント / ファクスサーバーの関連付けをします。

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

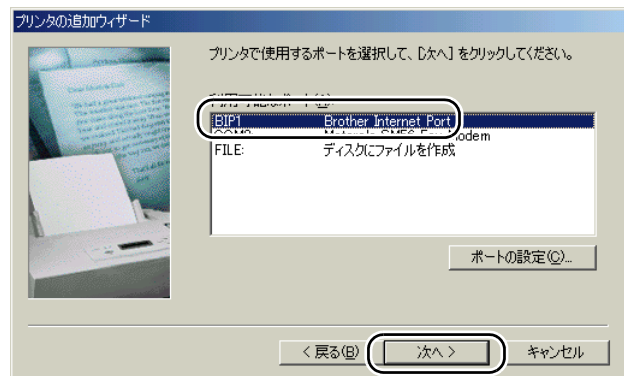
［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

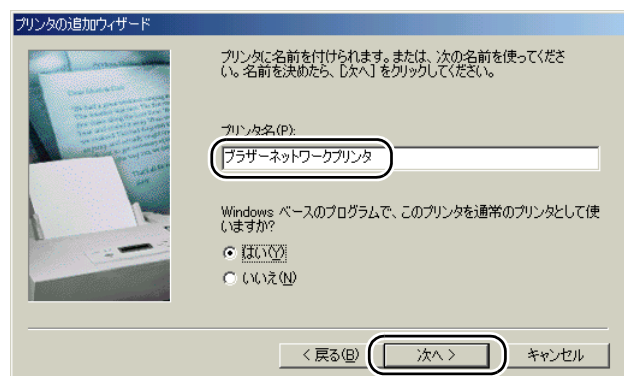
使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ¥JPN¥W9X¥Addprt を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

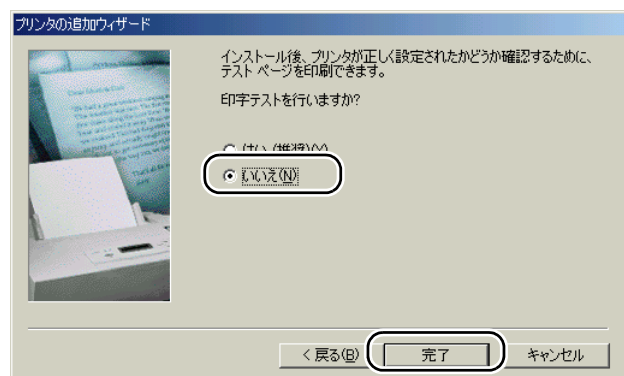
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

6 「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。
例） BIP1

7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。
例） ブラザーネットワークプリンタ

この名称は、「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポート名、手順 10 で指定した電子メールアドレスと特に一致している必要はありません。

8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、この MFC/DCP を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかの選択では、リモートプリント / ファクスサーバーで印刷ジョブを受信する設定が済んでいる場合を除き［いいえ］をクリックし、［完了］をクリックします。

これで、リモートプリント / ファクスサーバーの関連付けは完了しました。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ブラザーインターネット印刷ポートの追加

ブラザーインターネット印刷ポートを追加するときは、ブラザーインターネット印刷ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother Internet Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」P.4-11の手順 9 ～ 12 を実行します。BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

続いて、Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19へ進んでください。

リモートプリント / ファクスサーバーの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）

作成したブラザーインターネット印刷のポートに、リモートプリント / ファクスサーバーの関連付けをします。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

● Windows NT® 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

2 ［次へ］をクリックします。

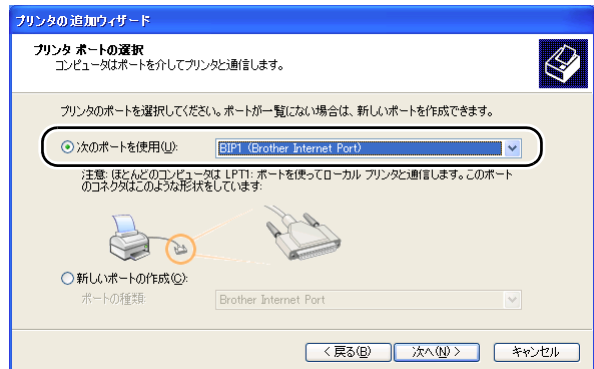
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows® 2000 の場合は、[ローカルプリンタ］をクリックし、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。
- Windows NT® 4.0 の場合は、[このコンピュータ］を選択します。

[次へ］をクリックします。

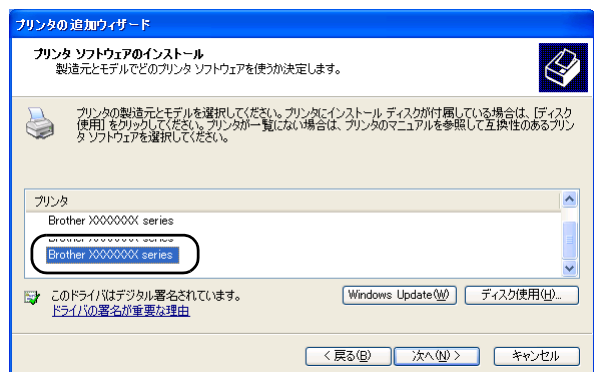
5 [次のポートを使用］をクリックし、「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 7 で作成したポートを選択します。

例）BIP1

6 [次へ］をクリックします。

使用するプリンタドライバを指定します。

[ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

- Windows® 2000　：¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP　　：¥JPN¥WXP¥Addprt

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

コンピュータがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update］をクリックし、Microsoft のウェブサイトから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

[次へ］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

9 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例）ブラザーネットワークプリンタ
この名称は、「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 7 で作成したポート名、手順 8 で指定した電子メールアドレスと特に一致している必要はありません。

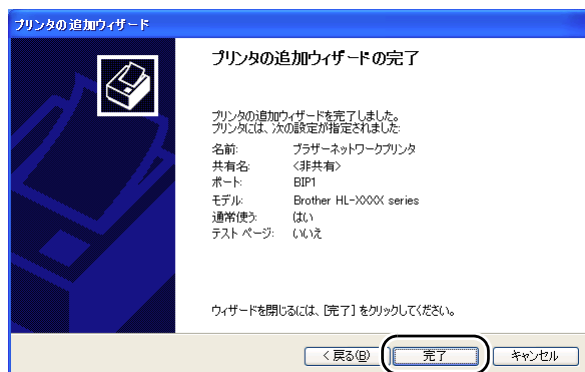
10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、この MFC/DCP を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

11 この MFC/DCP を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

12 テスト印刷をするかどうかの選択では、リモートプリント / ファクスサーバーで印刷ジョブを受信する設定が済んでいる場合を除き［いいえ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

［完了］をクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、リモートプリント / ファクスサーバーの関連付けは完了しました。

メモ

ブラザーインターネット印刷ポートの追加

ブラザーインターネット印刷ポートを追加するときは、ブラザーインターネット印刷ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタ］をクリックします。（Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタ］をクリックします。）
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［Brother Internet Port］を選択します。
⑤ ［新しいポート］をクリックします。
　［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「ブラザーインターネット印刷ソフトウェアのインストール」P.4-11の手順 9 ～ 12 を実行します。BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

続いて、Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19へ進んでください。

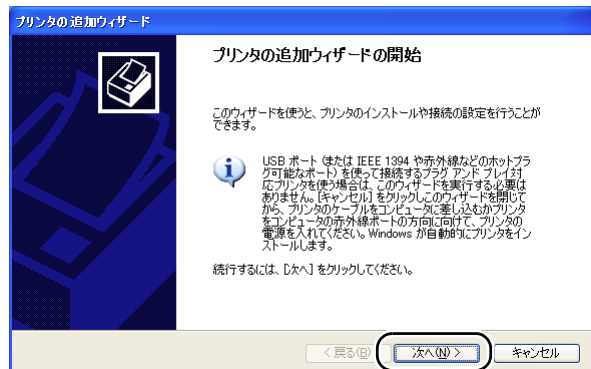
Windows® 2000/XP でのインターネット印刷

Windows® 2000/XP の IPP(Internet Printing Protocol) を用いたインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

MFC/DCP の IP アドレス設定が完了し、ネットワークに接続されている必要があります。
インターネットを経由して遠隔地にある MFC/DCP に IPP 印刷機能で印刷する場合は、ブロードバンドルータに各種の設定が必要です。
ブロードバンドルータの設定方法や、設定するデータはネットワーク管理者にお問い合わせください。

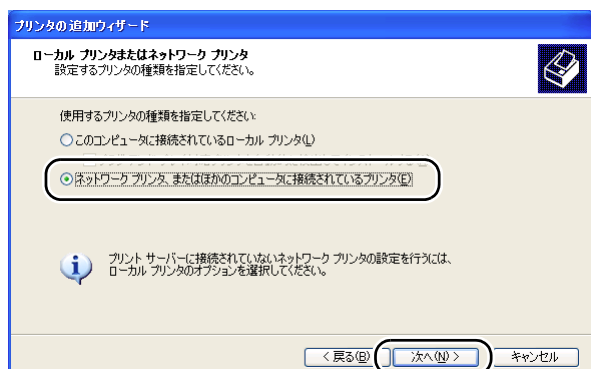
1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

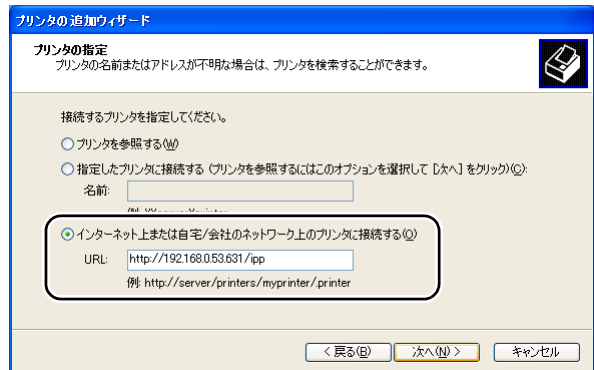
- Windows® 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。

[インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] をクリックし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。

- Windows® 2000 の場合は、[インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] をオンにし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。

http://ip_address:631/ipp

ip_address は MFC/DCP の IP アドレスです。
例) MFC/DCP の IP アドレスが 192.168.0.53 の場合
http://192.168.0.53:631/ipp

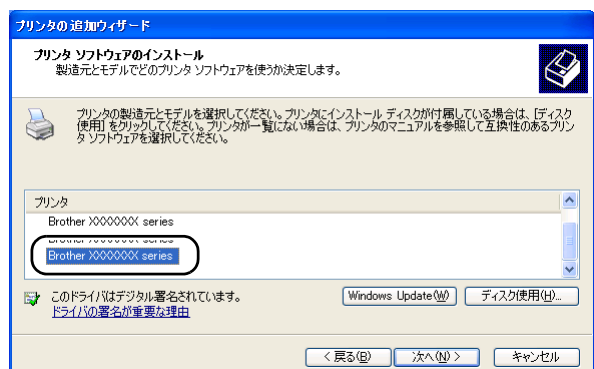
URL で指定している "631" は IPP 標準のポート番号です。

[次へ] をクリックします。

指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  ドライバをデフォルトのプリンタドライバにするかどうかを選択し [次へ] をクリックします。
  手順 8 に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  インターネット印刷のメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類を Windows® 2000/XP に対して指定する必要はありません。
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順 6 に進んでください。

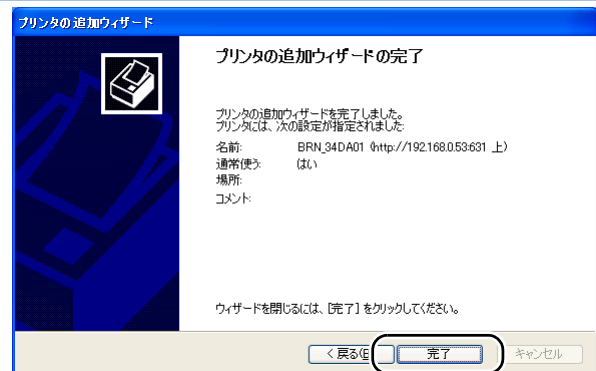
6 使用するプリンタドライバを指定します。

[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

コンピュータがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft のウェブサイトから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

［次へ］をクリックします。

［完了］をクリックします。

これで、Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能の設定は完了しました。このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ファクス
第6章
スキャナ
第7章
ブラウザ
第8章
パネル

別の URL を指定する

［URL］ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。

「詳細」タブをクリックしても MFC/DCP のデータは表示されません。

http://ip_address:631/ipp

デフォルトの URL です。この URL の使用をお勧めします。

http://ip_address:631/

URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでも MFC/DCP に受け付けられ、データが処理されます。

ブラザーネットワークボードに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。

http://ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1
http://ip_address : 631/binary_p1
http://ip_address : 631/text_p1
http://ip_address : 631/postscript_p1
http://ip_address : 631/pcl_p1
http://ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1_at

ip_address は MFC/DCP の IP アドレスです。
xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

基本編　第5章

ファクス機能搭載機種のみ

ネットワークファクス機能を使う

ネットワークファクス機能とは

- ネットワークファクス機能は、ご購入のブラザー製品にファクス機能が搭載されている場合のみご利用になれます。
- ネットワークファクス機能を使うには、SMTP/POP3 メールサーバーの設定をしておく必要があります。

ネットワークファクス機能には、MFC やお使いのコンピュータから直接インターネットを経由してファクスを送受信するインターネットファクス機能と、プリンタに印刷する感覚でファクス送信できるネットワーク PC-FAX 機能があります。

インターネットファクス機能 P.5-3

インターネットファクス（I-FAX）機能を使うと、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信できます。MFC からインターネットファクスでメッセージを送信するときは、TIFF-F 形式の添付ファイルとして電子 メール（MIME 形式）で通信されます。
ファクス文書が経由するのはインターネットです。

ネットワーク PC-FAX 機能 P.5-13

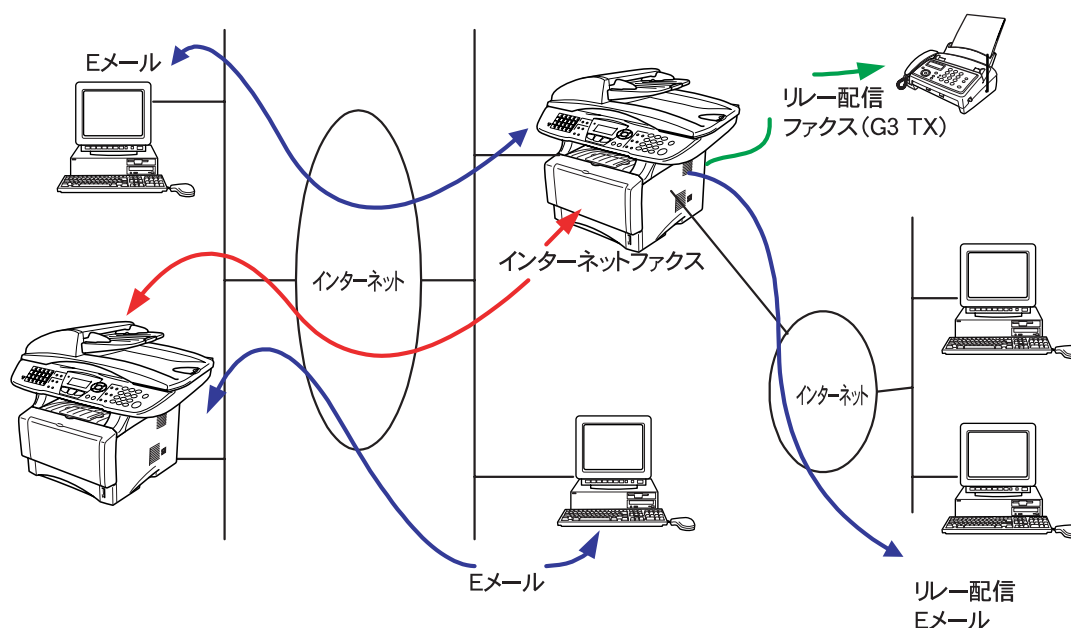
ネットワーク PC-FAX 機能を使うと、コンピュータ上のどのようなアプリケーションからでもプリンタに印刷する感覚で、MFC を通して相手先ファクス機器に文書を送信できます。
また送付書をつけることも可能で、コンピュータ上で送付先の電話帳を管理できるので非常に便利です。
ファクス文書が経由するのは通常の電話線です。
ネットワーク PC-FAX の最新情報については、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）を参照してください。

インターネットファクス機能を使う

概要

インターネットファクス送受信は一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。

- 受信者の場所、LAN の構造やネットワークの混み具合によりエラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は 20 ～ 30 秒）。
- 重要機密などの情報の送信についてはインターネットを通じたファクス文書のやり取りよりも一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME 形式に対応していない場合はインターネットファクス文書を受信できません。その場合のサーバーメッセージの返信も無いことがあります。
- 送信文書のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信したメールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

インターネットファクス（I-FAX）は、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。MFC からインターネットファクスでメッセージを送信するときは、TIFF-F 形式の添付ファイルとして E メール（MIME 形式）で送信されます。
コンピュータ を使って受信する場合、Windows® ユーザの方は TIFF-F を閲覧するためビューワーとして Microsoft® Imaging などをお使いください。Windows® XP ユーザの方はその他、TIFF-F が閲覧可能なビューワーをお使いください。Macintosh® ユーザの方も TIFF-F 形式が閲覧可能なビューワーが別途必要となります。

TIFF-F 形式について

ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されている TIFF ファイルと比較すると、圧縮形式やページ情報を持っている（複数の画像が一つのファイルになっている）などの点で異なっています。したがって、複数枚のファクスを受信しても 1 個のファイルに変換できます。

インターネットファクス送信の準備

設定の流れ

インターネットファクス（I-FAX）をご使用いただく前に、MFC のネットワークおよびメールサーバーの設定をしておく必要があります。

- ネットワークボードに IP アドレスを設定します。P.2-3
  （ネットワークプリンタとして使用されていれば、設定済みです。）
- ネットワークボードにメールアドレスを設定します。P.8-14
- ネットワークボードに SMTP、POP3 サーバーアドレスを設定します。P.8-15 P.8-16
- ネットワークボードにアカウント名およびパスワードを設定します。P.8-17 P.8-18

これらの設定はウェブブラウザ「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1でも設定できます。
設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

操作パネルのキーについて

操作パネルでのキー操作は、下記のとおりです。

- ［▼シフト］＋［1］
  入力モードを切り替えます。ダイヤルボタンを使ってアルファベットの入力ができます。
- ダイヤルボタン
  アルファベット、記号（@ . space ! “ # % & ‘ ( ) + / : ; < > = ? [ ] ^ - $, * _ ）と数字を入力できます。
- ［▼シフト］＋［3］
  大文字、小文字を切り替える場合に使用します。［▼シフト］＋［1］で入力モードを切り替えた後しか有効になりません。
- ←→
  カーソルを移動するときに使用します。
- ↑↓
  メニューや選択項目をスクロールするときに使用します。
- ［セット］
  複数の送付先を入力又は選択する場合、ひとつの送付先を入力するごとに続けて押します。
- ［スタート］
  文書の送信を開始します。
- ［停止 / 終了］
  入力した送付先の削除、スキャニングや送信を止めるときに押します。
- ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルなど
  通常のファクス送信時のキー操作と同じです。
- ［▼シフト］＋［スタート］
  手動で POP3 サーバーのメールをチェックさせる時に使用します。

操作パネルのデザインは各機種ごとに異なる場合が多く、そのため本書では操作パネルのキー表記を上記のようにしています。お使いの機種のキーに置き換えてお読みください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

インターネットファクスを送る

通常のファクス送信と同じ手順で送信する

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンにあらかじめインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。

- 画質は操作パネルの［ファクス画質］キーで選択できます。スタンダード、ファインの各画質を選択できます。カラーでは送信できません。
- 「設定の流れ」P.5-4に挙げている項目が正しく設定されている必要があります。

スキャン E メールキーを使って送信する

この機能は、スキャナ機能が搭載されている機種でのみご利用になれます。

1. 送信したい書類を MFC の原稿台ガラスまたは ADF にセットします。

2. ［スキャン］キーを押します。

3. ［↑］［↓］キーを押して「スキャン E メール」を選択します。

4. 「E メールデ　オクル」をメニューから選択し、［セット］キーを押します。

5. 「ガシツ　ヘンコウ」を選択し、［セット］キーを押します。

6. ↑↓で解像度を選択し、［セット］キーを押します。
   - 1. カラー　150 dpi
   - 2. カラー　300 dpi
   - 3. カラー　600 dpi
   - 4. モノクロ　200 dpi
   - 5. モノクロ　200 × 100 dpi

   ● カラーを選んだ場合は、ファイルタイプを選択し（PDF または JPEG)、［セット］キーを押し、手順 7 へ進みます。

7. 送付先アドレスを入力します。
   送付先アドレスがすでにワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに入っている場合は、それらを使用して選択します。その場で送付先アドレスを入力することもできます。アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力についてP.5-6」を参照してください。

8. ［ファクススタート］キーを押します。
   ファクスがインターネット経由で送信されます。原稿が読み取られた後、SMTP サーバーを通って送信が完了し、通常の待機状態に戻ります。
   ● 読み取り終了までに［停止 / 終了］キーを押すと、送信をキャンセルすることができます。

●アルファベット入力について

アルファベットを入力するときは、アルファベット入力モードに切り替えます。

アルファベットを入力する

アルファベット入力モードに切り替えるには、［シフト］を押したまま［1］キーを押します。アルファベット入力モードでは、ダイヤルボタンを使用してメールアドレスの入力ができます。入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのキーに割り当てられた文字を入力することができます。[*] と [#] には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン ＼ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	A	B	C	2													
3	D	E	F	3													
4	G	H	I	4													
5	J	K	L	5													
6	M	N	O	6													
7	P	Q	R	S	7												
8	T	U	V	8													
9	W	X	Y	Z	9												
0	0																
*	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+	,	-	.	/	€
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

MFC には、下表のように、ワンタッチダイヤルと［▼シフト］キーを組み合わせて文字を入力することもできます。
［▼シフト］キーとの組み合わせは表中下段になります。

ワンタッチダイヤル対応表

01 - a	02 - b	03 - c	04 - d	05 - e
21 - u	22 - v	23 - w	24 - x	25 - y
06 - f	07 - g	08 - h	09 - i	10 - j
26 - z	27 - .	28 - @		30 - ［記号］
11 - k	12 - l	13 - m	14 - n	15 - o
31 - ［記号］	32 - 大文字 / 小文字	33 -	34 -	35 -
16 - p	17 - q	18 - r	19 - s	20 - t
36 -	37 -	38 -	39 -	40 -

カーソルを移動する

←または→キーをお使いください。

入力した文字を修正する

誤って入力した場合は、←を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

サイズ制限

E メールサーバーによっては大きな容量のメール送信に対し、制限が設けられていることがあります。サイズ制限を ON にしておくと、1M バイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この場合は、ページを分割して送るなどしてひとつのメールを制限値以下に抑える必要があります。

この設定は操作パネル設定の LAN メニューから変更できます。「第 8 章　操作パネルで設定する」の「サイズ制限」P.8-25を参照してください。

またウェブブラウザでも設定できます。「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1を参照してください。

インターネットファクスやＥメールを受信する

Ｅメールメッセージを受信するには二つの方法があります。

- 自動で定期的に確認する
- 手動で確認する

自動で定期確認を設定する

MFC に定期的に POP3 サーバーへアクセスさせます。操作パネルの LAN メニューを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。「第 8 章　操作パネルで設定する」の「自動受信（自動メールチェック機能）」P.8-19 または「ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）」P.8-20 を参照してください。
またウェブブラウザでも設定できます。「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1 を参照してください。

手動で確認する

手動でブラザーファクス本体に POP3 サーバーへアクセスさせ、メールを確認します。

［▼シフト］＋［ファクススタート］キーを押します。
メールの受信が開始されます。
本機のディスプレイに［ジュシン　チュウ］と表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。
メール確認の結果、POP3 サーバーにメールが存在しない場合は［メール　ハ　アリマセンデシタ］と表示されます。
データを受信し、印刷開始の時点で記録紙カセットや記録紙トレイに紙が無い場合、受信されたデータは MFC 内のメモリに保存されます。このデータは記録紙を補充することで自動的に印刷されます。

- 受信するメールの本文は半角英数の場合のみ、正しく印刷することができます。（日本語には対応していません。）
- 受信されたメールがテキスト形式でない場合や、添付ファイルが TIFF-F 形式でない場合は［サポートシテイナイ　データケイシキファイルメイ :XXXXXX.doc］などのエラーメッセージが印刷されます。
- 受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合、［ファイルサイズガ　オオキスギマス］というメッセージが印刷されます。
- 操作パネルの LAN メニューやウェブブラウザでエラーメール削除機能を ON に設定している時は、これらのメールはサーバーより削除されます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

コンピュータでインターネットファクスを受信する

インターネットファクスで送信した文書をコンピュータで受信した場合も、本文に送られた文書がインターネットファクス文書であることが記載されています。
送付先のコンピュータが TIFF-F ビューワーをインストールしていない場合、添付ファイルとして送られたメッセージを読むには TIFF-F ビューワーをインストールする必要があります。
Windows® XP ユーザの方はその他、TIFF-F が閲覧可能なビューワーをご使用ください。
Macintosh® ユーザの方も TIFF-F が閲覧可能なビューワーが別途必要となります。

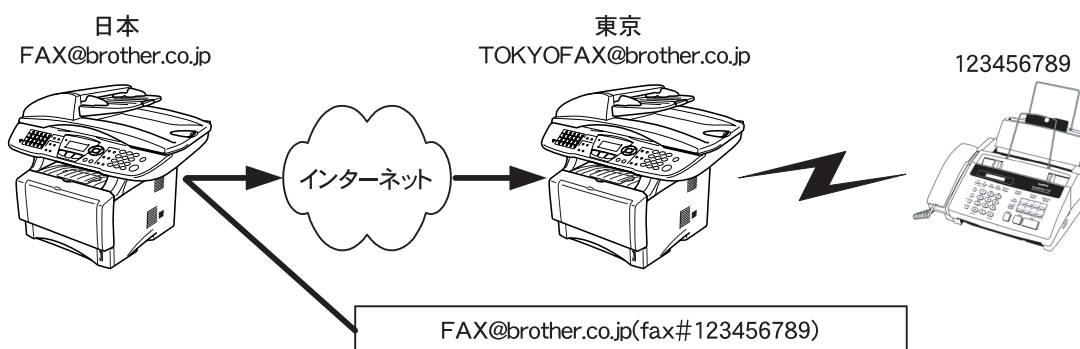
ファクス転送

MFC で受信した E メールやファクス文書は、他の E メールアドレス（コンピュータやインターネットファクス機）やファクス機器に自動転送することが可能です。また、通常の電話回線経由で転送することも可能です（この場合はモノクロのみになります）。（機種によりこの機能はサポートしていません。本体取扱説明書を参照してください。）
これらの設定方法については本体取扱説明書のファクス転送の説明、または「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1 を参照してください。

他のファクスを経由して送信する（リレー配信機能）

概要

リレー配信機能を使用すると、インターネットを経由して受けた文書を、通常の電話線を使用して他のファクス機器にリレー送信することができます。
（ただし、ドメイン名を登録し、リレーキョカのメニューを ON に設定する必要があります。）

メモ
お持ちの MFC をリレー配信機能の中継点として使用するには、リレー配信データの発信元のドメイン名をあらかじめブラザーファクス本体に登録しておく必要があります。
ドメイン名は、メールアドレスの［@］以下の部分です。
例えば taro@brother.co.jp ならドメイン名は brother.co.jp となります。
リレー配信機能として中継を許可できるドメイン名を最大 10 まで登録可能です。操作パネルの LAN メニューや、ウェブブラウザから登録ができます。許可されていないドメインに対して本機能は有効ではありません。

中継した後のファクスの送り先として最大 48 台のファクス機器を同報指定できます。
この機能をサポートしていない機種がありますのでご注意ください。

MFC からリレー配信を行う

お持ちの MFC のメールアドレスを FAX@brother.co.jp と想定して、日本から東京にある（例えば支店など）別のブラザー MFC（アドレスを TOKYOFAX@brother.co.jp）を経由して現地の取り引き先などの通常のファクス機器にファクス送信したいような場合、リレー配信機能をお使いいただくと便利です。
その際、東京にある MFC にはあらかじめ brother.co.jp ドメインを許可ドメインとして登録しておく必要があります。登録がない場合はリレー配信できません。
日本からリレーメールを送信するためには、下記の例に従ってメールアドレスの後に転送先のファクスナンバーを入力します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

複数の人に送信する場合は下記の手順を参考にしてください。

1 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力します。
ワンタッチダイヤルにも登録しておけます。
TOKYOFAX@brother.co.jp（Fax#123）
メールアドレスは最大 60 文字まで入力できます。

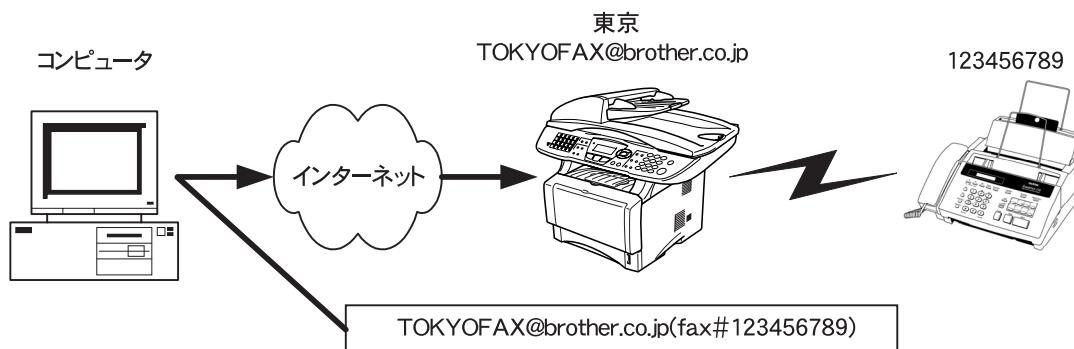
［セット］キーを押します。

2 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを同様に入力します。
TOKYOFAX@brother.co.jp（Fax#456）.

1 ～ 3 の操作を繰り返して複数台数を登録します。

5 **［ファクススタート］キーを押して送信します。**

コンピュータ からリレー配信を行う

お持ちのコンピュータ から E メールを東京にある MFC に送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。

また、ソフトウエアやそのバージョンによっては転送先のファクス番号を含んだメールアドレスの送信 / 同報に対応していない場合があります。

- **Outlook Express**
- **Netscape Communicator 4.5**
- **Eudora Ver 4.x**
- **Outlook 97/98/2000**

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。
TOKYOFAX@brother.co.jp（fax#123456789）
（メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］キーを押すと“fax#123456789”と表示されることがありますが、正しく送信できます。）
リレー配信機能はネットワーク PC-FAX からも使用できます。（Windows® のみ）

添付文書をリレー配信する場合、ITU-T 勧告による I-FAX フォーマット「T.37」規格に準拠したファイルを添付してください。

受信確認について

MFC からメールを送信する場合

送信時に受信確認要求（MDN：Mail Disposition Notification）の情報をあわせて送信すると、受信側のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、またはその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくメールが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには

- 受信確認を要求する：　MFC のインターネット FAX 設定で、「送信設定」の「受信確認要求」P.8-26を ON に設定してください。
受信側が MDN に対応している場合に確認レポートが送付されてきます。OFF の場合は受信確認要求を行いません。
- 受信確認要求に応じる：　MFC のインターネット FAX 設定で、「受信設定」の「受信確認」P.8-23を ON（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信します）に設定してください。OFF の場合は確認要求に応じません。

エラーメール

エラーによりインターネットファクスが正しく配信されなかった場合、メールサーバーからエラーメッセージが返信され、プリントアウトされます。受信時になにか問題があった場合も、エラーメッセージが出力されます。
（ただし、「ヘッダ　インサツ」がナシに設定されているとエラーメッセージは出力されません。）

例：「ジュシンデータ　エラー　：　TIFF-F ケイシキ　デハ　アリマセンデシタ」

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ネットワーク PC-FAX 機能を使う

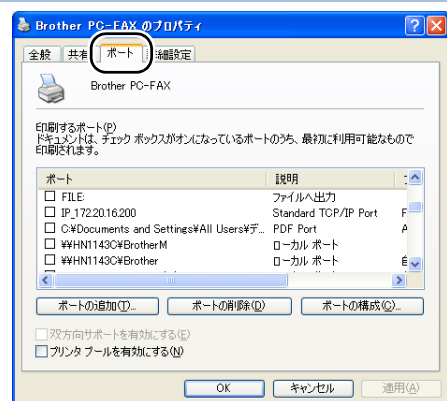
ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションから印刷を実行し、ドライバとして Brother PC -FAX を選択すると PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、MFC 製品の取扱説明書を参照してください。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う準備

PC-FAX の関連付け

スタートメニューから「設定」をクリックし、「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブをクリックし、使用するポートを選択します。
複数台の MFC 製品をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用する MFC 製品をここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

4 「OK」をクリックします。
これでインストールは完了です。

●ファクス文書を E メールとしてコンピュータへ送信する
送信先の欄にメールアドレスを入力するか、またはあらかじめメールアドレスを設定した電話帳からメンバーを選択してください。

●ファクス文書をインターネットファクス機器へ送信する
送信先の欄に相手先メールアドレスを入力するか、またはあらかじめメールアドレスを設定した電話帳からメンバーを選択してください。

●ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクス機器に電話線を通じてファクスを送信する
送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、またはあらかじめファクス番号を設定した電話帳からメンバーを選択してください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

Windows® 環境でネットワーク PC-FAX 機能を使う

ファクスを送る

ネットワーク PC-FAX 機能を使うときは、「ネットワーク PC-FAX を使用する」をチェックしておく必要があります。

- 送信可能なファクス文書は白黒のみです。カラーの文書も白黒に変換されます。
- Windows® 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限でログインしておきます。

●個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［モデル名］または［Brother MFC/DCP］-［PC-FAX 設定］の順に選択します。

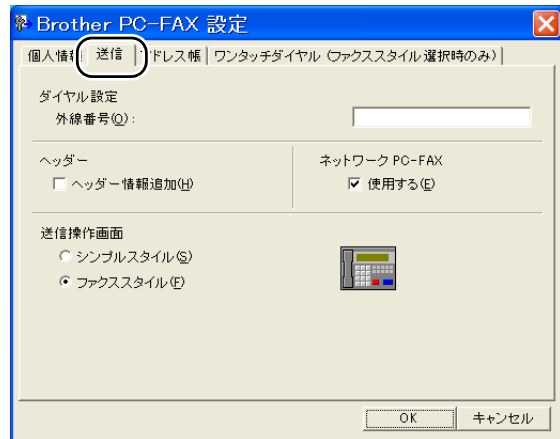
「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

個人情報を入力します。

3 ［OK］をクリックして、個人情報を保存します。

ネットワーク PC-FAX 使用の設定

スタートメニューから「プログラム」-「Brother」-「モデル名」または「Brother MFC/DCP」-「PC-FAX 設定」をクリックします。
「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

「送信」タブをクリックします。
単独の電話回線へ接続する場合は、何も入力しません。PBX 等の内線接続への場合で、外線発信するための番号が指定された環境で使用するときに入力します。
例）「0」発信の場合は「0」を入力します。

ネットワーク PC-FAX 欄の「使用する」をチェックします。

「OK」をクリックします。

電話帳に登録する

ネットワーク PC-FAX 機能を使ってファクスを送信するには、相手をブラザー PC-FAX 電話帳にメンバーとして登録する必要があります。
また電話帳に登録したメンバーに対して、複数の送信方法を設定することができます。
1. ファクスとして送信する
2. E メールアドレスに添付ファイルとして送信する
3. MFC 製品の E メールアドレスに TIFF-F 形式で送信する

ブラザー PC-FAX 電話帳画面で、をクリックします。
メンバー登録画面が表示されます。

登録するメンバーの情報を入力します。
「名前」欄と「ファクス番号」欄は必ず入力してください。
相手先の E メールアドレスや相手の MFC 製品の E メールアドレスも入力できます。

入力した相手先は FAX 番号、E メールアドレス、MFC 製品の E メールアドレスの順に検索され、送信されます。

「決定」をクリックします。
メンバーが登録されます。

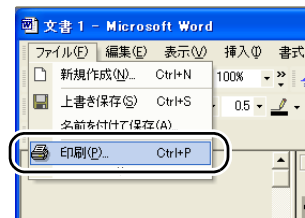
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

相手先への送信方法を指定したい場合は、ファクス送信用、E メール送信用、MFC 製品の E メールアドレス用にそれぞれメンバー登録してください。

●ファクスを送る

1 アプリケーションでファクス送信したい文書を開きます。

2 アプリケーションの「ファイル」メニューから「印刷」をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

3 「プリンタ名」に「Brother PC-FAX」を選択し、「OK」をクリックします。

「ファクス送信」ダイアログボックスが表示されます。

- 「ファクス送信」ダイアログボックスは、「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスで選択したスタイル（ファクススタイルもしくはシンプルスタイル）になります。

4 送信先を入力します。

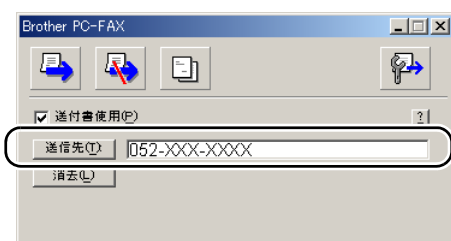
● ファクススタイルでファクス送信するとき

- ダイヤルパッドから入力する
- 10 個あるスピードダイヤルから選択して入力する
- 電話帳もしくはグループダイヤルから選択して入力する

ファクススタイル

● シンプルスタイルでファクス送信するとき

- 「送信先」欄に送信先を入力する
- 「送信先」ボタンを押して電話帳から選択して入力する
  電話帳にグループ登録をしているときは、グループを選択して複数の送信先を指定することもできます。

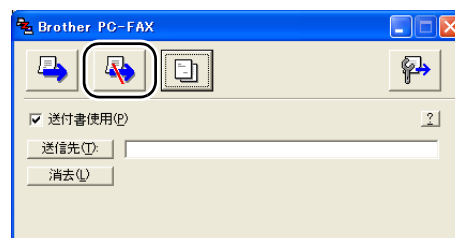
● 間違えたときは、「消去」ボタンを押します。

シンプルスタイル

5 送付書をつけるときは、以下の操作をします。

● ファクススタイルで送信するとき

「送付書使用（P)」をクリックして点灯させ、をクリックして送信書を選択します。

● シンプルスタイルで送信するとき

「送付書使用（P)」にチェックマークをつけ、をクリックして送信書を選択します。

6 ファクスを送信するときは、以下の操作をします。

● ファクススタイルで送信するとき

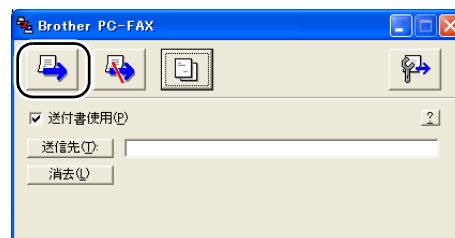
「送信（O)」をクリックします。

ファクス送信を取りやめるときは、「中止（X)」をクリックします。

● シンプルスタイルで送信するとき

をクリックします。

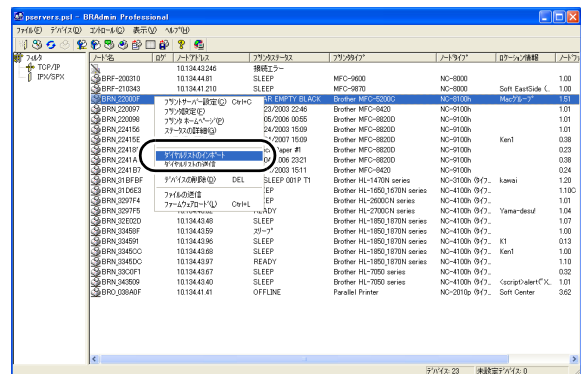
ファクス送信を取りやめるときは、をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ネットワーク PC-FAX の電話帳を更新する

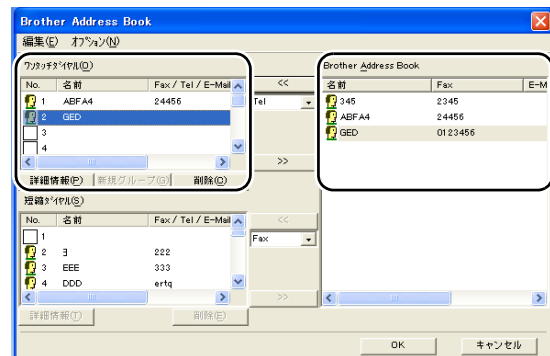
ここではブラザーネットワーク PC-FAX 電話帳を BRAdmin Professional を使って更新する手順について説明します。BRAdmin Professional を使うと、お使いのメールソフトに登録されている住所録（アドレス帳）からブラザー PC-FAX 電話帳にデータを取り込んだり MFC 製品の電話帳を更新することができます。

1 BRAdmin Professional を起動します。

2 設定する MFC 製品をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストのインポート」をクリックします。

MFC の電話帳がブラザー PC-FAX 電話帳に登録されます。

3 「ブラザー PC-FAX 電話帳」画面が表示されます。

4 ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルに登録するメンバーを登録します。

［<<］［>>］ボタンを押して、左のボックスに移動させてください。

5 ブラザー PC-FAX 電話帳画面の「OK」をクリックします。

MFC 製品の住所録を更新する

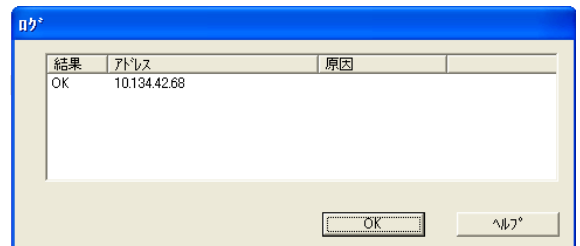
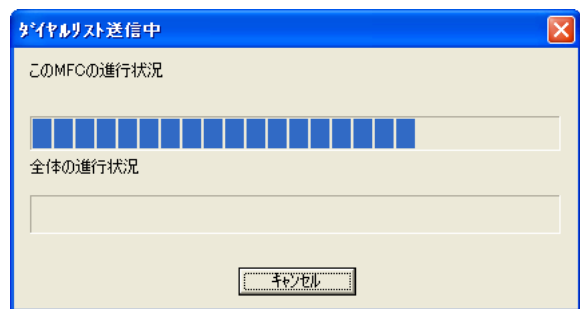
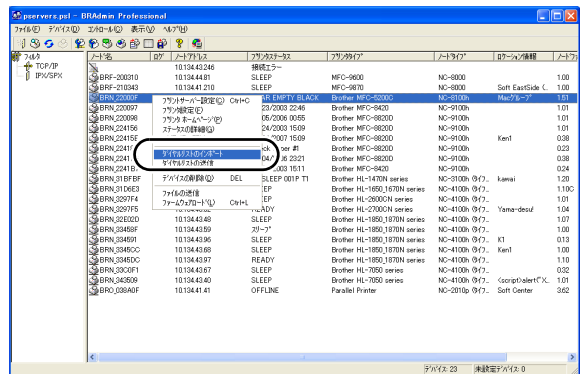
BRAdmin Professional を使うと、MFC 製品の電話帳を更新することができます。

BRAdmin Professional を起動します。

設定する MFC 製品をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストの送信」をクリックします。

確認画面で「はい」をクリックし、管理者用のパスワード（初期設定は access）を入力し、「OK」をクリックします。
ブラザー PC-FAX 電話帳が MFC 製品内蔵の電話帳に送られ、更新されます。
複数台の MFC 製品の電話帳を同時に更新することもできます。

更新中は右の画面が表示されます。
更新を途中で止めるときは、「キャンセル」をクリックしてください。

更新が終わると、右の画面が表示されます。
確認して、「OK」をクリックしてください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

Macintosh® 環境でネットワーク PC-FAX 機能を使う

ファクスを送信する（Mac OS® 8.6 ~ 9.2）

ネットワーク PC-FAX 機能からファクスを送るには、以下のようにします。

1. アップルメニューから［セレクタ］をクリックします。

2. HL-1200/MFC Pro アイコンをクリックします。

3. 右側のボックスから PC-FAX に使用するブラザーファクスを選択します。

4. セレクタ画面を閉じます。

5. ネットワーク PC-FAX 機能で送信したい文書を開きます。

6. アプリケーションのメニューから［印刷］を選択します。
「印刷」ダイアログボックスが表示されます。
必要であれば、AppleTalk サービス名として「BRN_XXXXXX_P1」を入力してください。
XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）で末尾 6 桁の数字です。ブラザー MFC 製品の取扱説明書を参照して、ファクスの設定ページを出力して確認してください。

7. ［出力］ポップアップメニューから［ファクシミリ］を選択します。
「印刷」ダイアログボックスが「ファクシミリ」ダイアログボックスになります。

メモ
ネットワーク PC-FAX で送信したい文書のうち、ページ範囲を指定できます。
From: 欄に開始ページを、TO: 欄に終了ページを入力して指定してください。

8. ［ファクスを送る］ボタンをクリックします。
「ファクスを送る」ダイアログボックスが表示されます。

9. 左のボックスから送信したいファクス番号をダブルクリックします。
送信先のファクス番号が右側のボックスに表示されます。
複数の送信先がある場合は、それぞれの送信先をダブルクリックして選択します。

メモ
- 送信先ファクス番号を選択してから［>>］ボタンをクリックしても、右側のボックスに表示されます。
- 複数の送信先を一度に選択するときは、［Shift］キーもしくは［Ctrl］キーを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。
- 新たな送信先を作成するときは［新規］ボタンをクリックしてください。新規登録画面が表示されます。送信先をグループとして登録しておくこともできます。詳しくはブラザー MFC 製品の取扱説明書を参照してください。

10 全ての送信先を選択し終わったら、［ファクスを送る］ボタンをクリックします。

11 ［OK］ボタンをクリックして、「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。
選択した送信先に、文書が送信されます。

ネットワーク PC-FAX の住所録を更新する

ファクス送信の操作中でも、住所録を更新することができます。

●新規に相手を登録する

1 「ファクシミリ」ダイアログボックスで、［住所録］ボタンをクリックします。
「住所録」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［新規］ボタンをクリックします。

3 送信相手の名前とファクス番号を入力します。
コメント欄に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 ［OK］をクリックします。
「住所録」ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］をクリックします。
「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。

●新規にグループを登録する

1 「ファクシミリ」ダイアログボックスで、［住所録］ボタンをクリックします。
「住所録」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［グループ］ボタンをクリックします。
「グループ設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 グループ名称を入力します。
コメント欄に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 グループに登録する相手を選択し、［OK］をクリックします。
「住所録」ダイアログボックスに戻ります。
複数の相手を一度に選択する場合は、［Shift］キーもしくは［Ctrl］キーを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。

5 ［OK］をクリックします。
「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。

基本編　第6章　スキャナ機能搭載機種のみ

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

概要

ネットワークスキャン機能を使うには、本機に TCP/IP の設定をしておく必要があります。

ネットワークスキャン機能は、本機のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、また E メールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届ける機能です。

- 本機に TCP/IP の設定が必要です。P.2-3
  （ネットワークプリンタとして TCP/IP で使用されていれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するには、「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1を参照してください。
- 操作パネルから設定するには「第 8 章　操作パネルで設定する」P.8-1を参照してください。

ネットワークスキャンする前の準備

ネットワークスキャン機能を使うには、まずネットワークスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

本機に添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、MFC/DCP ドライバを選択すると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくは「かんたん設置ガイド」を参照してください。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ファクス
第6章
スキャナ
第7章
ブラウザ
第8章
パネル

設定の変更

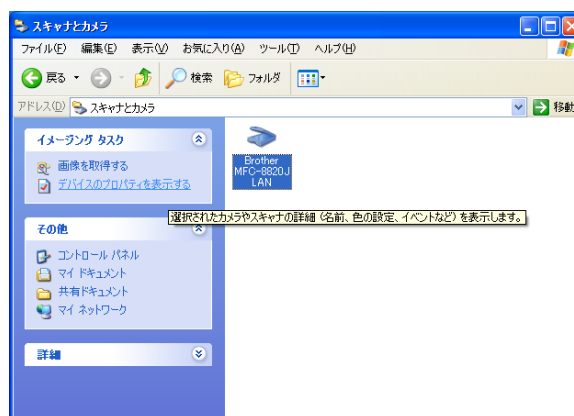
MFC/DCP ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

コントロールパネル画面を表示させせます。

- Windows® 98/98SE/Me の場合
  スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
- Windows® 2000/XP の場合
  スタートメニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。

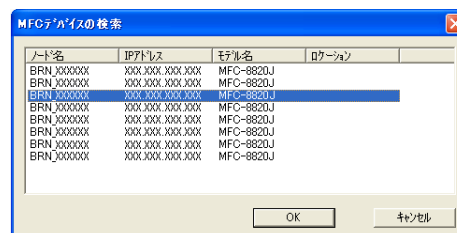
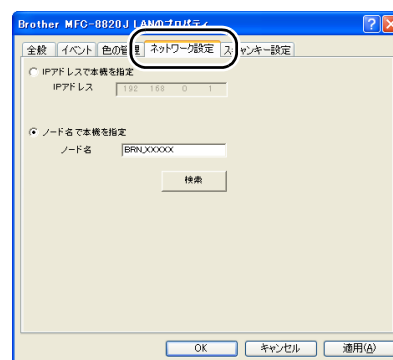
「スキャナとカメラ」アイコン をダブルクリックします。

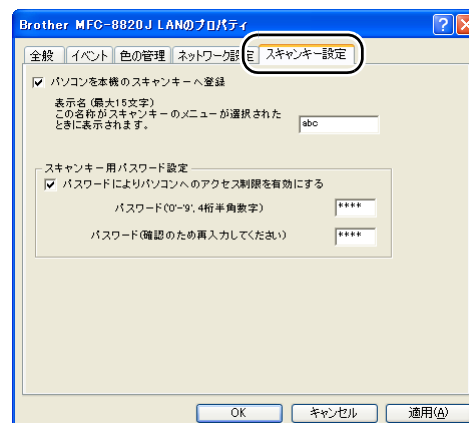
「スキャナとカメラのプロパティ」画面が表示されます。

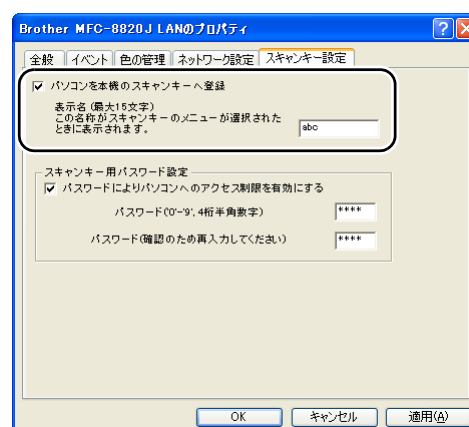
お使いのブラザー製品を選択し、［プロパティ］をクリックします。

「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新します。

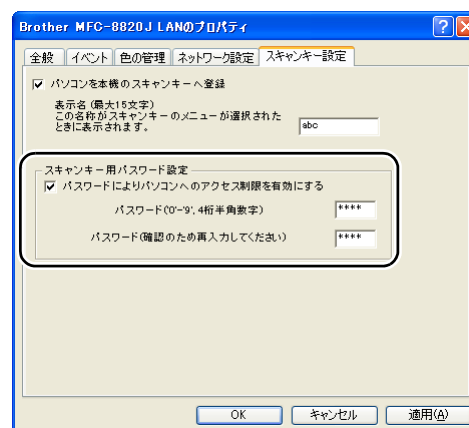
● IP アドレスを更新する場合
本機の IP アドレスを入力します。

● 名前を変更する場合
本機のノード名を「ノード名」欄に入力します。

● 使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
［検索］をクリックし、既存の LAN 内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

「スキャンキー設定」タブをクリックします。

6 スキャン画像を取り込むコンピュータの名称を登録します。

本機の「スキャン」キーを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータの名称です。初期設定は、お使いのコンピュータの名称（コンピュータ名）です。
コンピュータの名称は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。

7 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定します。

このパスワードは PIN ナンバーと呼ばれ、4 桁の数字です。パスワード（PIN ナンバー）を設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本機側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

操作パネルのキーについて

操作パネルでのキー操作は、下記のとおりです。

- **[▼シフト] + [1]**
  入力モードを切り替えます。ダイヤルボタンを使ってカタカナ、アルファベットの入力ができます。
- **数字キー**
  カタカナ、アルファベット、記号（@ . space ! “ # % & ‘ ( ) + / : ; < > = ? [ ] ^ - $, *, _ ）と数字を入力できます。
- **[▼シフト] + [3]**
  大文字、小文字を切り替える場合に使用します。[▼シフト] + [1] で入力モードを切り替えた後しか有効になりません。
- **[←] [→]**
  カーソルを移動するときに使用します。
- **[↑] [↓]**
  メニューを選択するときに使用します。
- **[セット]**
  複数のメニュー入力又は選択する場合、ひとつの項目を入力するごとに続けて押します。
- **[スキャン]**
  文書のスキャンを開始します。
- **[停止 / 終了]**
  スキャニングを止めるときに押します。

操作パネルのデザインは各機種ごとに異なる場合が多く、そのため本書では操作パネルのキー表記を上記のようにしています。お使いの機種のキーに置き換えてお読みください。

アルファベット入力について

アルファベットを入力するときは、アルファベット入力モードに切り替えます。

アルファベットを入力する

アルファベット入力モードに切り替えるには、［シフト］を押したまま［1］キーを押します。アルファベット入力モードでは、ダイヤルボタンを使用してメールアドレスの入力ができます。入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのキーに割り当てられた文字を入力することができます。［*］と［#］には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン ＼ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	A	B	C	2													
3	D	E	F	3													
4	G	H	I	4													
5	J	K	L	5													
6	M	N	O	6													
7	P	Q	R	S	7												
8	T	U	V	8													
9	W	X	Y	Z	9												
0	0																
*	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/	€
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

MFC には、下表のように、ワンタッチダイヤルと［▼シフト］キーを組み合わせて文字を入力することもできます。（DCP にワンタッチダイヤルはありません。）
［▼シフト］キーとの組み合わせは表中下段になります。

ワンタッチダイヤル対応表

01 - a	02 - b	03 - c	04 - d	05 - e
21 - u	22 - v	23 - w	24 - x	25 - y
06 - f	07 - g	08 - h	09 - i	10 - j
26 - z	27 - .	28 - @		30 - ［記号］
11 - k	12 - l	13 - m	14 - n	15 - o
31 - ［記号］	32 - 大文字 / 小文字	33 -	34 -	35 -
16 - p	17 - q	18 - r	19 - s	20 - t
36 -	37 -	38 -	39 -	40 -

カーソルを移動する

←または→キーをお使いください。

入力した文字を修正する

誤って入力した場合は、←を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

スキャン画像を E メールで送る

この機能は、電話帳に登録されたメンバーにスキャン画像を E メールで送る機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー (電子メールを扱うソフトウェア) で送信する方法と、本機で直接メールアドレスを指定して送信する方法があります。

スキャン画像を E メールに取り込む

白黒やカラーの原稿を、添付メールとして E メールに取り込むことができます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットします。

2 ［スキャン］キーを押します。

3 ［↑］［↓］キーを押して「スキャン E メール」を選択します。

4 ［セット］キーを押します。

5 ［↑］［↓］キーを押して「PC」を選択します。

6 ［セット］キーを押します。

7 ［↑］［↓］キーを押して、データを送信するコンピュータ名を選択します。
コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 ［セット］キーを押します。
文書のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると、コンピュータ側でメーラーが起動し、添付ファイルとしてスキャン画像が新規メールに添付されます。

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ファイルはビットマップ（＊ .BMP)、JPEG（＊ .JPG)、TIFF（＊ .TIFF)、PNG（＊ .PNG)、PDF（＊ .PDF）のいずれかの形式で保存できます。
ControlCenter2.0 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

メモ
［スキャン］キーを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、取扱説明書～パソコン活用編～の「5 章 その他の便利な使い方」を参照してください。

スキャン画像を E メールで直接送る準備

E メールで直接送るには、まずメールサーバーの設定が必要です。

1 受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加します。

2 メールアカウントとパスワードを設定します。

3 POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認します。
通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

スキャン画像を E メールで直接送る

本機でスキャンした画像を、直接宛名を指定して送信します。スキャン画像は E メールの添付ファイルとして、モノクロは TIFF-F 形式、カラーは JPEG または PDF 形式で送信されます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットします。

2 [スキャン] キーを押します。

3 [↑] [↓] キーを押して「スキャン E メール」を選択します。

4 [セット] キーを押します。

5 [↑] [↓] キーを押して「E メール デ　オクル」を選択します。

6 [セット] キーを押します。

7 [↑] [↓] キーを押して「ガシツ　ヘンコウ」を選択します。
「アドレス　ニュウリョク」を選択して [セット] キーを押すと、手順 13 へ進みます。

8 [セット] キーを押します。

9 ［↑］［↓］キーを押して解像度とモノクロ / カラーを選択します。

下記の中から選択してください。

- カラー 150 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200 X 100 dpi

モノクロ 200 dpi とモノクロ 200 X 100 dpi を選択したときは、手順 12 へ進んでください。

10 ［セット］キーを押します。

11 ［↑］［↓］キーを押して、画像の形式を JPG か PDF か選択します。

12 ［セット］キーを押します。

13 送信先の E メールアドレスを入力します。

アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.6-6を参照してください。

ワンタッチダイヤルやスピードダイヤルから、番号を入力することもできます。

14 ［スタート］キーを押します。

文書のスキャンが開始されます。

スキャンが終了するとブラザー MFC 製品がメールを送信します。

スキャン画像をコンピュータに直接送る

本機のスキャン機能で、画像をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャン画像のデータが送られると、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータに表示します。

グラフィックソフトに送る

スキャン画像を、グラフィックソフト（画像処理ソフト）で開きます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットします。

2 [スキャン] キーを押します。

3 [↑] [↓] キーを押して「スキャンイメージ」を選択します。

4 [セット] キーを押します。

5 [↑] [↓] キーを押して送信先コンピュータを選択します。

6 [セット] キーを押します。
文書のスキャンが開始されます。
送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

ControlCenter2.0 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
詳しくは、取扱説明書～パソコン活用編～の「5 章 その他の便利な使い方」を参照してください。

テキスト変換（OCR）してからワープロに送る

スキャン画像を Brother OCR（テキスト変換ソフト）で処理してからワープロソフトで開きます。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットします。

2 [スキャン] キーを押します。

3 [↑] [↓] キーを押して「スキャン OCR」を選択します。

4 [セット] キーを押します。

5 [↑] [↓] キーを押して送信先コンピュータを選択します。

6 ［セット］キーを押します。
文書のスキャンが開始されます。
送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

スキャン画像を自動でコンピュータに保存する

スキャン画像を、指定したファイル保存形式で保存します。保存する際のファイル名やファイル形式については、MFC/DCP の取扱説明書にある「スキャナとして使う」を参照してください。

1 スキャンする文書を ADF または原稿台ガラスにセットします。

2 ［スキャン］キーを押します。

3 ［↑］［↓］キーを押して「スキャンファイル」を選択します。

4 ［セット］キーを押します。

5 ［↑］［↓］キーを押して送信先コンピュータを選択します。

6 ［セット］キーを押します。
文書のスキャンが開始されます。
送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。
ControlCenter2.0 で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。
ファイルはビットマップ（＊ .BMP）、JPEG（＊ .JPG）、TIFF（＊ .TIFF）、PNG（＊ .PNG）、PDF（＊ .PDF）のいずれかの形式で保存できます。

メモ
- 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
  - 保存先フォルダ
    「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥Control Center 2¥Scan」
    マイピクチャフォルダがない場合は、「マイドキュメント ¥Control Center 2¥Scan」となります。
  - ファイル形式
    JPG
  - ファイル名
    CCFyyyymmdd_XXXXX
    yyyy：西暦
    mm：月
    dd：日
    XXXXX：通し番号
- ［スキャン］キーを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、取扱説明書～パソコン活用編～の「5 章 その他の便利な使い方」を参照してください。

基本編　第 7 章

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、本機を管理することができます。使用するブラウザは Netscape Navigator バージョン 4.XX 以降または Internet Explorer バージョン 5.XX 以降をお勧めします。

IP アドレスの自動設定機能（APIPA）が、IP アドレスを 162.254.1.0 から 169.254.254.255 の範囲で自動的に割り当てます。工場出荷時に APIPA は有効になっていますが、無効にするときは「APIPA」P.8-13を参照してください。
APIPA が無効になっているときは、ネットワークボードのデフォルト IP アドレスは 192.0.0.192 です。変更するときには操作パネル（搭載機種のみ）、BRAdmin Professional またはウェブブラウザを使用してください。
ネットワークボードのデフォルトパスワードは access です。

ウェブブラウザを使用しますので、Macintosh® や Unix のユーザーの方もウェブブラウザを使用して本機を管理できます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本機から取得することができます。
1. 本機のステータス情報
2. 操作パネルの制御（プリンタのみ）
3. 本機とネットワークボードのバージョン情報
4. ネットワーク設定とファクス設定の変更
5. セットアップ情報やワンタッチダイヤル、リモート FAX 設定の変更（MFC のみ）
6. TCP/IP 情報やインターネットファクス住所録などの情報の変更（MFC のみ）

●条件

- 本機とコンピュータの TCP/IP 設定が完了していること。

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、本機の IP アドレスを入力します。P.7-3

ウェブブラウザを使用してプリンタに接続する方法

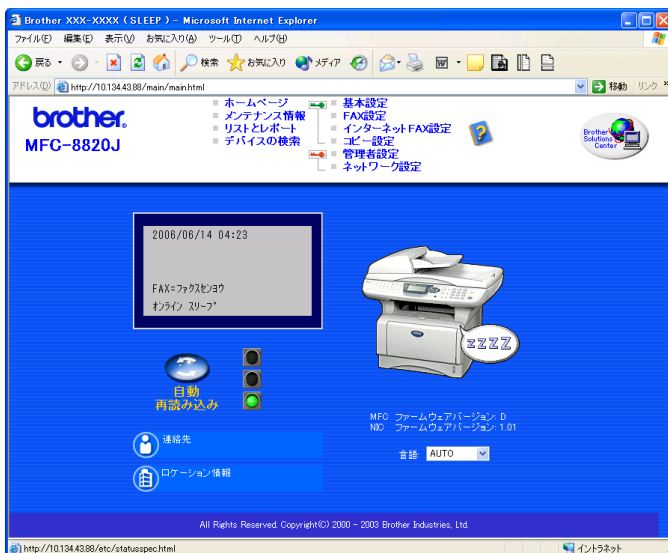
ウェブブラウザを使用してプリンタに接続する方法

ウェブブラウザのアドレス入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になる本機の IP アドレス）を入力します。

例）本機の IP アドレスが 192.168.0.53 の場合
　　ウェブブラウザに http://192.168.0.53 と入力します。

- Windows® のドメイン / ワークグループ環境の場合は、MFC/DCP の NetBIOS 名を使用することもできます。
- DNS を使用している場合は、MFC/DCP の DNS 名を入力します。

MFC/DCP に接続すると、ネットワークの設定画面面が表示されます。
目的の管理機能へのリンクをクリックします。

- 本機の IP アドレスを変更する場合は、[ネットワーク設定] をクリックします。
- ネットワークの設定を表示する場合は、[ネットワーク設定] をクリックします。

パスワードについて（MFC のみ）

ウェブブラウザでは、2 段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」「FAX 設定」「インターネット FAX 設定」「コピー設定」です。

一般ユーザー
ユーザー名：user
パスワード：access
また、ネットワーク管理者用のパスワード管理では、全ての MFC 機器の機能を管理できます。
管理者
ユーザー名：admin
パスワード：access

基本編　第8章

操作パネルで設定する

操作パネルについて

操作パネルは、さまざまなボタン（コピーボタンやファクススタートボタンなど）と液晶ディスプレイ（LCD）から構成されています。この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。

操作ボタン

ファクス機能搭載機種には「ファクススタート」あるいは「ファクス」、コピー機能搭載機種には「コピー」あるいは「ファクススタート / コピー」などの名称で、MFC/DCP の操作パネルにいくつかのボタン（ボタン）があります。これらのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。操作パネルには 1 行表示されるものと 2 行または 5 行表示されるものがありますが、お使いの MFC/DCP のものにあわせて読み替えてください。この章では、2 行分の操作パネル表示で説明しています。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定やインターネットファクス機能の設定をすることができます。
［メニュー］ボタンを押し、数字ボタンで LAN を選択してください。

```
1. TCP／IP セッテイ
2. インターネット セッテイ
```

このように LAN のメインメニューへ入ることができます。下記の 6 つの項目からそれぞれの設定画面に移ることができます。

- **1. TCP/IP 設定** P.8-4
- **2. インターネット設定** P.8-14
- **3. メール受信設定** P.8-19
- **4. メール送信設定** P.8-24
- **5. リレー配信設定** P.8-27
- **6. その他の設定** P.8-30

メモ
一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本機に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、Windows® コンピュータをお使いの場合は、本機に同梱の CD-ROM に収録されている BRAdmin Professional をご使用いただくことで同様に設定が可能です。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

アルファベット入力について

アルファベットを入力するときは、アルファベット入力モードに切り替えます。

アルファベットを入力する

アルファベット入力モードに切り替えるには、［シフト］を押したまま［1］キーを押します。アルファベット入力モードでは、ダイヤルボタンを使用してメールアドレスの入力ができます。入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのキーに割り当てられた文字を入力することができます。[*] と [#] には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン ＼ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	A	B	C	2													
3	D	E	F	3													
4	G	H	I	4													
5	J	K	L	5													
6	M	N	O	6													
7	P	Q	R	S	7												
8	T	U	V	8													
9	W	X	Y	Z	9												
0	0																
*	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+	,	-	.	/	€
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

MFC には、下表のように、ワンタッチダイヤルと［▼シフト］キーを組み合わせて文字を入力することもできます。（DCP にワンタッチダイヤルはありません。）
［▼シフト］キーとの組み合わせは表中下段になります。

ワンタッチダイヤル対応表

01 - a	02 - b	03 - c	04 - d	05 - e
21 - u	22 - v	23 - w	24 - x	25 - y
06 - f	07 - g	08 - h	09 - i	10 - j
26 - z	27 - .	28 - @		30 - ［記号］
11 - k	12 - l	13 - m	14 - n	15 - o
31 - ［記号］	32 - 大文字 / 小文字	33 -	34 -	35 -
16 - p	17 - q	18 - r	19 - s	20 - t
36 -	37 -	38 -	39 -	40 -

カーソルを移動する

←または→キーをお使いください。

入力した文字を修正する

誤って入力した場合は、←を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

1.TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

メモ

ネットワークボードの工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。

- IP アドレス：169.254.x.x（x.x はプリンタにより自動的に割り当てられます。）
- ドメイン名：WORKGROUP
- パスワード：access

- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、デフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional、ウェブブラウザを使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

このメニューは 9 つの項目で構成されています。

- **IP 取得方法**
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ホスト名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**

TCP/IP を設定する他の方法

- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークの設定」P.2-3を参照してください。
- ウェブブラウザを使用する場合は、「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1を参照してください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「第 9 章　ネットワークの設定」P.9-1を参照してください。

IP 取得方法

[メニュー]ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
＊. LAN
```

3 **[1] TCP/IP セッテイ、[1] IP シュトクホウホウの順に押します。**

```
  1. IP シュトクホウホウ
▲     Auto
```

4 **↑または↓ボタンで Auto,Static, RARP, BOOTP または DHCP のいずれかを選択します。**
お買い上げ時は「Auto」になっています。

```
  1. IP シュトクホウホウ
▲     Static
```

5 **[セット]ボタンを押します。**
IP アドレス取得方法が確立されます。

6 **[停止 / 終了]ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、IP 取得方法を STATIC に指定してください。
STATIC 以外の IP 取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP 取得方法が AUTO に設定されている場合、Windows® 2000 の BOOTP サーバから IP アドレスの取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 ［1］TCP/IP セッテイ、［2］IP アドレスの順に押します。

```
 169. 254. 210. 242
▲    1. ヘンコウ
```

4 ［1］ヘンコウを押します。
［2］チュウシを押すと、設定画面へ戻ります。

```
169. 254. 210. 242
```

5 IP アドレスを入力します。

```
192. 168. 000. 053
```

［セット］ボタンを押します
IP アドレスが登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

サブネットマスク

本機の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 **[メニュー] ボタンを押します。**
選択メニューが表示されます。

2 **ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**
右記の「*」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。
- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
*. LAN
```

3 **[1] TCP/IP セッテイ、[3] サブネットマスクの順に押します。**

```
  255. 255. 000. 000
▲      1. ヘンコウ
```

4 **[1] ヘンコウを押します。**
[2] チュウシを押すと、設定画面へ戻ります。

```
  255. 255. 000. 000
```

5 **サブネットマスクを入力します。**

```
  255. 255. 255. 000
```

6 **[セット] ボタンを押します。**
サブネットマスクが登録されます。

7 **[停止 / 終了] ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は初期値 (000.000.000.000) にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 ［1］TCP/IP セッテイ、［4］ゲートウェイの順に押します。
設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。そのときは［1］ボタンを押します。

```
4. ゲ゛ートウェイ
```

4 ゲートウェイアドレスを入力します。
右記は例です。

```
192. 168. 000. 001
```

5 ［セット］ボタンを押します。
ゲートウェイアドレスが登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

ホスト名

ホスト名をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
Brother の推奨は BRN_XXXXXX（XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁）です（15 文字まで）。

[メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
＊. LAN
```

[1］TCP/IP セッテイ［5］ホストメイの順に押します。

```
  BRN_224167
▲     1. ヘンコウ
```

4 **[1］ヘンコウを押します。**
[2］チュウシで設定メニューへ戻ります。

5 **ホスト名を入力します。**

```
  BRN_224167
```

6 **[セット］ボタンを押します。**
ホスト名が登録されます。

[停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

WINS 設定

この項目で本機が WINS をどのように解決するかを設定します。

Auto
DHCP サーバから自動的にプライマリー、セカンダリーの WINS サーバアドレスを取得します。
Boot Method が AUTO に設定されている必要があります。

Static
手動で WINS サーバアドレスを設定します。

1 **［メニュー］ボタンを押します。**
選択メニューが表示されます。

2 **ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。
- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 **［1］TCP/IP セッテイ ［6］WINS　セッテイを選択します。**

```
   6. WINS セッテイ
▲      Auto
```

4 **↑または↓ボタンで Auto、Static のどれかを選択します。**
お買い上げ時は Auto になっています。

5 **［セット］ボタンを押します。**
WINS 設定が登録されます。

6 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ファクス
第6章
スキャナ
第7章
ブラウザ
第8章
パネル

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1. **［メニュー］ボタンを押します。**
   選択メニューが表示されます。

2. **ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**
   右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。
   - MFC-8820J/JN：［5］
   - DCP-8025JN：［3］

   ```
   ＊．LAN
   ```

3. **［1］TCP/IP セッテイ、［7］WINS サーバの順に選択します。**

   ```
     7．WINSサーバ
   ▲     プライマリ
   ```

4. **↑または↓でプライマリ、セカンダリの WINS サーバを選択します。**

5. **［セット］ボタンで決定します。**
   設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
   そのときは［1］ボタンを押します。

6. **WINS サーバのアドレスを入力します。**

   ```
     000．000．000．000
   ```

7. **［セット］ボタンを押します。**
   WINS サーバのアドレスが登録されます。

8. **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
   設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム) サーバの設定をします。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（Domain Name System）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「*」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。
- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
*. LAN
```

3 ［1］TCP/IP セッテイ ［8］DNS サーバの順に選択します。

```
  8. DNS サーバ
▲      プライマリ
```

4 ↑または↓ボタンでプライマリまたはセカンダリの DNS サーバを選択します。

5 ［セット］ボタンで決定します。
設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
そのときは［1］ボタンを押します。

6 DNS サーバのアドレスを入力します。

```
  000. 000. 000. 000
```

7 ［セット］ボタンを押します。
DNS サーバのアドレスが登録されます。

8 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

APIPA

接続したネットワークの環境に合わせた TCP/IP 設定を自動的に行います。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/ DCP によって異なります。
- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 ［1］TCP/IP セッテイ ［9］APIPA の順に選択します。

```
  9. APIPA
▲    On          ＊
```

4 ↑または↓ボタンで On または Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

5 ［セット］ボタンを押します。
APIPA の設定が登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

2. インターネット設定（MFC のみ）

このメニューは次の 5 つの項目で構成されています。

- メールアドレス
- **SMTP** サーバ
- **POP3** サーバ
- アカウント（ユーザー名）
- パスワード

お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1を参照してください。

メールアドレス

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3

［2］インターネット セッテイ、［1］メールアドレスの順に選択します。

```
******@example.com
▲        1. ヘンコウ
```

4

［1］ヘンコウを押します。
［2］チュウシで設定メニューへ戻ります。

5

設定したいメールアドレスを入力します。
アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.8-3を参照してください。
最大で 60 文字まで入力できます。

```
emailprinter@xyz.com
```

6

［セット］ボタンを押します。
メールアドレスが登録されます。

7

［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

SMTP サーバ

この項目でネットワーク上の SMTP メールサーバ（送信用サーバ）の IP アドレスまたはサーバ名を指定します。
（例：mail.xyz.com または 192.168.000.099）

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［2］インターネット セッテイ、［2］SMTP サーバの順に選択します。

```
  2. SMTPサーバ
▲   サーバ メイ?        *
```

4 IP アドレスかサーバメイのどちらかを選択します。

5 IP アドレスを選択した場合は、SMTP サーバのアドレスを入力します。

```
  192. 168. 000. 099
```

サーバメイを選択した場合は、SMTP サーバのサーバ名を入力します。

```
  mail. xyz. com
```

設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
そのときは［1］ボタンを押します。

6 ［セット］ボタンを押します。
SMTP サーバまたは SMTP サーバ名が登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

POP3 サーバ

ネットワーク上の POP3 サーバ（受信用サーバ）の IP アドレスまたはホスト名を指定します。この項目はインターネットファクス機能を使用する上で正しく入力されている必要があります。
（例：pop.xyz.com または 192.168.000.099）

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 **［2］インターネット セッテイ、［3］POP3 サーバの順に選択します。**

```
  3. POP 3  サーバ゛
▲       サーバ゛ メイ?          *
```

4 **IP アドレスかサーバメイのどちらかを選択します。**

5 **IP アドレスを選択した場合は、POP3 サーバのアドレスを入力します。**

```
   192. 168. 000. 099
```

サーバメイを選択した場合は、POP3 サーバのサーバ名を入力します。

```
   pop. xyz. com
```

設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
そのときは［1］ボタンを押します。

6 **［セット］ボタンを押します。**
POP3 サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

7 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

アカウント名（ユーザー名）

メール受信用サーバ（POP3 サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントとパスワードが必要になります。ここでは、アクセス用アカウント名 (ユーザー名) の設定をします。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［2］インターネット セッテイ、［4］メールボックスメイの順に選択します。
設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
そのときは［1］ボタンを押します。

```
4. アカウントメイ
```

4 ブラザーファクス本体に割り当てられているメールアカウントのアカウント名 (ユーザー名)（POP3 にログインするときに必要）を入力します。
アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.8-3を参照してください。
最大で 20 文字まで入力できます。

```
brother
```

5 ［セット］ボタンを押します。
アカウント名 (ユーザー名) が登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

パスワード

メール受信用サーバ（POP3 サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントのパスワードが必要になります。ここでは、アクセス用アカウント名 (ユーザー名) と対になるパスワードの設定をします。

1 **［メニュー］ボタンを押します。**
選択メニューが表示されます。

2 **［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**

```
5. LAN
```

3 **［2］インターネット セッテイ、［5］パスワードの順に選択します。**
設定済みの場合は、「1．ヘンコウ」「2．チュウシ」と表示されます。
そのときは［1］ボタンを押します。

```
5. パ゚スワード゙
パ゚スワード゙ :
```

4 **POP3 サーバーにログインするためのパスワードを入力します。**
大文字と小文字は区別されます。
アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.8-3を参照してください。
最大で 20 文字まで入力できます。

5 **［セット］ボタンを押します。**
パスワードが登録されます。

6 **再度パスワードを入力します。**

7 **［セット］ボタンを押します。**
パスワードが登録されます。

8 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

3. メール受信設定（MFC のみ）

このメニューは 5 つの項目で構成されています。

- 自動受信（自動メールチェック機能）
- ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）
- ヘッダ印刷
- エラーメール削除
- 受信確認

自動受信（自動メールチェック機能）

On に設定すると、MFC は次項の「ポーリング間隔」で設定した時間ごとに POP3 サーバへメールチェックします。もしメールがなければ「メール　ハ　アリマセンデシタ」と表示されます。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［3］メール ジュシン セッテイ、［1］ジドウ ジュシンの順に選択します。

```
  1. ジドウ ジュシン
▲     On           *
```

4 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

5 ［セット］ボタンを押します。
自動受信の設定が登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）

POP3 サーバに対し、何分ごとにメールチェックするかを指定します。初期設定では 10 分です。

1 **［メニュー］ボタンを押します。**
選択メニューが表示されます。

2 **［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**

```
5. LAN
```

3 **［3］メール ジュシン セッテイ、［2］ポーリング カンカクの順に選択します。**

```
2. ポ゜ーリング゛ カンカク
ポ゜ーリング゛ ：10フン
```

4 **メールボックスのチェック頻度を、分単位で入力します。**
お買い上げ時は 10min（10 分）に設定されています。

5 **［セット］ボタンを押します。**
ポーリング間隔の設定が登録されます。

6 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

ヘッダ印刷

この項目でメールの内容のうちヘッダ部分を印刷させるかを指定します。初期設定では「ナシ」になっています。

スベテ：..................... ヘッダすべてを印刷
ヘッダノミ：................. タイトル、あて先、差出人を印刷
ナシ：....................... なし

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 **［3］メール ジュシン セッテイ、［3］ヘッダ インサツの順に選択します。**

```
  3. ヘッダ゛インサツ
▲     ヘッダ゛ノミ
```

4 **↑または↓ボタンでスベテ、ヘッダ　ノミまたはナシより選択します。**
お買い上げ時はナシに設定されています。

スベテ：　　ヘッダすべてを印刷
ヘッダノミ：　タイトル、あて先、差出人を印刷
ナシ：　　なし

5 **［セット］ボタンを押します。**
ヘッダ印刷の設定が登録されます。

6 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

エラーメール削除

On に設定することで、MFC がメールボックスチェック時に POP サーバーから取得できなかったメールを削除することができます。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5．LAN
```

3 **［3］メール ジュシン セッテイ、［4］エラーメール サクジョの順に選択します。**

```
  4．エラー メール サクジ゛ョ
▲      On                   ＊
```

4 **↑または↓ボタンで On か Off を選択します。**
お買い上げ時は On に設定されています。

5 **［セット］ボタンを押します。**
エラーメール削除の設定が登録されます。

6 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

受信確認

この機能により、インターネットファクス（I-FAX）機能による受信を送信者に通知することができます。

On： 全ての I-FAX メッセージに対して送信元に受信確認を送付します。
MDN： MDN（受信確認リクエスト）機能を使用して送られてきた I-FAX メッセージの送信元に対してのみ受信確認を送付します。
Off： 受信確認の送付を一切行いません。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［3］メール ジュシン セッテイ、［5］ジュシンカクニンの順に選択します。

```
  5. ジュシン カクニン
▲     MDN
```

4 ↑または↓ボタンで On、MDN か Off のどれかを選択します。
お買い上げ時は Off に設定されています。

5 ［セット］ボタンを押します。
受信確認の設定が登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

4. メール送信設定（MFC のみ）

このメニューは 3 つの項目で構成されています。

- メールタイトル
- サイズ制限
- 着信確認要求

メールタイトル

コンピュータなどへの送信時に件名として表示されるテキストです。初期設定では「Internet FAX Job」になっています。

1 ［メニュー］ボタンを押します。

選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［4］メール ソウシン セッテイ、［1］メール タイトルの順に選択します。

```
  Internet Fax Job
▲    1. ヘンコウ
```

4 ［1］ボタンを押します。

［2］ボタンを押すと、設定メニューへ戻ります。

```
  Internet Fax Job
```

5 送信メールに記載するタイトル（SUBJECT/ 件名）情報を入力します。

アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.8-3を参照してください。

最大で 40 文字まで入力できます。お買い上げ時は「Internet Fax Job」に設定されています。

```
  Brother Fax Job
```

6 ［セット］ボタンを押します。

メールタイトルが登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。

設定メニューを終了します。

サイズ制限

サイズ制限を On にしておくと、1MB を超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。サイズ制限を On にした場合は、ページを分割して送るなどしてひとつのメールを 1MB 以下に抑える必要があります。

1 [メニュー] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 [4] メール ソウシン セッテイ、[2] サイズ セイゲンの順に選択します。

```
  2. サイズ゛  セイゲ゛ン
▲      On
```

4 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は Off に設定されています。

5 [セット] ボタンを押します。
サイズ制限の設定が登録されます。

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

着信確認要求

この機能を On にすることで、インターネットファクス送信時に受信確認要求の情報をあわせて送信します。受信側の機器では MDN（受信確認機能）の設定が有効になっている必要があります。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 **［4］メール ソウシン セッテイ、［3］ジュシンカクニンヨウキュウの順に選択します。**

```
  3. ジュシンカクニンヨウキュウ
▲     On
```

4 **↑または↓ボタンで On か Off を選択します。**
お買い上げ時は On に設定されています。

5 **［セット］ボタンを押します。**
着信確認要求の設定が登録されます。

6 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**
設定メニューを終了します。

5. リレー配信設定（MFC のみ）

このメニューは 3 つの項目から構成されています。

- リレー配信許可
- 許可ドメイン
- リレー配信レポート

リレー配信機能の詳細については、「第 5 章　ネットワークファクス機能を使う」P.5-1、または「第 7 章　ウェブブラウザで管理する」P.7-1を参照してください。

リレー配信許可

この機能によりインターネット経由で受け取ったドキュメントを通常の電話回線を使用して他のファクス機器に転送することができます。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ［5］リレー セッテイ、［1］リレーキョカの順に選択します。

```
  1. リレー  キョカ
▲      On
```

4 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は Off に設定されています。

5 ［セット］ボタンを押します。
リレー配信許可の設定が登録されます。

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

許可ドメイン

最大 10 件まで MFC を経由した転送を許可する信頼できるドメイン名を登録しておくことができます。ここに登録されていないドメインからのインターネットファクスは転送できません。
ファクス機器に転送することができます。

[メニュー] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

[5] を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 [5] リレー セッテイ、[2] キョカ ドメインの順に選択します。

```
  2. キョカ ドメイン
▲   リレー01：
```

4 ↑または↓ボタンでドメインを登録する番号を選択します。
10 件まで登録できます。

```
  2. キョカ ドメイン
▲   リレー05：
```

5 [セット] ボタンで選択決定します。

6 ドメイン名を入力します。
アルファベットの入力方法については、「アルファベット入力について」P.8-3 を参照してください。
最大で 30 文字まで入力できます。

```
   リレー01：
```

7 [セット] ボタンを押します。
許可ドメインの設定が登録されます。

8 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

ドメイン名とは

一般的に、例えば taro@brother.co.jp というメールアドレスの場合、@ 以下の brother.co.jp がドメイン名ということになります。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

リレー配信レポート

リレー配信転送レポートは MFC を経由して転送が行われたときに出力されます。

1 [メニュー] ボタンを押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 [5] リレー セッテイ、[3] リレー レポートの順に選択します。

```
   3. リレー レポ゜ート
▲       On
```

4 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。

お買い上げ時は Off に設定されています。

5 [セット] ボタンを押します。

リレー配信レポートの設定が登録されます。

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。

設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

6. その他の設定

Netware

Netware を使用するかを設定できます。フレームタイプは次項の「Net Frame」P.8-31で設定できます。

[メニュー] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
＊. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタセッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

- MFC-8820J/JN：[6]
- DCP-8025JN：[2]

4 [1] Netware を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
  1. Netware
▲    On          ＊
```

5 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

6 [セット] ボタンを押します。
Netware の設定が登録されます。

7 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

Net Frame

この設定は、「Netware」P.8-30が On に設定されている時のみ有効です。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
*. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタ セッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

- MFC-8820J/JN：［6］
- DCP-8025JN：［2］

4 ［2］Net Frame を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
  2. Net Frame
▲     Auto          *
```

5 ↑または↓ボタンでネットフレームの種類を選択します。
以下から選択してください。お買い上げ時は Auto に設定されています。

- Auto
- 8023
- ENET
- 8022
- SNAP

6 ［セット］ボタンを押します。
Net Frame の設定が登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

●ネットフレームの種類について

Auto：　NetWare サーバーに使用されているフレームタイプを自動的に適用します（推奨設定）。
8023：　Ethernet 802.3
ENET：　Ethernet II
8022：　Ethernet 802.2
SNAP：　Ethernet SNAP

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

AppleTalk®

AppleTalk® プロトコルは、Macintosh® ネットワークで使用されます。Macintosh® ネットワーク内でブラザー製品を使用されるときは、この設定を ON にしてください。

1 [メニュー] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
＊. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタ セッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

- MFC-8820J/JN：[6]
- DCP-8025JN：[2]

4 [3] AppleTalk を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
  3. AppleTalk
▲     On            ＊
```

5 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

6 [セット] ボタンを押します。
AppleTalk® の設定が登録されます。

7 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

DLC/LLC

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。
- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタ セッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
- MFC-8820J/JN：［6］
- DCP-8025JN：［2］

4 ［4］DLC/LLC を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
  4. DLC／LLC
▲    On             ＊
```

5 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

6 ［セット］ボタンを押します。
DLC/LLC の設定が登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

Net BIOS/IP

本機のプリント / ファクスサーバーは TCP/IP 上（NetBIOS 経由）で SMB（Server Message Block）をサポートしています。これにより、ネットワークの検索時に通常の Windows® コンピュータ のように MFC/DCP を表示させることができます。このように Net BIOS を使用した場合、Microsoft® Network に接続しているコンピュータの DOS アプリケーションから MFC/DCP を見ることができます。

［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。
右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：［5］
- DCP-8025JN：［3］

```
＊. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタセッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

- MFC-8820J/JN：［6］
- DCP-8025JN：［2］

4 ［5］Net BIOS/IP を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
  5. Net BIOS／IP
▲    On            ＊
```

5 ↑または↓ボタンで On か Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

6 ［セット］ボタンを押します。
Net BIOS/IP の設定が登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

イーサネット

この設定に対する変更を有効にするためには、ネットワークボードを一度リセットする必要があります。

誤った設定をした場合、ネットワークボードにアクセスできなくなることがあります。

1 **［メニュー］ボタンを押します。**

選択メニューが表示されます。

2 **ダイヤルボタンを押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**

右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：[5]
- DCP-8025JN：[3]

```
＊. LAN
```

3 **ダイヤルボタンを押して、ソノタ セッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**

- MFC-8820J/JN：[6]
- DCP-8025JN：[2]

4 **［6］イーサネットを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。**

```
  6. イーサネット
▲     Auto          ＊
```

5 **↑または↓ボタンでリンクモードを選択します。**

以下から選択してください。

- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

6 **［セット］ボタンを押します。**

イーサネットの設定が登録されます。

7 **［停止 / 終了］ボタンを押します。**

設定メニューを終了します。

Ethernet リンクモードについて

Auto： 100Base-TX（全二重 / 半二重）、10Base-T（半二重）モードを自動接続により選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD： それぞれのリンクモードに固定されます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

タイムゾーン（MFC のみ）

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本　UTC +09:00）ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 ［メニュー］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 ダイヤルボタンを押して、ソノタ セッテイを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

4 ［7］タイム ゾーンを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
7. タイム ゾ゛ーン
▲ UTC +09:00        *
```

5 ↑または↓ボタンでタイムゾーンを設定します。
ボタンを押すごとに 30 分ずつタイムゾーンが増減します。

```
7. タイム ゾ゛ーン
▲ UTC +09:30
```

6 ［セット］ボタンを押します。
タイムゾーンが登録されます。

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

- UTC（協会世界時）
  GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時間のことで、1972 年 1 月 1 日より使用されています。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ファクス
第6章 スキャナ
第7章 ブラウザ
第8章 パネル

スキャン E メール

スキャン E メールをカラーでするときのファイル形式を設定します。

1 [メニュー] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] を押して LAN を選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
5. LAN
```

3 [7] スキャン E メールを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

```
7. スキャン  E メール
▲         PDF         *
```

4 ↑または↓ボタンで JPEG か PDF を設定します。

```
7. スキャン  E メール
▲         PDF         *
```

5 [セット] ボタンを押します。

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

ユーザ設定リストの出力

この機能を使うことで、現在の設定を全てプリントアウトすることができます。本機のプリント / ファクスサーバーの設定は、このレポートの最終ページとなっています。

［メニュー］ボタンを押します。

選択メニューが表示されます。

ダイヤルボタンを押してレポートインサツを選択します。↑または↓ボタンでも選択可能です。

右記の「＊」印に入る番号は、お使いの MFC/DCP によって異なります。

- MFC-8820J/JN：［4］
- DCP-8025JN：［1-9］

＊. レポートインサツ

［5］を押します。

↑または↓ボタンでセッテイ　ナイヨウ　リストを選択して［セット］ボタンを押しても選択可能です。

［スタート］ボタンを押します。

特殊設定編

特殊設定編 第 9 章

ネットワークの設定

概要

TCP/IP プロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。また、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアを使用して印刷するときは、ドメイン名（ワークグループ名）を変更する必要があります。
この章では、基本編で紹介していない本機の IP アドレスの設定方法やドメイン名（ワークグループ名）の設定方法について説明します。
MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows®95 に対応していません。

IP アドレスの設定

IP アドレスの自動設定機能

ブラザーネットワークボードは各種の IP アドレス自動配布機能に対応しています。
デフォルトでは以下の機能が有効になっており、ネットワークボード起動時に自動的に IP アドレスを割り当てることができます。

IP アドレス配布サーバーを使用する

- DHCP を使用して自動的に設定する。P.9-5
- BOOTP を使用する。P.9-8
- Reverse ARP （rarp）を使用する。P.9-7
- 操作パネルを使用する。（操作パネル搭載機種のみ）P.8-1

設定される IP アドレス内容は、IP アドレス配布サーバーに依存します。

上記の IP アドレス配布サーバーがない環境では、APIPA（AutoIP）機能によって、ネットワークボード自身でアドレスを割り当てます。（上記 IP アドレス配布サーバーからの割り当てが優先します。）

アドレス：169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲のいずれかになります。
サブネットマスク：255.255.0.0
ゲートウェイ：0.0.0.0

- APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、以下の説明にしたがって、IP アドレスを変更する必要があります。
- APIPA 機能を無効にしたい場合は、「APIPA」P.8-13を参照してください。
  デフォルトでは、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

IP アドレスの自動設定機能が無効な場合のデフォルトの IP アドレスは、192.0.0.192 です。使用しているネットワークの IP アドレス設定規則に合わせて、IP アドレスを変更してください。
IP アドレスは、次項のいずれかの方法で変更できます。

ネットワーク設定ページを印刷して、現在の設定値を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

IP アドレスの設定方法

ネットワークの設定状態に応じて、以下の方法があります。
なお、使用するコンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

デフォルト状態の本機を使用する場合

- BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用する。P.9-4

TCP/IP で通信できる状態の本機の設定を変更する

- BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用する。P.9-4
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.7-1

設定を変更するときは、パスワードの入力を要求される場合があります。
デフォルトのパスワードは "access" です。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定

本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）は WORKGROUP です。本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）が、使用しているネットワークでのドメイン名（ワークグループ名）の設定規則に適していない場合は、ドメイン名（ワークグループ名）を変更してください。
ドメイン名（ワークグループ名）は、BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用して変更することができますが、それ以外に以下の方法で設定することができます。

- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.7-1

第9章
ネットワーク
第10章
Netware
第11章
DLC
第12章
トラブル対応
第13章
付録
索引

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional は、Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 専用です。

BRAdmin Professional では、本機との通信に、IPX/SPX または TCP/IP プロトコルが使用できます。本機のデフォルトの IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
BRAdmin Professional を使用して、次のいずれかの方法で IP アドレスを変更することができます。ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。工場出荷時の設定では、APIPA の機能が有効になっていますので、必要に応じて下記の方法で IP アドレスを変更してください。

- IPX/SPX プロトコルを使用する。
- TCP/IP プロトコルを使用し、BRAdmin Professional に本機を未設定デバイスとして認識させる。P.2-3

IPX/SPX プロトコルを使用して IP アドレスを変更する

コンピュータに Novell Netware Client ソフトウェアがインストールされ、IPX/SPX プロトコルを使用している場合は、次の手順を実行します。

1 MFC/DCP をネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。

2 メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［IPX/SPX］を選択します。

3 ノード名を確認します。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

- 目的のネットワークプリンタの名前が表示されていない場合は、［デバイス］メニューの［稼働中のデバイスの検索］をクリックしてください（<F4> キーを押しても検索することができます）。

ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

4 設定するネットワークボードをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

5 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

6 ［TCP/IP］タブをクリックします。

7 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。

8 ［IP 設定］を［手動］に設定します。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［閉じる］をクリックします。

11 IP アドレスを正しく設定すると、デバイスリストにノード名およびプリンタ名が表示されます。

12 BRAdmin Professional、ウェブブラウザを使用して、本機をリスタートします。
リスタートの方法が分からない場合は本機の電源を切り、その後電源を入れ直してください。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

TCP/IP プロトコルを使用して IP アドレスを変更する

TCP/IP プロトコルを使用している場合は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークの設定をする」P.2-3を参照してください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワークに DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーからネットワークボードに自動的に IP アドレスが割り当てられ、RFC1001 および 1002 準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional、ウェブブラウザまたは操作パネル（操作パネル搭載機種のみ）を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

ARP を使用する

BRAdmin Professional、および DHCP サーバーを使用することができない場合は、ARP コマンドを使用します。ARP の使用は、ネットワークボードの IP アドレスを設定する最も簡単な方法です。UNIX システムだけでなく、TCP/IP をインストールした Windows® システムでも ARP を使用することができます。
ARP を使用するには、コマンドプロンプトで、ARP コマンドを入力し、設定した IP アドレスに ping を行います。

```
arp -s ip_address ethernet_address
ping ip_address
```

- ethernet_address は、ネットワークボードのイーサネットアドレス（MAC アドレス）です。
- ip_address はネットワークボードの IP アドレスです。

例を次に示します。

Windows® システム

Windows® システムでは、イーサネットアドレス（MAC アドレス）の各桁の間にダッシュ（-）が必要です。

```
arp -s 192.189.207.2 00-80-77-31-01-07
ping 192.189.207.2
```

UNIX システム

通常、UNIX システムではイーサネットアドレス（MAC アドレス）の各桁の間にコロン（:）が必要です。

```
arp -s 192.189.207.2 00:80:77:31:01:07
ping 192.189.207.2
```

- このコマンドは同一のネットワークセグメント上でなければ使用できません。つまり、ネットワークボードとご使用のコンピュータの間にルータがある場合は使用できません。ルータがある場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用して IP アドレスを設定してください。
- システム管理者が、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、ネットワークボードには IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARP コマンドを使用する必要はありません。
- ARP コマンドは 1 回しか使用できません。つまり、ARP コマンドを使用してネットワークボードの IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、再度 ARP コマンドを使用して IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの変更が必要な場合は、ウェブブラウザを使用します。ただし、ネットワークボードを工場出荷時の状態にリセットすると、再び ARP コマンドを使用することができます。

RARP を使用する

ホストコンピュータで Reverse ARP（rarp）機能を使用し、ネットワークボードの IP アドレスを設定することができます。UNIX/Linux の場合は、/etc/ethers ファイルを編集し、次のエントリを追加します（このファイルがない場合は作成します）。

00:80:77:31:01:07 BRN_310107

最初のエントリは、ネットワークボードのイーサネットアドレス（MAC アドレス）で、2 番目のエントリはネットワークプリントの名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は実行します。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIX ベースのシステムで rarp デーモンが実行されているかどうかを調べるには、次のコマンドを入力します。

ps -ax | grep -v grep | grep rarpd

AT&T UNIX ベースのシステムの場合は、次のコマンドを入力します。

ps -ef | grep -v grep | grep rarpd

プリント / ファクスサーバーの電源をオンにすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

rarp の代わりに BOOTP を使用すると、IP アドレスだけでなく、サブネットマスクとゲートウェイも設定できます。
BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを、次に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i

システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークプリンタの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、イーサネットアドレス（MAC アドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。多くの UNIX システムでは、bootptab ファイルのサンプルテンプレートが用意されています。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:¥
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

rarp での設定の場合と同じように、ネットワークプリンタの電源をオンにすると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

特殊設定編 第10章

Novell NetWare で印刷する

ネットワークボードを使用すると、NetWare クライアントコンピュータから印刷することができます。
NetWare での印刷ジョブは、すべて Novell サーバーにいったんスプールされ、プリンタが印字可能になるとプリンタに送られます。

Novell NetWare から印刷する

- ネットワークプリンタを NetWare ネットワークで使用するには、印刷キューを NetWare サーバー上に設定する必要があります。印刷ジョブは NetWare サーバーの印刷キューに送られ、直接、またはリモートプリントモードの場合は中間プリントサーバーを通じて、ネットワークプリンタにスプールされます。
- BRAdmin Professional を使用して、NetWare システム上に Bindery または NDS（NeWare 4 および NetWare 5）ベースのキューを作成できます。アプリケーションの切り替えは必要ありません。
- NetWare 5 で NDPS プリンタを設定する場合は、NetWare 5 に付属の NWADMIN アプリケーションを使用する必要があります。
- BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。
- BRAdmin Professional が使用できない場合は、NetWare PCONSOLE ユーティリティ、または NWADMIN ユーティリティを使用してキューを作成できます。この場合、ウェブブラウザを使用してネットワークボードの設定を行う必要があります。
- ネットワークプリンタは、最大 16 のファイルサーバーと 32 のキューに対してサービスを行うことができます。

NetWare5 用 NWADMIN を使用して NDPS プリンタを作成する

Novell NetWare 5 で NDPS（Novell 分散印刷）と呼ばれる新しい印刷システムがサポートされました。設定を行う前に、NetWare 5 サーバーへの NDPS のインストールと、サーバー上での NDPS マネージャの設定が必要です。
NDPS プリンタと印刷についての詳細は、「その他の情報」P.10-15 を参照してください。

NDPS マネージャ

サーバーで使用しているサービスによって、プリンタエージェントを管理する NDPS マネージャの作成方法について説明します。
サーバーベースの印刷エージェントを作成する前に、NDS ツリー内に NDPS マネージャを作成する必要があります。
サーバーに直接接続されているプリンタを NDPS マネージャで制御する場合は、プリンタの接続されているサーバーにマネージャをロードしてください。

1. NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをロードするコンテキストに移動します。
2. [オブジェクト]ー[作成]ー[NDPS マネージャ]の順に選択し、[OK]をクリックします。
3. NDPS マネージャ名を入力します。
4. NDPS マネージャを作成するサーバー（NDPS はインストール済みで NDPS マネージャは未作成）を検索し、NDPS マネージャデータベースを割り当てるボリュームを指定します。
5. ［作成］をクリックします。

NDPS ブローカー

NDPS をインストールすると、NDPS ブローカーがネットワーク上にロードされます。
ブローカーサービスの 1 つのリソース管理サービスにより、プリンタエージェントで使用するプリンタドライバをサーバー上にインストールすることができます。
次の手順で、プリンタドライバをブローカーに追加します。

1. リソース管理サービスが有効になっていることを確認します。
2. NetWare アドミニストレータで、ブローカーオブジェクトのメインウィンドウを開きます。
3. ［リソース管理ビュー］を選択します。
4. ［リソース管理］ダイアログボックス内の［リソースの追加］をクリックします。
   ［リソース管理］ダイアログボックスが表示されます。

5 追加するプリンタドライバのタイプを示しているアイコンをクリックします。
選択したタイプの、現在ロードされているすべてのリソースのリストが、[現在のリソース] ウィンドウに表示されます。

メモ NetWare 5 用の Windows® 95/98/Me、または Windows NT® 4.0 ドライバがあります。(NetWare 5.1 では Windows® 2000 ドライバもサポートされています。) NetWare 4.x で NDPS バージョン 1 を使用している場合は、Windows® 95/98/Me しか使用できません。NetWare 4.x 用 NDPS バージョン 2 では Windows NT® ドライバの自動ダウンロードがサポートされています。

6 [追加] をクリックします。
[< リソースタイプ > の追加] ダイアログボックスが表示されます。
表示されたリソースがインストールされます。

7 [参照] をクリックし、このリストに追加するドライバを指定します。
ドライバリストに複数のプリンタが表示される場合があります。これは多言語をサポートするドライバです。

プリンタエージェントの作成

コントロールアクセスプリンタの場合

次の手順で、プリンタエージェントをコントロールアクセスプリンタ（NDS オブジェクト）用として作成する場合は、あらかじめ NDPS マネージャをロードしてから、次の手順を実行します。

1 NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、[オブジェクト] − [作成] − [NDPS プリンタ] の順に選択します。

2 NDPS プリンタ名を入力します。

- 新しいプリンタの場合は、[新しいプリンタエージェント] を選択します。
- 既存の NDS プリンタを NDPS を使用するようにアップグレードする場合は、[既存の NDS プリンタオブジェクト] を選択し、アップグレードするプリンタオブジェクトを選択します。

3 プリンタエージェントを参照する名前を入力し、NDPS マネージャの名前を入力します。
[参照] をクリックして、NDPS マネージャを選択することもできます。

4 プリンタエージェント用のゲートウェイタイプとして [Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、[OK] をクリックします。

5 プリンタタイプとして [None]、ポートハンドラタイプとして [Novell ポートハンドラ] を選択し、[OK] をクリックします。

6 使用する接続のタイプを指定します。
4 つの選択可能なオプションの中から、[Remote（LPR or IP)] を選択します。

7 プリンタの IP アドレスまたは host 名を入力します。
プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。

8 ［完了］をクリックします。

9 クライアントオペレーティングシステム用プリンタドライバを選択します。

パブリックアクセスプリンタの場合

プリンタエージェントをパブリックアクセスプリンタ用に作成する場合は、あらかじめ NDPS マネージャをロードしてから、次の手順を実行します。

1 NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをダブルクリックします。

2 ［プリンタエージェントリスト］をクリックします。

3 ［新規］をクリックします。

4 プリンタエージェントを参照する名前を入力します。

5 ゲートウェイタイプとして［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］をクリックします。

6 プリンタタイプとして［None］、ポートハンドラタイプとして［Novell ポートハンドラ］を選択し、［OK］をクリックします。

7 使用する接続のタイプを指定します。
4 つの選択可能なオプションの中から、［LPR over IP］を選択します。

8 プリンタの関連情報を入力します。
プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。

9 ［完了］をクリックします。

10 クライアントオペレーティングシステム用プリンタドライバを選択します。

NetWare システムの設定

BRAdmin Professional は、NetWare PCONSOLE（NetWare 4.1x 以降では NWADMIN）ユーティリティと同等の機能を備えたアプリケーションソフトです。
BRAdmin Professional を使用して NetWare 上のプリントサーバーを作成するには、SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）として Netware ネットワークにログインし、下記の手順を実行する必要があります。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

BRAdmin Professional を使用する

Netware プリントサーバー（バインダリキューサーバー）の作成

1 SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.xx 以降）でサーバーにログインします。

2 BRAdmin Professional を起動します。
プリンタのリストに 1 つ以上のネットワークプリンタが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

メモ ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

3 設定するネットワークプリンタをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

5 ［NetWare］タブを選択します。

必要に応じて、［プリントサーバー名］を変更します。デフォルトの NetWare プリントサーバー名は「BRN_xxxxxx_P1」で、「xxxxxx」はネットワークボードのイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。この名前を変更すると、サービス名が変更されるため、他のプロトコルの設定に影響を与える可能性がありますので注意してください。

6 ［動作モード］で［キューサーバー］が選択されていない場合は、［キューサーバー］を選択します。

7 ［バインダリキューの変更］をクリックします。

8 設定する NetWare サーバーを選択します。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

9 ［作成］をクリックし、作成するキューの名前を入力します。リストから追加したキューを選択します。
作成するキューの名前が反転表示されます。

10 ［追加］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

13 BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

Netware プリントサーバー（NDS キューサーバー）の作成

1 NDS モードの ADMIN としてログインします。

2 BRAdmin Professional を起動します。
プリンタのリストに 1 つ以上のネットワークプリンタが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

> メモ
> ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

3 設定するネットワークプリンタをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

5 ［NetWare］タブを選択します。

6 ［動作モード］で［キューサーバー］が選択されていない場合は、［キューサーバー］を選択します。

7 正しい NDS ツリーと NDS コンテキストを選択します。
手動で入力するか、NDS ツリーのそばにある下向き矢印をクリックして NDS ツリーを選択し、NDS コンテキストのそばにある［変更］をクリックして NDS コンテキストを選択します。
BRAdmin を使用して自動的に表示させることができます。

8 ［NDS キューの変更］をクリックします。

9 ［Netware プリントキュー］の画面で、適切なツリーとコンテキストを選択します。

10 ［作成］をクリックします。

11 キュー名を入力し、ボリューム名を指定します。
- ボリューム名が分からない場合は［参照］をクリックし、NetWare ボリュームを検索します。
入力した情報に誤りがなければ、［OK］をクリックします。

作成したキュー名が、指定したツリーとコンテキストに表示されます。［追加］をクリックすると、キュー名が［サービス中のプリントキュー］ウィンドウに移動します。キュー名情報に加えてツリーとコンテキストの情報も、このウィンドウに表示されます。

12 ［閉じる］をクリックします。
これで、ネットワークプリンタは、適切な NetWare サーバーにログインします。

13 BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

Novell NWADMIN と BRAdmin Professional を使用する

Netware プリントサーバー（NDS キューサーバー）の作成

BRAdmin Professional と NWADMIN アプリケーションを併用して、NetWare ファイルサーバーを設定します。

1. NetWare 4.1x 以降のファイルサーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. NWADMIN アプリケーションを起動します。
3. 目的のプリンタを作成するコンテキストを選択し、[オブジェクト] − [作成] をクリックします。
4. [新しいオブジェクト] メニューで [プリンタ（非 NDPS）] を選択し、[OK] をクリックします。
5. プリンタ名を入力し、[作成] を選択します。
6. プリントキューを作成するコンテキストを選択し、[オブジェクト] − [作成] をクリックします。
7. [新しいオブジェクト] メニューで [プリントキュー] を選択し、[OK] をクリックします。
8. [ディレクトリサービスキュー] を選択し、プリントキューの名前を入力します。
9. プリントキューボリュームを選択するボタンをクリックします。
   必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、[使用可能なオブジェクト] から目的のボリュームを選択し、[OK] をクリックします。
10. [作成] をクリックします。
    印刷キューが作成されます。
11. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 4 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。
12. [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
13. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 7 で作成したプリントキューを選択します。

14 ［OK］をクリックします。

15 必要に応じてコンテキストを変更し、［オブジェクト］－［作成］をクリックします。

16 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリントサーバー（非 NDPS）］を選択し、［OK］をクリックします。

17 プリントサーバー名を入力し、［作成］を選択します。

プリントサーバーの NetWare プリントサーバー名を、BRAdmin Professional の［NetWare］タブに表示されるとおりに入力します。
名前を変更していなければ、通常は、デフォルトのサービス名 BRN_xxxxxx_P1 です。

ネットワーク設定ページを印刷して、サービス名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

プリントサーバーにパスワードを設定しないでください。設定するとログインできなくなります。

18 プリントサーバーの名前をダブルクリックします。

19 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

20 必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、手順 4 で作成したプリンタを選択します。

21 ［OK］をクリックし、もう一度［OK］をクリックします。

22 NWADMIN を終了します。

23 BRAdmin Professional を起動します。

プリンタのリストに 1 つ以上のネットワークプリンタが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

メモ

ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

24 設定するネットワークプリンタをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

25 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

26 ［NetWare］タブを選択します。

27 動作モードとして［キューサーバー］を選択します。
NetWare サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。

メモ デフォルトの NetWare サービスではないサービスでキューサーバー機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。詳しい方法は、本書の「付録」を参照してください。

28 NDS ツリー名を入力します。
ネットワークプリンタは、NDS キューとバインダリキューの両方に対してサービスを行うことができます。

29 Netware プリントサーバーをロードするコンテキスト名を入力します。

30 設定した内容を保存したことを確認して、BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

Netware プリントサーバー（NDS リモートプリンタ）の作成

NWADMIN（NetWare 管理ユーティリティ）と BRAdmin Professional を使用して、ネットワークプリンタをリモートプリンタモードに設定します。

1 NWADMIN アプリケーションを起動します。

2 目的のプリンタを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］－［作成］を選択します。

3 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリンタ（非 NDPS）］を選択し、［OK］をクリックします。

4 プリンタ名を入力し、［作成］を選択します。

5 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

6 必要に応じディレクトリコンテキストを変更し、手順 5 で作成したプリンタをダブルクリックします。

7 プリンタ番号をメモに記録し、［OK］をクリックします。
記録したプリンタ番号は後で使用します。

8 プリントキューを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］－［作成］をクリックます。

9 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリントキュー］を選択し、［OK］をクリックします。

10 ［ディレクトリサービスキュー］を選択し、プリントキューの名称を入力します。

11 プリントキューボリュームを選択するボタンをクリックします。
必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、ボリューム（オブジェクト）を選択して、［OK］をクリックします。

12 ［作成］をクリックします。
プリントキューが作成されます。

13 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 5 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。

14 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

15 必要に応じてコンテキストを変更し、作成したプリントキューを選択します。

16 ［OK］をクリックし、もう一度［OK］をクリックします。

17 NWADMIN を終了します。
NetWare サーバー上で、PSERVER NLM を起動し、追加したプリントサーバーを指定します。

18 BRAdmin Professional を起動します。
プリンタのリストに 1 つ以上のネットワークプリンタが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

メモ ネットワーク設定ページを印刷して、NetWare サービス名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

19 設定するネットワークプリンタをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

20 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

21 ［NetWare］タブを選択します。

22 ［動作モード］として［リモートプリンタ］を、［プリントサーバー］として手順 6 で指定したプリントサーバー名を、［リモートプリンタ番号］として手順 9 で記録したプリンタ番号を入力します。
［リモートプリンタ名］は通常変更する必要はありません。

NetWare プリントサーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモートプリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。

23 ［OK］をクリックし、BRAdmin Professional を終了します。

ここで、いったん NetWare ファイルサーバーコンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

その他の情報

また、IP アドレスの詳しい設定方法については、「第 9 章 ネットワークの設定」P.9-1を参照してください。

特殊設定編 第11章

DLC で印刷する

概要

DLC は、Windows NT® 4.0 および Windows® 2000 に標準でサポートされているプロトコルです。その他の OS（Windows NT®3.x）の場合は、Hewlett-Packard JetDirect カードをサポートするソフトウェアの追加によって使うことができます。

●設定の流れ

1. DLC プロトコルをインストールします。P.11-3
2. コンピュータの設定をします。P.11-4

ネットワーク設定ページを印刷することができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

DLC プロトコルにはルーティング機能がないため、印刷ジョブを出力するコンピュータとネットワークプリンタ間にルータを使用することはできません。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

DLC の設定

Windows NT® 4.0、Windows® 2000 で DLC を使用するには、DLC プロトコルをインストールします。

Windows® 2000

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。
［ローカルエリア接続のプロパティ］が表示されます。

3 ［全般］タブの［インストール］をクリックします。

4 ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

5 ［DLC プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。
変更した内容が反映されます。

Windows NT®4.0

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。
［ネットワーク］が表示されます。

2 ［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックします。

3 ［DLC プロトコル］を選択し［OK］をクリックします。
インストールに必要なファイルの格納場所の指定が必要な場合もあります。
- Intel ベースのコンピュータの場合は、Windows NT® 4.0 の CD-ROM の i386 ディレクトリに必要なファイルが格納されています。
- Intel ベースのコンピュータでない場合は、Windows NT® 4.0 の CD-ROM の該当するディレクトリを指定します。

［閉じる］をクリックします。

4 コンピュータを再起動します。
変更した内容が反映されます。

コンピュータの設定

Windows® 2000

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「プリンタドライバがインストールされている場合」P.11-5を参照してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［新しいポートの作成］を選択し、［Hewlett-Packard Network Port］を選択します。

6 ［次へ］をクリックします。
［カードアドレス］の下側のボックスに使用可能なネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。表示されていない場合は、［最新の情報に更新］をクリックしてください。

7 目的のネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）を選択します。
選択したネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、［カードアドレス］の下側のボックスに表示されます。

メモ

- イーサネットアドレス（MAC アドレス）は、ネットワーク設定ページに記載されています。ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。
- ［タイマ］をクリックして表示されるダイアログボックスで「連続」を「ジョブごと」に変更しないと、他のコンピュータからは使用できません。

8 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

9 目的のポートの名称を入力し、［OK］をクリックします。

ポートの名称が、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスと重複しないように注意してください。

10 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

11 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザードを完了しています」画面が表示されます。

共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

12 テストページを印刷したい場合は［はい］、したくない場合は［いいえ］にチェックをし、［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

メモ

プリンタドライバがインストールされている場合

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをダブルクリックします。
② ［プリンタ］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［利用可能なプリンタポート］のリストから［Hewlett-Packard Network Port］を選択し、［新しいポートの作成］をクリックします。
［カードアドレス］の下側のボックスに使用可能なプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。表示されていない場合は、［最新の情報に更新］をクリックしてください。
⑤ 目的のプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）を選択します。
選択したプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、［カードアドレス］の下側のボックスに表示されます。
- イーサネットアドレス（MAC アドレス）は、ネットワーク設定ページに記載されています。ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。本機背面のネットワークテストボタンを押します。ただし、5 秒以上押したままにしないよう注意してください。ネットワークの設定がリセットされます。
- ［タイマ］をクリックして表示されるダイヤログボックスで「連続」を「ジョブごと」に変更しないと、他のコンピュータからは使用できません。

⑥ 目的のポートの名称を入力し、［OK］をクリックします。
ポートの名称が、LTP1 などの既存のポートまたは DOS デバイスと重複しないように注意してください。
⑦ 「プリンタポート」画面で［閉じる］をクリックします。

Windows NT® 4.0

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「プリンタドライバがインストールされている場合」P.11-7を参照してください。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。**
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。**

［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

3 **［ポートの追加］をクリックします。**

4 **［利用可能なプリンタポート］のリストから［Hewlett-Packard Network Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。**
［カードアドレス］の下側のボックスに使用可能なネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。表示されていない場合は、［最新の情報に更新］をクリックしてください。

5 **目的のネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）を選択します。**
選択したネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、［カードアドレス］の下側のボックスに表示されます。

- イーサネットアドレス（MAC アドレス）は、ネットワーク設定ページに記載されています。ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。
- ［タイマ］をクリックして表示されるダイアログボックスで「連続」を「ジョブごと」に変更しないと、他のコンピュータからは使用できません。

6 **目的のポートの名称を入力し、［OK］をクリックします。**

ポートの名称が、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスと重複しないように注意してください。

7 **［プリンタポート］画面で［閉じる］をクリックします。**
手順 6 で入力した名称が、チェックマークの付いた状態で使用可能ポートのリストに表示されます。

8 **［次へ］をクリックします。**

9 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

10 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

11 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

12 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、この MFC/DCP を通常使うプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

13 この MFC/DCP を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力します。印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックします。

14 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

メモ

プリンタドライバがインストールされている場合

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをダブルクリックします。
② ［プリンタ］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ 手順 4 ～ 7P.11-6を実行したあとで、［OK］をクリックします。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

他のシステムでの DLC の設定

他のネットワークシステムで DLC を使用するには、通常はサードパーティ製のソフトウェアが必要です。システムへの DLC プロトコルのインストール方法は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ネットワークポートを作成します。

「コンピュータの設定」の「Windows NT® 4.0」P.11-6の場合と同様です。
ネットワークプリンタのイーサネットアドレス（MAC アドレス）は、設定作業中に自動的に表示されます。

通常の OS でのプリンタ設定方法でプリンタを作成します。

プリンタを LPT1 パラレルポートに接続するのではなく、作成したネットワークポートに接続する点だけが異なります。

MFC/DCP の処理が遅い場合は、ジョブがプリントスプーラタイムアウトになる場合があります。

その他の情報

IP アドレスの詳しい設定方法については、「第 9 章 ネットワークボード設定」P.9-1を参照してください。

特殊設定編 第12章

トラブルシューティング

概要

ネットワークプリンタを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。
MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows®95 に対応していません。

問題の種類を下記の 3 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- インストールについての問題P.12-3
- プロトコル固有の問題P.12-6
- その他の問題P.12-13

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

MFC/DCP がオンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

ネットワーク設定ページが正常に印刷されない場合、以下を確認してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークボードの設定に異常のある可能性があります。

b. この場合は、ネットワークボードを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。その後で、MFC/DCP 本体の電源を入れ直し、ネットワーク設定ページを印刷します。

設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. **TCP/IP を使用している場合**
コンピュータから次のコマンドを実行し、ネットワークボードへの ping を確認します。

Ping ip_address

ip_address はネットワークボードの IP アドレスです。
ネットワークボードに IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.12-6の各トラブルシューティングへ進みます。

例） **C:¥>Ping 192.168.0.53**

```
Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順3を確認した後で、「TCP/IPのトラブルシューティング」P.12-6へ進みます。

例） **C:¥>Ping 192.168.0.53**

Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.0.53:
Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

b. **Novell システムを使用している場合**

ネットワーク上にネットワークボードが存在していることを確認します。

① SUPERVISOR（スーパーバイザ権限のあるユーザーではない）または ADMIN（Netware 4 以降のサーバーの場合）としてログインします。
② NWADMIN を実行します。
③［INFORMATION（プリントサーバー情報）］を選択し、ネットワークプリンタの名称を選択します。
④ このネットワークプリンタ名が前に入力した名称であることを確認します。

［Print Server Status and Control（プリントサーバーのステータスと制御）］がメニューに表示されている場合は、ネットワークボードがネットワークから認識されています。「Novel NetWare のトラブルシューティング」P.12-10へ進みます。それ以外の場合は手順 3 へ進みます。

c. **AppleTalk を使用している場合**

ネットワーク上にプリントサーバーが存在していることを確認します。

- Mac OS® 8.6~9.2

① アップルメニューから［セレクタ］を選びます。
②［Brother　Laser 〔AT〕］をクリックし、右側の［接続先］にプリントサーバー名が表示されていることを確認します。　表示されている場合は正しく接続されています。

- Mac OS® X 10.1~10.3（Mac OS® X 10.2 の場合）

①［Macintosh HD］アイコンー［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［プリントセンター］アイコンの順にダブルクリックします。
②［追加］をクリックします。
③［Apple Talk］を選択します。プリントサーバー名が表示されていることを確認します。表示されている場合は正しく接続されています。

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認します。

a. MFC/DCP がオンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。
c. LED の表示をチェックします。
ネットワークボードの背面には 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
- 消灯
LED が両方とも消灯している場合は、ネットワークに接続されていないことを示します。
- Link/Speed（オレンジ色 / 緑色）
オレンジ色：100BASE リンク、緑色：10BASE リンク
- Activity
データの送受信時に点滅します。

4 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。
他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、ネットワークボードを別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかを確認します。

5 ネットワークボードとホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストからネットワークボードへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。ネットワークボードの IP アドレスが含まれるように設定してください。ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。ネットワークボードで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

6 ネットワークボードが印刷ジョブを受け取っているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンタに出力していないかどうかをチェックします。自動言語切り替え機能のある MFC/DCP を使用している場合は、MFC/DCP が強制的に PostScript モードに切り替えられていないかどうかを確認します。

第9章
ネットワーク
第10章
Netware
第11章
DLC
第12章
トラブル対応
第13章
付録
索引

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。

- MFC/DCP の電源を入れ直す。
- ネットワークプリンタの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- ネットワークボードに正しい IP アドレスがロードされていることを確認します（かんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」）。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。

2 TCP/IP プロトコルがネットワークボードで使用する設定になっていることを確認します。

3 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ワークステーションで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しいイーサネットアドレス（MAC アドレス）が記述されていることを確認します。
- ネットワークプリンタ名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

4 bootp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ワークステーションで bootp デーモンを起動し、/etc/bootptab ファイルが正しく設定されていること（bootp エントリから # が削除されているなど）を確認します。
- bootp が有効になっていることを確認します。

5 ホストコンピュータとネットワークプリンタが、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

Windows NT®/LAN Server（TCP/IP）のトラブルシューティング

Windows NT® または LAN Server での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows NT® または LAN Server ファイルサーバーに、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認します。

2. DHCPなどを使用してネットワークボードのIPアドレスが確定していない場合は、[LPDを提供しているサーバーの名称またはアドレス :] に、ネットワークプリンタの NetBIOS 名を入力します。

LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 95/98/Me で、LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. 「LPR（BLP）で印刷する」P.2-15の説明にしたがって、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

2. プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にします。
ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 で、NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. 「NetBIOSで印刷する」P.2-23の説明にしたがって、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。
ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

2. ネットワークプリンタが、ネットワーク内のコンピュータと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。
MFC/DCP が「ネットワークプリンタ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

ブラザーインターネット印刷のトラブルシューティング

送信側のコンピュータから受信側のMFC/DCPに電子メールを送信できることを確認します。

SMTP サーバーを経由して電子メールを受信できる（TCP/IP）リモートサイトのユーザーに、送信側コンピュータから電子メールを送信します。
正しく実行できなければ、送信側コンピュータ、受信側の POP3 サーバーに設定されたアカウント情報が一致していないか、送信側の SMTP サーバーの中継が正しく行われていません。送信側コンピュータとネットワークボードに設定したアカウント情報が POP3 サーバーに設定されているアカウント情報と一致しているかどうかを再チェックします。SMTP サーバーの中継については、サーバー管理者へ確認してください。

容量の小さいファイルの印刷は問題なく、容量の大きいファイルの印刷に問題がある場合は、メールシステムを確認します。

メールシステムに原因がある可能性があります。メールシステムによっては、容量の大きいファイルの印刷時に問題の発生するものがあります。ファイルが宛先に届かない場合も、メールシステムに原因があると考えられます。
このような場合は、送信側コンピュータで分割メール機能を使用します。電子メールが分割して処理されるため、ほとんどのメールサーバーで処理することができます。この機能は、プリンタポートのプロパティで設定します。

Windows® 95/98/Me/2000/XP の IPP のトラブルシューティング

印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows® 2000/XP での設定時に、次のデータを入力します。

http://ip_address/ipp

Windows® 2000 での［詳細］オプションが使用できない
Windows® XP での［Go to Printer's Web Site］オプションが使用できない

http://ip_address:631/ もしくは http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows® 2000 での［詳細］オプションおよび Windows® XP での［Go to Printer's Web Site］オプションは使用できません。
これらのオプションを使用するには、次の URL を使用してください。

http://ip_address

これは MFC/DCP のインターネット印刷にポート 80 を割り当てる URL です。
Windows® 2000/XP とネットワークボードとの通信にポート 80 が使用できます。

Windows® 95/98/Me クライアントが Windows® 2000/XP システムからドライバを取得できない

クライアントコンピュータで、バージョン 4.0 以降の Internet Explorer を使用し、Microsoft インターネット印刷サービスソフトウェアがインストールされていることを確認します。

Novell NetWare のトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェックに問題がないにも関わらず、NetWare から印刷できない場合は、ネットワークボードがサーバーキューに接続されているかどうかを確認します。

設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。

- MFC/DCP の電源を入れ直すことで、強制的に Netware キューのスキャンを実行します。
- プリントサーバーオブジェクトを削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 ログインパスワードを変更した場合は、ネットワークボードとファイルサーバーの両方のパスワードを変更します。

- ネットワークボードのパスワードはウェブブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して変更します。
- ファイルサーバーのパスワードは、PCONSOLE のプリントサーバー情報のパスワード変更コマンドを使用して変更します。

2 印刷キューの作成に BRAdmin Professional ではなく PCONSOLE を使用した場合は、少なくとも 1 つのファイルサーバーを SET NETWARE SERVER servername ENABLED コマンドを使用して有効にしていることを確認します。

3 NetWare のユーザー制限を超えていないことをチェックします。

4 PCONSOLE で使用したプリントサーバー名を確認します。

- ネットワークボードに設定されている Netware のプリントサーバー名と完全に一致していることを確認します。
- 印刷キューのキューサーバーとして定義されていことを確認します。

5 ネットワーク上の別々のサーバーで、802.3 と Ethernet II フレームの両方を実行している場合は、プリントサーバーと目的のファイルサーバーが接続できないことがあります。

プリントサーバーのリモートコンソールから SET NETWARE FRAME コマンドを使用するか、BRAdmin Professional を使用して、フレームの種類を強制的に 1 つにしてください。

6 DOS CAPTURE ステートメントを使用しているときに、印刷ジョブの一部が失われる場合は、CAPTURE ステートメントの TIMEOUT パラメータの値を増加させます（Windows® の場合は 50 秒以上）。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

AppleTalk® のトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェックに問題がないにも関わらず、Macintosh® コンピュータの AppleTalk から印刷を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

Mac OS® 8.6~9.2

アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

アップルメニューから［コントロールパネル］をクリックし、［AppleTalk］をダブルクリックします。
［経由先］が［Ethernet］になっていることを確認します。

Mac OS® X 10/10.1/10.2

アップルメニューから［システム環境設定］を選択し、［ネットワーク］をクリックします。

［AppleTalk］タブをクリックし、［表示］から［内蔵 Ethernet］を選択します。
AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

DLC/LLC のトラブルシューティング

DLC/LLC での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または操作パネル（操作パネル搭載機種のみ）を使用して、DLC/LLC プロトコルが有効になっていることを確認します。

Windows® に設定したイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、印刷設定ページのものと一致していることを確認します。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認します。
プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてネットワークボードの IP アドレスを入力します。ネットワークプリンタの接続時に、毎回コンピュータが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。

使用しているウェブブラウザが適しているか確認します。
Netscape Navigator バージョン 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0 以降の使用をお勧めします。

インターネットファクスのトラブルシューティング

1. インターネットファクスでメール送信エラーが発生すると、メールサーバーはブラザーファクスにエラーメッセージを返し、そのエラーメッセージはプリントアウトされます。(例：The message being sent to the MFC was not in a TIFF-F format.)
   メールを通じて MFC 機器で変換されるデータは、全て TIFF-F 形式です。

2. コンピュータから送信されたメールデータで、エラーメッセージが「ATTACHED FILE FORMAT NOT SUPPORTED」となっている場合、送信元のメールソフトでの設定が「テキスト形式」以外になっているか、「Vcard」(virtual business carg) の設定が ON になっています。「Vcard」の設定を OFF に、メール送信形式を「テキスト形式」に変更してください。

3. 受信側のメールソフトが MINE 形式に非対応の場合、ファクス文書を変換できません。この場合エラーメッセージが返信されない場合があります。

4. HTML 形式のメールデータは受信できません。受信可能なデータは TIFF-F 形式のみです。

5. メールサーバー管理者が、サーバーで扱えるメールデータや添付ファイルのサイズに制限を設けている場合、非常に大きなデータは送受信できない場合があります。この場合は、メールサーバーで取り扱い可能なようにファイルを分割してください。

6. それでも受信できなければ、POP3 サーバー名とアカウント名 (ユーザー名) を確認してください。またメール受信用 POP3 パスワードも確認してください。

7. 電子メールを G3 ファクスにリレー配信できない場合は、リレー配信設定および許可ドメインを確認してください。リレー許可ドメインは、必ず設定されている必要があります。

8. リレー配信とファクス転送は同時には機能しません。

9. リレー配信は、一般的な電話回線において 48 台までのファクスをサポートしています。49 台以上のファクスを通じてリレー配信したい場合は、転送先を 48 台またはそれ以下に分割してください。

10. MFC/DCP が一度に受信できるメールは 32 通までです。33 通以上のメールデータがメールサーバーにある場合は、まず 32 通のメールデータを受信し、その後の自動ポーリング時に残りのメールデータを受信します。

11. 本製品はユーザーメモリの一部を消費します。通常は BrotherNo1 チャート 30 ページ分の送受信であれば問題ありません。

その他の問題

まれにネットワークボードと MFC/DCP に問題が発生する場合は、次の項目をチェックします。

容量の小さいジョブは正しく印刷でき、容量の大きいグラフィックジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認します。

ブラザープリンタの最新ドライバは、**http://solutions.brother.co.jp** からダウンロードできます。

その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティング「プロトコル固有の問題」P.12-6を参照してください。

特殊設定編 第13章

付録

一般情報

ネットワークボードの設定を変更するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ブラザー BRAdmin Professional（Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®）
- HTTP（ウェブブラウザを使用）

MFC-8820JN、DCP-8025JN は Windows®95 に対応していません。

BRAdmin Professional（推奨）

ブラザー BRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。

ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。また、ネットワークボードのファームウェアのアップデートにも使用できます。

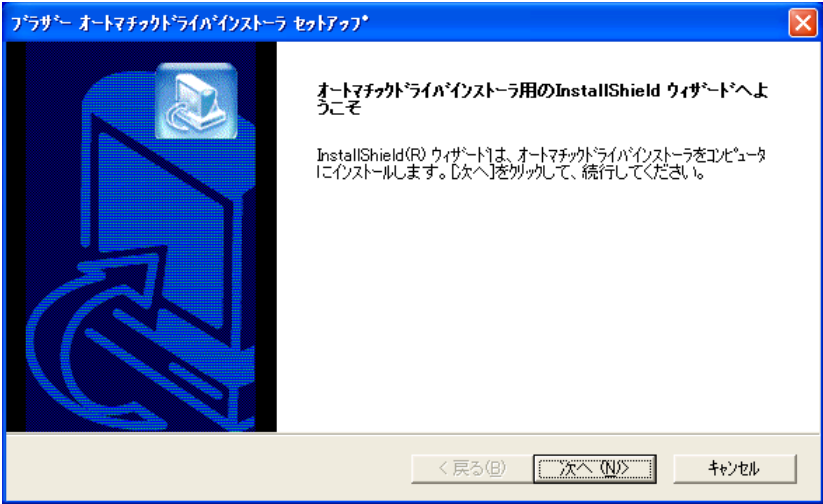
HTTP（推奨）

使い慣れたウェブブラウザを使用して、ネットワークボードに接続し、ネットワークボードのパラメータを設定変更することができます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。パラレル、USB、ネットワーク、それぞれの接続毎にオリジナルドライバを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラは、OS 毎の作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（USB 接続およびピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0
NetBIOS	Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0
IPP	Windows® 2000/XP

同梱の CD-ROM 内の「インストール ソフトウェア」から［オートマチックドライバインストーラ］を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示にしたがってください。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

サービスの使用

ブラザーネットワークボードへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。
ブラザーネットワークボードには、次の定義済みサービスが用意されています。ブラザーネットワークボードのリモートコンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。
コマンドプロンプトで HELP と入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリサービス、NetBIOS サービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス（PJL 互換プリンタなら PostScript モードへ切り換えて印刷する）
PCL_P1	PCL サービス（PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1_AT	Mac OS® 8.6 以降の AppleTalk および LPD サービス
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービスおよび Mac OS® 8.6 ～ 9.1；10.1 ～ 10.2 の AppleTalk サービス（TCP/IP バイナリサービスでも使用可能）

xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。

ネットワークボードのファームウェアのアップデート

概要

ネットワークボードのファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイルを入手する場合は、下記の URL を参照してください。
ブラザーソリューションセンター **http://solutions.brother.co.jp**

用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能をネットワークボードに追加するために、ネットワークボードの設定が自動的に工場出荷時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前にネットワーク設定ページを印刷し、ネットワークボードの現在の設定を必ず記録に残しておいてください。詳しくは、MFC/DCP 本体のかんたん設置ガイド「ネットワーク設定ページの印刷」を参照してください。

ネットワークボードのファームウェアをアップデートする方法は、次の 3 種類があります。

- BRAdmin Professional を使用する（推奨）。
- FTP プロトコルを使用する（Macintosh® または UNIX ネットワークの場合に推奨）。
- 他のシステムを使用する（Novell または UNIX システムを利用して、新しいファームウェアアップデートファイルをネットワークボードに送るなど）。

ファームウェアのアップデート方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ファームウェアを簡単にアップデートできます。

BRAdmin Professional を起動します。

目的のネットワークボードを選択します。

［コントロール］メニューの［ファームウェアのロード］を選択します。
複数のネットワークボードを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークボードを選択します。

次の 3 種類のうちいずれかの方法で、新しいファームウェアアップデートファイルをネットワークボードに送ります。
どの方法を選択した場合でも、ネットワークボードのパスワードを入力する必要があります。ネットワークボードのデフォルトパスワードは access です。

TFTP PUT（ホストから）

コンピュータに TCP/IP がすでに存在する場合は、この方法を使用してください。
BRAdmin Professional は TFTP プロトコルで新しいファームウェアアップデートファイルをネットワークボードに送ります。

TFTP GET（サーバーから）

ネットワークに TFTP サーバーが存在する場合は（UNIX システムの多くは TFTP をサポートしています）、この方法を使用することができます。

- 新しいファームウェアアップデートファイルは、TFTP サーバーの TFTP BOOT ディレクトリに格納されている必要があります。
- ネットワークボードは、コンピュータからの指示により指定された TFTP サーバーからファームウェアアップデートファイルを読み出します。
  ファイル名を正しく指定しないとアップデートは失敗します。また、ファームウェアアップデートファイルが、ネットワークボードで読めるように設定されている必要があります。
- UNIX システムでは、chmod コマンドを使用して、ファイルの属性を指定できます。例えば、コマンド chmod 666 filename を使用すると、だれでもこの filename ファイルにアクセスできるようになります。また、UNIX サーバーで TFTP サービスが実行されている必要があります。

Netware GET（サーバーから）

ネットワークに IPX/SPX を実行する Netware サーバーが存在し、新しいファームウェアアップデートファイルがサーバーの SYS/Login ディレクトリに格納されている必要があります。
この方法では、コンピュータの指示により、ネットワークボードが指定された Netware サーバーからファームウェアアップデートファイルを読み出します。

ファームウェアアップデート後、ネットワークボードのアップデートプログラムが自動的に再起動します（MFC/DCP 本体は再起動しません）。
手動で電源を OFF にしないでください。

FTP プロトコルを使用してコマンドプロンプトから実行する

ログイン時にネットワークボードのパスワードをユーザー名として指定すると、ネットワークボードのファームウェアをアップデートできます。
本ネットワークボードでは、パスワードを FTP のログイン時のユーザー名として使用します。
access がネットワークボードのデフォルトのパスワードです。

D:¥>ftp
ftp> open 220.0.250.200
Connected to 220.0.250.200.
220 FTP print service:V-1.05/Use the network password for the ID if updating.
User (220.0.250.200:(none)): access (工場出荷の値 **)**
230 User access (工場出荷の値 **) logged in.**
ftp> bin
200 Ready command OK.
ftp> hash
Hash mark printing on ftp: (2048 bytes/hash mark) .
ftp> send brnt261.blf
200 Ready command OK.
150 Transfer Start
##
###
###
##
226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode.
ftp: 1498053 bytes sent in 8.52Seconds 175.77Kbytes/sec.
ftp> close
226 Data Transfer OK.
ftp> quit

メッセージ「226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode」が表示された場合は、正しくファームウェアファイルがネットワークボードに転送されています。
このメッセージが表示されない場合は、プリンタに送られているファイルは無視されるか、プリンタから無意味な印刷出力が行われます。

FTP クライアントを bin コマンドを使用してバイナリ通信モードに切り換えなければなりません。バイナリ通信モードを指定しないと、アップデートが正しく行われません。

ファームウェアアップデート後、ネットワークボードのアップデートプログラムが自動的に再起動します（MFC/DCP 本体は再起動しません）。
手動で電源を OFF にしないでください。

第9章 ネットワーク
第10章 Netware
第11章 DLC
第12章 トラブル対応
第13章 付録
索引

ファームウェアのアップデート時の注意（操作パネル搭載機種のみ）

プログラムが終了すると自動的に MFC/DCP が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に MFC/DCP の電源を切らないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度 MFC/DCP の電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。

ファームウェアのアップデートで問題が発生し、MFC/DCP のネットワーク関連機能が動作していない場合は、再アップデートを実行する必要があります。

用語集

Apple Talk
米アップルコンピューター社製品のMacintosh® 用ネットワークプロトコル群の総称です。

ARP
Address Resolution Protocol の略です。
TCP/IP プロトコルにおいて、IP アドレスの情報から MAC アドレスを調べて通知するプロトコルです。

BOOTP
BOOTstrap Protocol の略です。
TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンにおいて IP アドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

BRAdmin Professional
BRAdmin Professional は、Windows® 95/98/Me/2000/XP および Windows NT® 4.0 の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

DHCP
Dynamic Host Configuration Protocol
動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上の IP アドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。
BOOTP の拡張版で、DHCP サーバーはDHCP クライアントの要求に応じて IP アドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信には BOOTP を使用します。
メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTP とほぼ同じです。

DLC/LLC
もともとはメインフレームコンピュータにおいて、コンピュータシステム（の周辺機器制御装置）と 3270 端末との間のデータリンク層プロトコルとして使用されていたデータ転送のためのプロトコルです。最近ではプリンタとコンピュータ間でのデータ転送プロトコルとしても使われています。

DNS
Domain Name System の略です。
TCP/IP ネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントは DNS サーバー内のホスト名と IP アドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

FTP
File Transfer Protocol の略です。
ファイル転送プロトコルで、TCP/IP プロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

IPP
Internet Printing Protocol の略です。
インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザなどが使う HTTP プロトコルを用いてネットワーク上のプリンタに印刷を指示できるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできます。

IPX/SPX
Novell 社の NetWare 用プロトコルです。
OSI モデルのネットワーク層で機能する IPX と、トランスポート層で機能する SPX から構成されています。

IP アドレス
IP プロトコルで使用するための 32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

LAN Server
Local Area Network Server の略です。
LAN 上でプリンタ、ファイルなどの資源を共有するためのサーバーです。

LINUX
ヘルシンキ大学の Linus B. Torvalds 氏により、i386 以上を搭載した PC/AT 互換機をターゲットプラットフォームとして、スクラッチ（何もない状態）から開発された UNIX クローン OS です。完全にフリーとなっており、GNU の GPL Ver.2 にしたがって配布されています。

LPR ポート
lpr は、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcap ファイルで指定されたプリンタに印刷する要求を行うためのポートです。UNIX に接続されたプリンタに印刷するために、広く使われています。

Microsoft Internet Print Services
IPP プロトコルを使用して、Windows ® 2000/XP コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送るときに使用します。

NDPS
Network Distributed Print System の略です。
米ノベルの NetWare が提供する分散プリント機能です。

NetBIOS
Sytek 社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）で、LAN 上のコンピュータが同じ LAN 上の他のコンピュータと対話する必要がある前提で設計されたインターフェースです。IBM Server、Microsoft Manager 環境向けの LAN アプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

NetWare
Novell 社が開発したネットワーク OS で、プロトコルは IPX/SPX を使用します。様々な OS のマシンをクライアントにできる他、拡張性や管理機能に優れています。

OS/2 Warp
Microsoft 社と IBM 社が共同で開発した、コンピュータ用の 32 ビットオペレーティングシステムです。現在は IBM が単独で開発を続けています。

POP3
Post Office Prorocol の略です。
クライアント端末がメールサーバーから電子メールを取得するためのプロトコルです。

PostScript
米 Adobe 社によって開発された、特に高解像度が必要とされる印刷処理で一般に利用される代表的なページ記述言語の 1 つです。

RARP
ARP プロトコルとは逆に、自ノードの MAC アドレスから「自分の」IP アドレスを求めるためのプロトコルです。

SMTP プロトコル
Send Mail Transfer Protocol の略です。
電子メール送信のためのプロトコルです。
SMTP は簡単なコマンドをやり取りすることによって電子メールを別の電子メールサーバーへと送信します。

Solaris オペレーティング環境
Sun Microsystems 社のワークステーションなどで使用されている UNIX ベースの 64bit マルチタスク・マルチユーザーの基本ソフトウェアの名称です。中核となる SunOS 5.x は SVR4 系の UNIX として望まれる機能をすべてサポートしており、さらにマルチスレッド対応、マルチプロセッサ対応、TCP/IP ネットワーキング機能の標準サポートなどといった特徴を備えています。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル / インターネットプロトコル）の略です。
インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは、TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

TELNET
自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供する TCP 上のプロトコルで、リモート Telnet コネクションという文字単位の通信経路を設定します。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持ちません。

UNIX
AT&T ベル研究所によって開発された、32Bit（現在は 64Bit のものもある）、マルチユーザー、マルチタスクのオペレーティングシステムです。UNIX で動作する端末を一般にワークステーションといいます。

イーサネットアドレス (MAC アドレス)
イーサネット機器が持つ 6 バイトのアドレスです。ISO/OSI モデルの物理層およびデータリンク層で機能します。イーサネットアドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

サブネットマスク
IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IP アドレスとサブネットマスクを AND すると、サブネットアドレスになります。

ルータ
ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引